豊田市レポート‘２１

第８次豊田市総合計画
前期実践計画　成果報告書

豊田市

はじめに

本市は、2017 年 3 月に第 8 次豊田市総合計画を策定し、将来都市像である「つながる　つくる　暮らし楽しむまち・とよた」の実現に向け、施策及び事業の推進に努めています。

この報告書は、第 8 次豊田市総合計画の前期実践計画に掲げた施策及び事業の 2017 年度から 2020 年度までの 4 年間の成果を総括的にまとめたものです。

前期実践計画の成果を確認し、継続的な課題と新たな課題に取り組む後期実践計画を 2021 年 3 月に策定しました。

今後も、第 8 次豊田市総合計画後期実践計画の着実な推進に努め、前例の無い時代の転換点においても、将来にわたって誰もが安心して暮らすことのできる、活力と魅力のある持続可能なまちづくりを進めていきます。

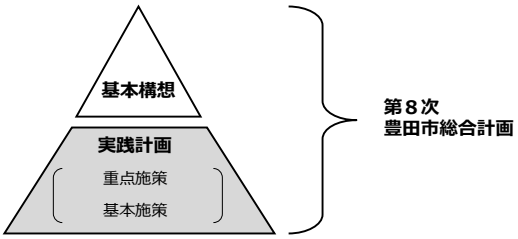
●第８次豊田市総合計画について

（１）総合計画とは

総合計画とは、本市がめざすまちづくりの方向性を明らかにし、その実現に向けた取組を市民の皆さんと共働で進めるための最も基本となる計画です。

（２）第８次豊田市総合計画

・構　　造：基本構想と実践計画の二層構造
・計画期間：2017～2024 年度の８年間
※実践計画は前期４年、後期４年



（３）前期実践計画

・計画期間：2017～2020 年度の４年間

①　基本構想

・目 標 年 次：2040 年
・将来都市像：「つながる　つくる　暮らし楽しむまち・とよた」
・め ざ す 姿：「社会とのつながりの中で安心して自分らしく暮らす市民」
「魅力あふれる多様で個性豊かな地域」
「未来を先取る活力ある都市」
・将 来 人 口：420,000 人（2040 年）
・土地利用構想：更なる「選択と集中」により「核」と「ネットワーク」を強化し、活力と魅力を備えた持続可能な都市をめざす

②　実践計画

実践計画は「重点施策」「基本施策」により構成されています。
・重点施策：重要課題に対し、特に重点的・分野横断的に取り組む施策を取りまとめたもの
・基本施策：各分野の主要な課題に対する施策を取りまとめ、優先化・重点化したもの

③　前期実践計画の施策体系

重点施策
（１）超高齢社会への適応
（２）産業の強靭化
（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出
基本施策
Ⅰ　子ども・子育て
Ⅱ　生涯学習
Ⅲ　健康・福祉
Ⅳ　安全・安心
Ⅴ　産業・観光・交流
Ⅵ　環境
Ⅶ　都市整備
Ⅷ　地域経営

目　　次

第１章　まちづくりにおける主要指標の動向

1　人口指標の推移 …… 2
2　経済指標の推移 …… 5
3　財政指標の推移 …… 7
4　市民意識の推移 …… 10

第２章　前期実践計画の総括

1　基本的な考え方 …… 16
2　全体の達成状況 …… 17
3　重点施策の取組状況 …… 18
4　施策別の達成状況 …… 21
5　新型コロナウイルス感染症の影響 …… 25

第３章　資料編

1　指標別の達成状況 …… 27
2　各施策における事業数・事業費のまとめ …… 77
3　事業一覧 …… 84

第１章　まちづくりにおける主要指標の動向

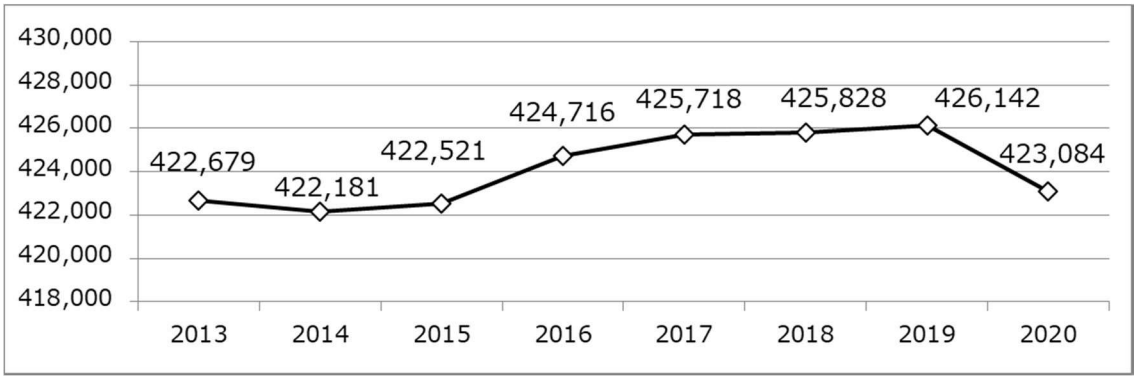
1　人口指標の推移

（１）総人口

本市の総人口（図表 1）は 2015 年以降増加傾向にありましたが、2020 年以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減少に転じました。

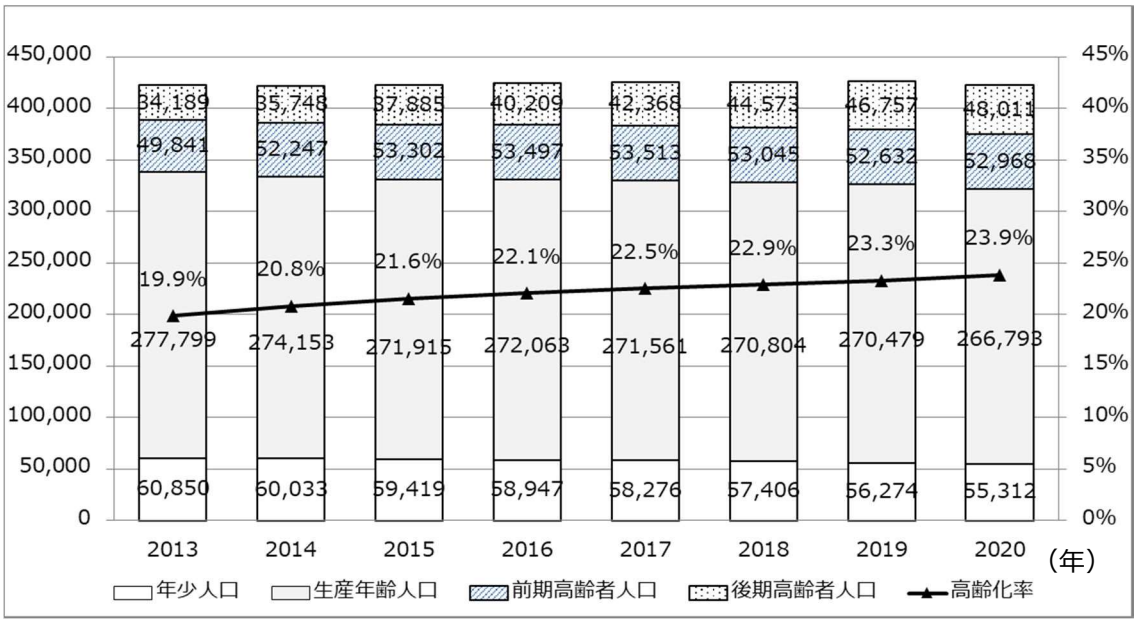
また、年齢別の人口（図表 2）を見ると、老年人口は 2020 年に 10 万人を超え、高齢化率は 2021 年に 24.3%となっており、ともに増加傾向で推移しています。

（人）　図表１　総人口の推移



出典：豊田市統計書（2021 年は住民基本台帳）

（人）　図表　年齢別人口の推移



出典：豊田市統計書（2021 年は住民基本台帳）

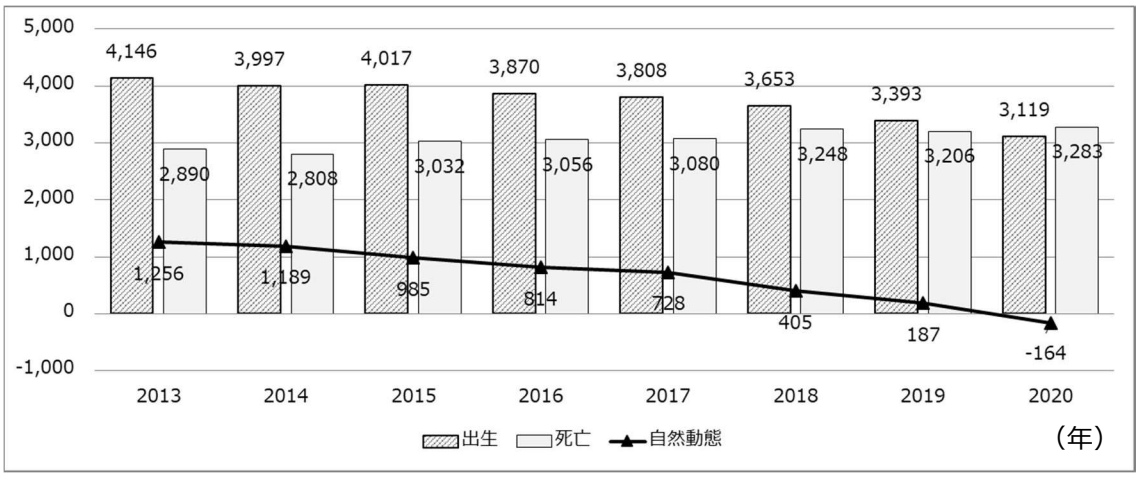
（２）自然動態及び社会動態

本市の自然動態（図表３）は 2020 年に出生数が死亡数を下回る自然減となりました。

また、社会動態（図表４）は 2016 年以降に転入数が転出数を上回る社会増となっていましたが、2019 年以降に逆転し社会減となりました。

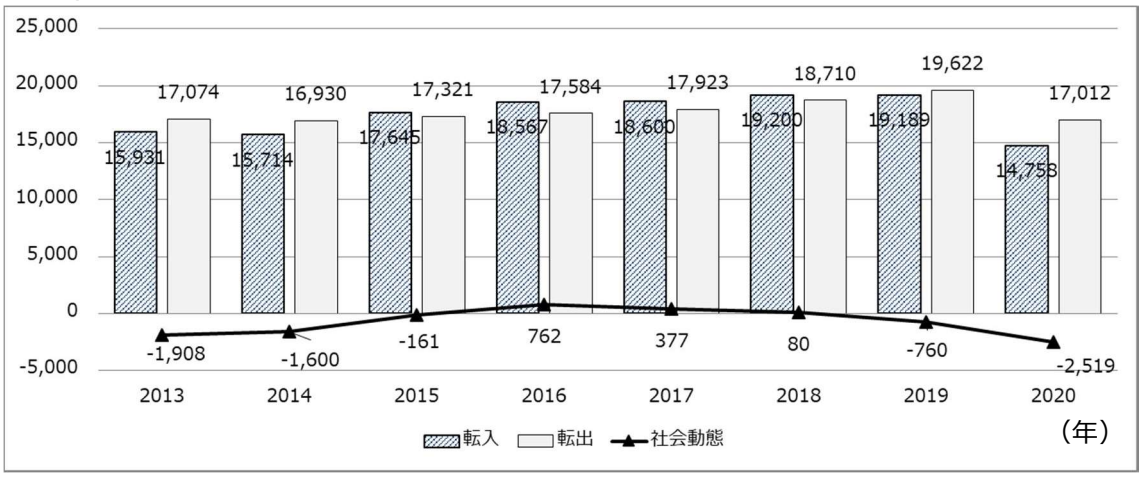
さらに、2020 年度の年齢別の社会動態（図表５）を見ると、特に 25～39 歳では転入数が転出数を下回っており、15～19 歳では転入数が転出数を上回っています。

図表３　自然動態の推移



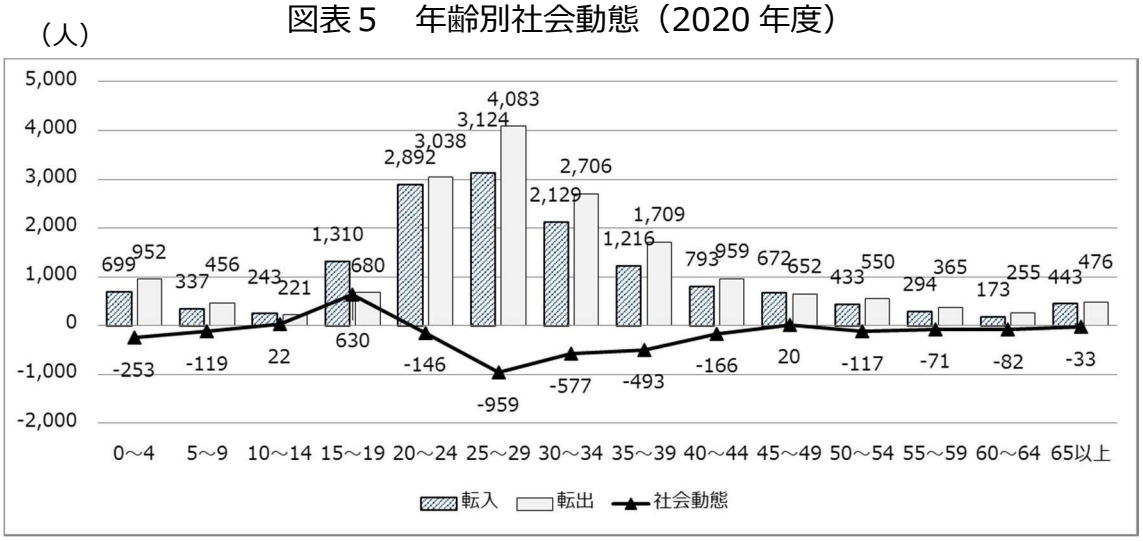
出典：豊田市統計書（2020 年は詳細データから算出）

図表４　社会動態の推移



出典：豊田市統計書（2020 年は詳細データから算出）

図表５　年齢別社会動態（2020 年度）

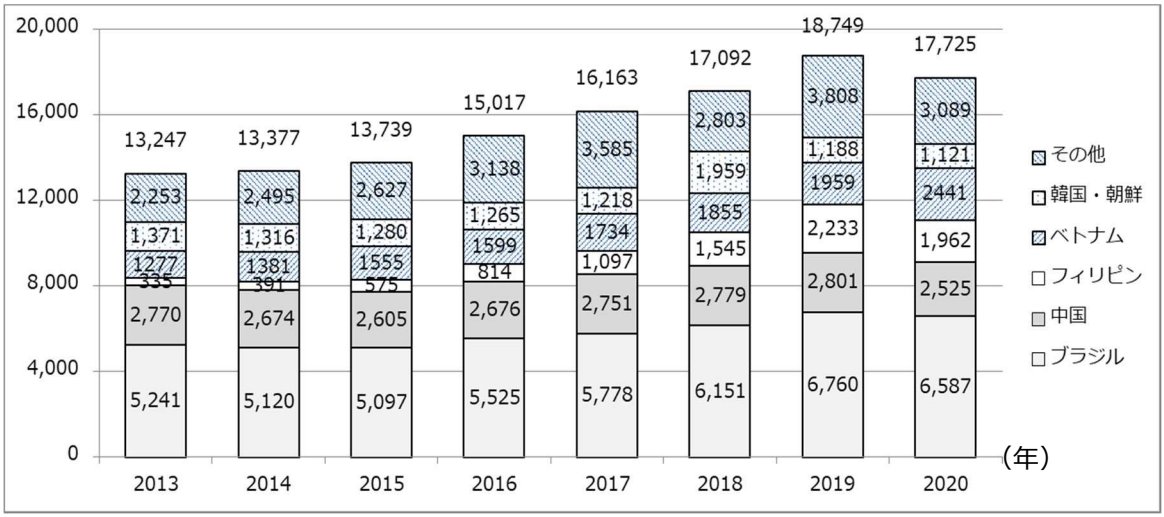


出典：豊田市の人口　詳細データから算出

（３）外国人人口

本市の外国人人口（図表６）は、近年増加傾向にありましたが、2020 年に減少しました。

図表６　外国人人口の推移



出典：豊田市統計書（2020 年は住民基本台帳）

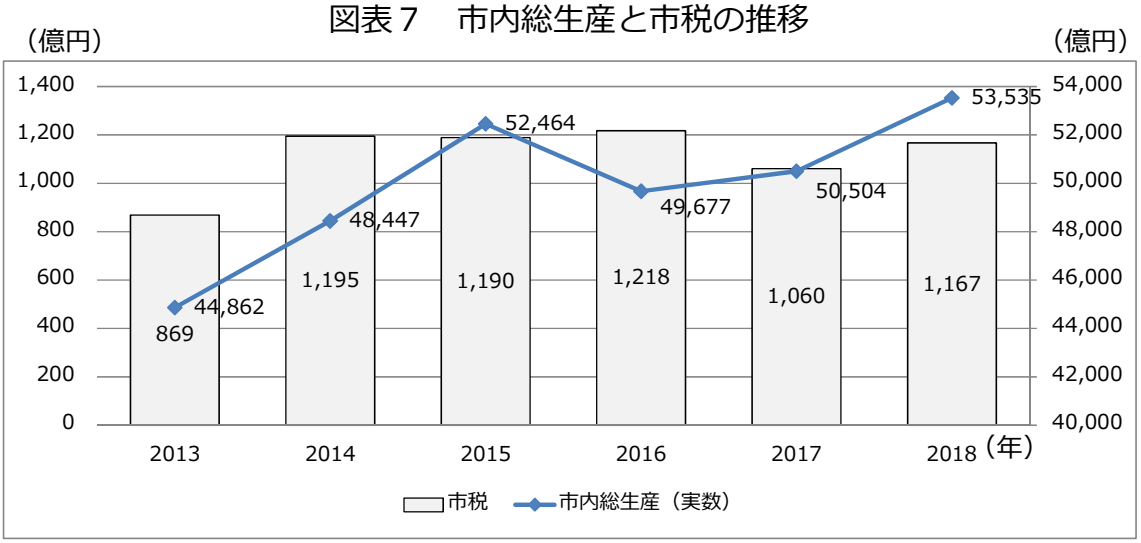
2　経済指標の推移

本市の市税（図表 7、8）は、2008 年のリーマンショックをきっかけとした世界同時不況の影響を受け 2013 年まで減少していましたが、市内企業の業績回復により、2014 年以降にはリーマンショック前の水準まで回復しました。

また、工場数（図表 9）は 2014 年以降減少しているものの、製造品出荷額等については、2002 年以降全国一位を維持しており、従業員数についても増加傾向となっています。

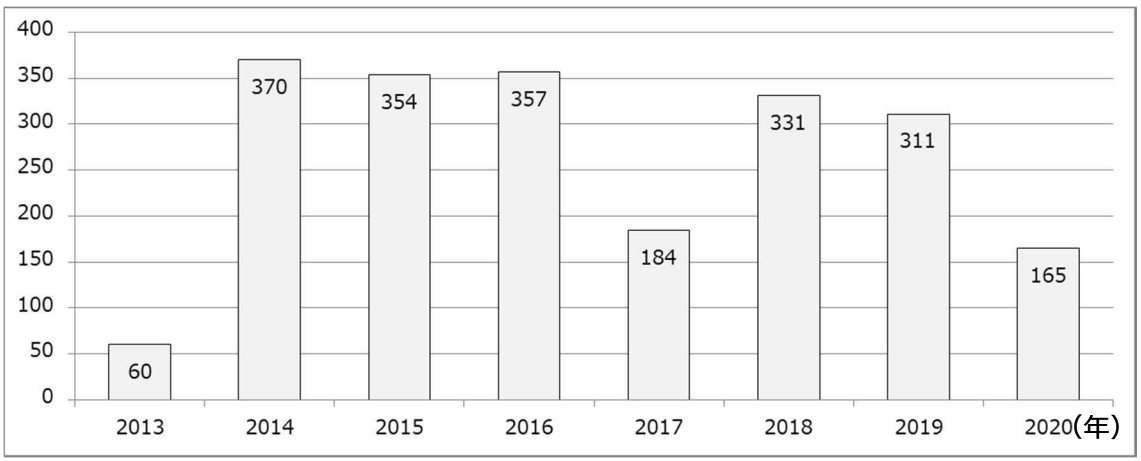
一方で、法人市民税は一部国税化の影響で減少しました。

図表７　市内総生産と市税の推移



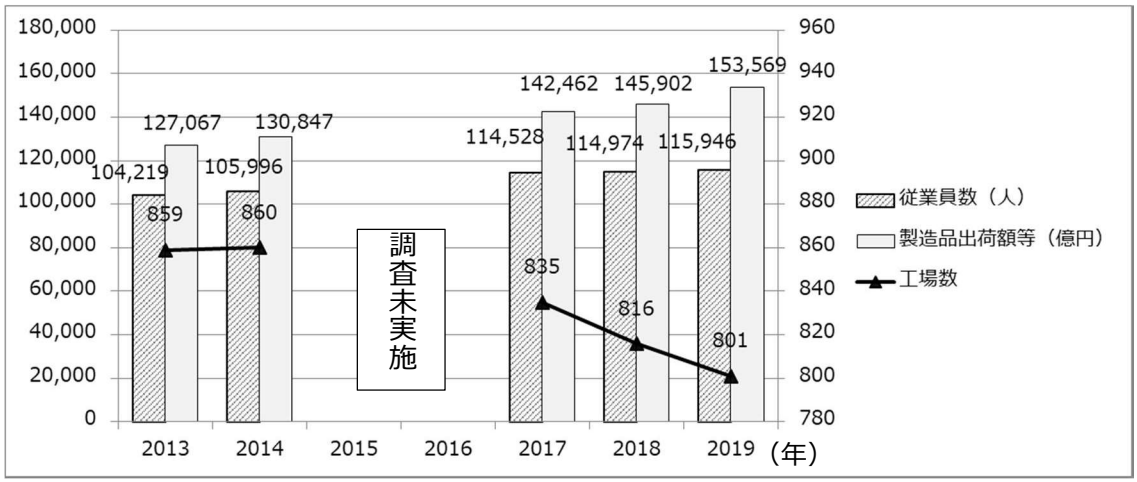
出典：豊田の市民所得（市内総生産）

図表８　法人市民税の推移



出典：決算値で見る財政状況の推移

（人）（億円）　図表９　製造品出荷額等・従業員数・工場数の推移



出典：豊田市の工業

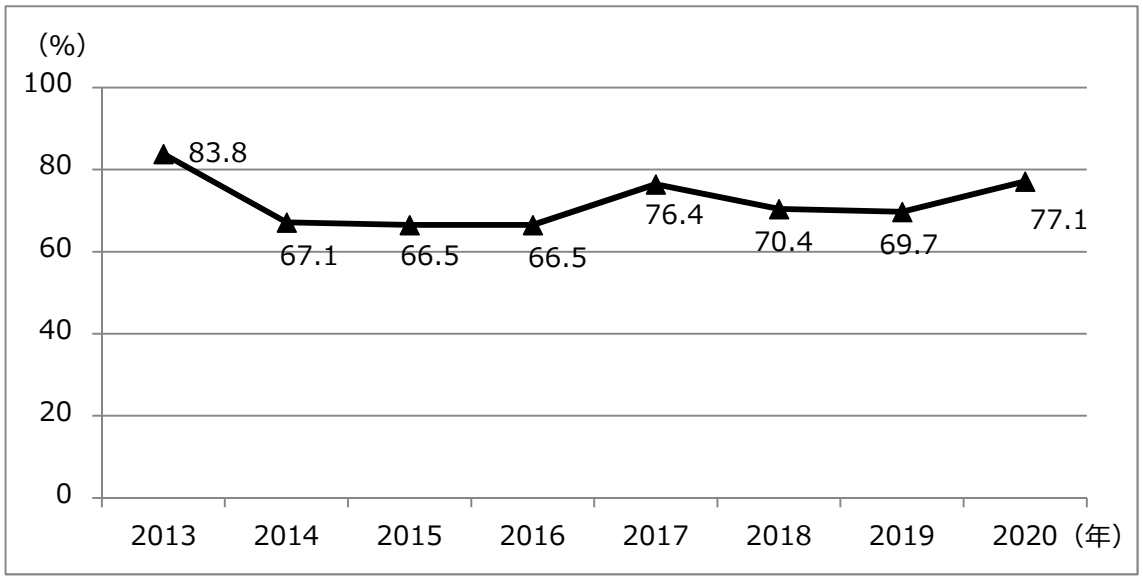
※従業員数４人以上の事業所の集計

３　財政指標の推移

2015 年度以降景気変動等の影響により市税の大幅な減収等ありましたが、経常収支比率（図表 10）は 2019 年度頃まで 70%程度で推移しました。2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響等の要因により市税が減収となったことから 70%台後半まで悪化しています。減収への対応として、市債の発行や基金の取崩しを行ったため、2016 年度までは市債残高、基金残高共に改善していましたが、その後横ばいとなっています（図表 11）。

今後は法人市民税一部国税化や普通交付税の合併特例終了により歳入が恒久的に減少することから、一層厳しい財政状況となる見込みです。

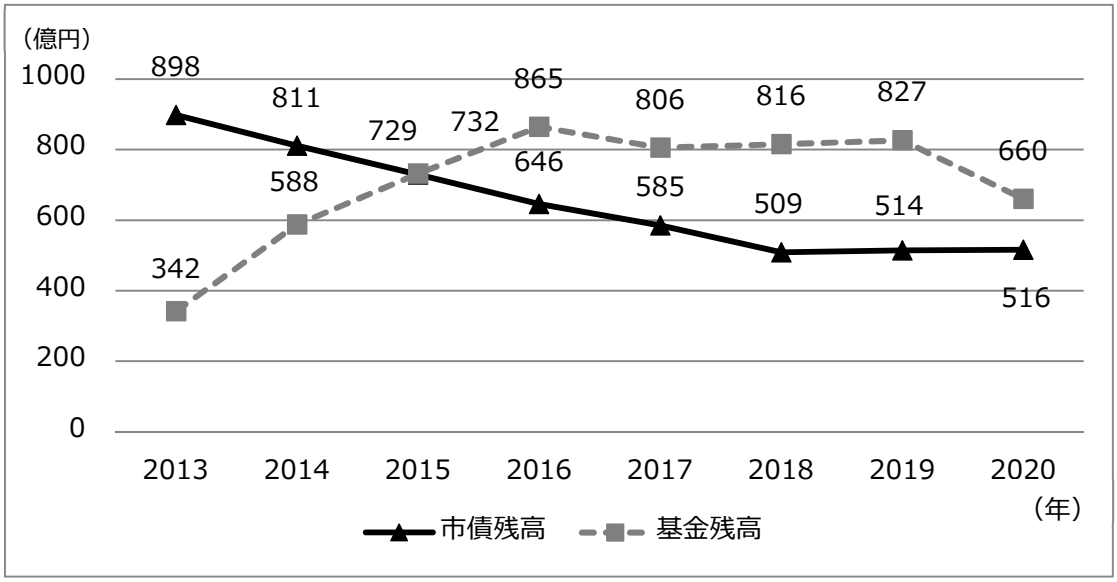
図表 10　経常収支比率の推移



出典：豊田市の財政概況

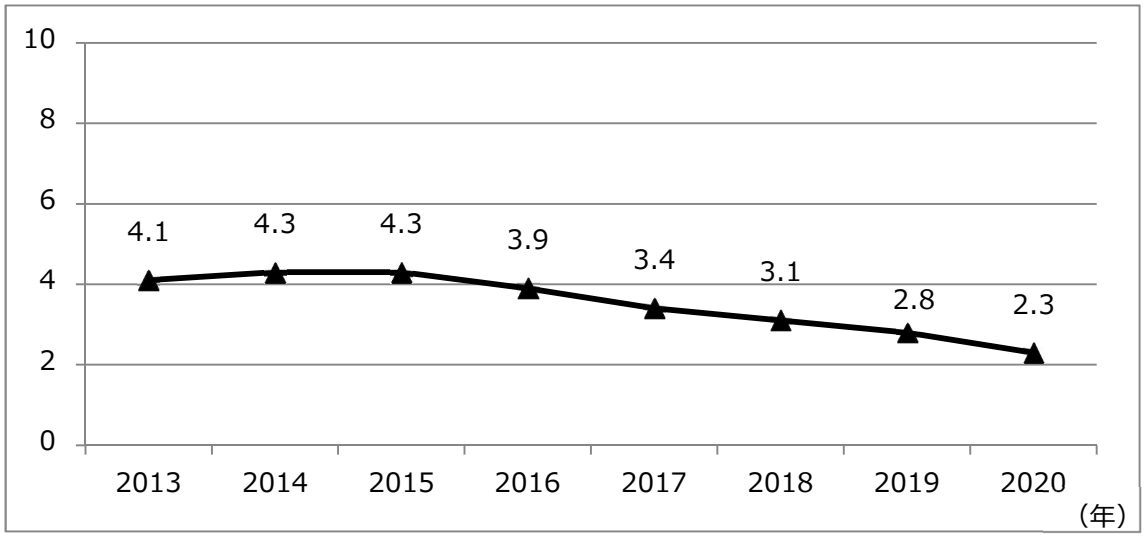
※経常収支比率・・・自治体が自由に使えるお金のうち、人件費や生活保護費、交際費など、避けられない必要な経費が占める割合。値が低いほど独自の政策のために使えるお金が多いことを示す。
＜参考＞70～80%が適正、90%以上は硬直化

図表 11　市債残高と資金積立基金残高の推移



出典：豊田市の財政概況

図表 12　実質公債費比率の推移



出典：豊田市の財政概況

※実質公債費比率・・・公債費が財政に及ぼす負担を表す数値。値が高いほど資金繰りの危険度を表す。

図表 13　財政力指数の推移

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
3 年平均	1.06	1.04	1.11	1.3	1.52	1.49	1.47	1.39
単年度	1.02	1.04	1.27	1.6	1.68	1.2	1.54	1.44

出典：豊田市の財政概況

※財政力指数・・・標準的な行政サービスを行うために必要な財源をどれだけ自力で調達することができるかを表す。指数が 1 を超えるほど財源に余裕があるとされる。

図表 14　決算額の推移

◆一般会計　歳入（百万円）　※百万円以下四捨五入

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
自主財源	118,800	143,298	140,870	140,849	136,931	144,877	147,283	148,335
依存財源	55,013	48,976	53,096	54,529	56,199	46,755	55,144	104,964
合計	173,813	192,274	193,966	195,379	193,130	191,632	202,427	253,299

◆一般会計　歳出（百万円）　※百万円以下四捨五入

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
経常的経費	108,241	113,475	114,762	116,521	120,938	119,064	120,282	169,677
投資的経費	40,266	32,336	39,707	38,712	41,801	38,751	48,006	47,161
その他経費	15,459	38,201	32,234	31,342	21,784	20,234	19,036	22,622
合計	163,966	184,012	186,703	186,576	184,523	178,050	187,325	239,460

出典：豊田市の財政概況

４　市民意識の推移

本市では、市民の市政に対する評価とこれからのまちづくりに対するニーズや意識を統計的に把握するため、1969 年から定期的に市民意識調査を実施しています。

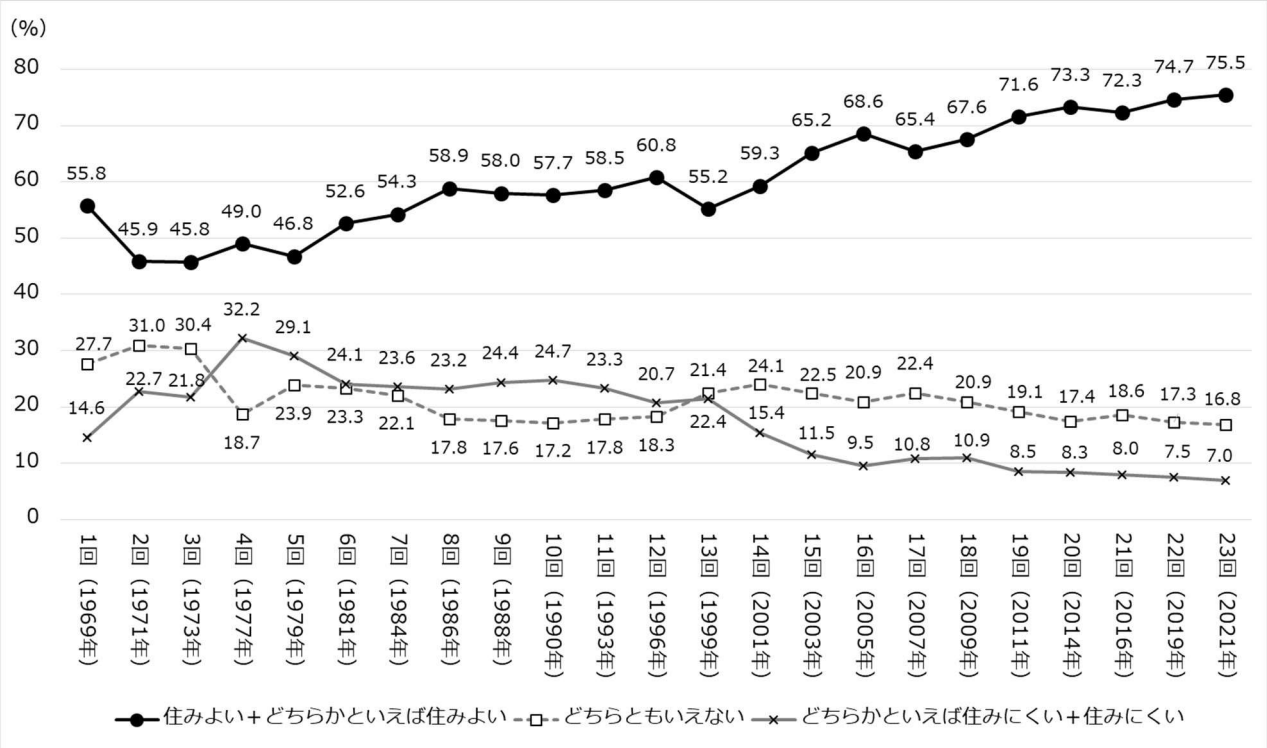
（１）住みよさの推移

豊田市が「住みよい・どちらかといえば住みよい」と回答した市民の割合（図表 15）は、2014 年調査の 73.3%から 2016 年調査の 72.3%に 1.0 ポイント減少したものの、2011 年調査（第 19 回）以降は 70%を超え、2019 年調査（第 22 回）では 74.7%、2021 年調査（第 23 回）では 75.5%になり、過去最高値となっています。

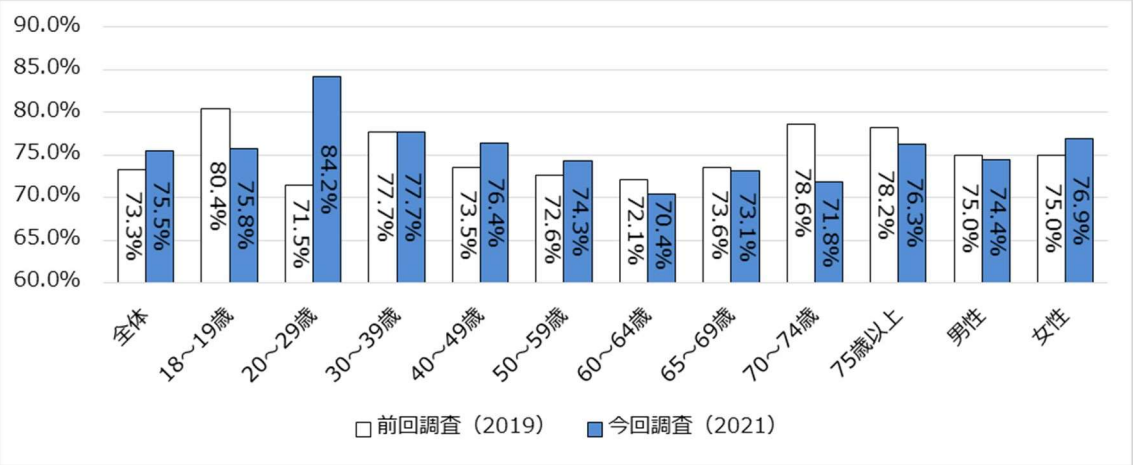
一方、豊田市が住みにくいと思う市民の割合は、2009 年調査（第 18 回）以降減少傾向にあります。

年齢別の住みよさ（図表 16）を見ると、20～29 歳、40～49 歳、50～59 歳で住みよいと回答した市民の割合が増加しています。一方、18～19 歳、70～74 歳では、住みよいと回答した市民の割合が他の年齢に比べて大きく減少しています。

図表 15　住みよさの推移



図表 16　年齢別住みよさの推移

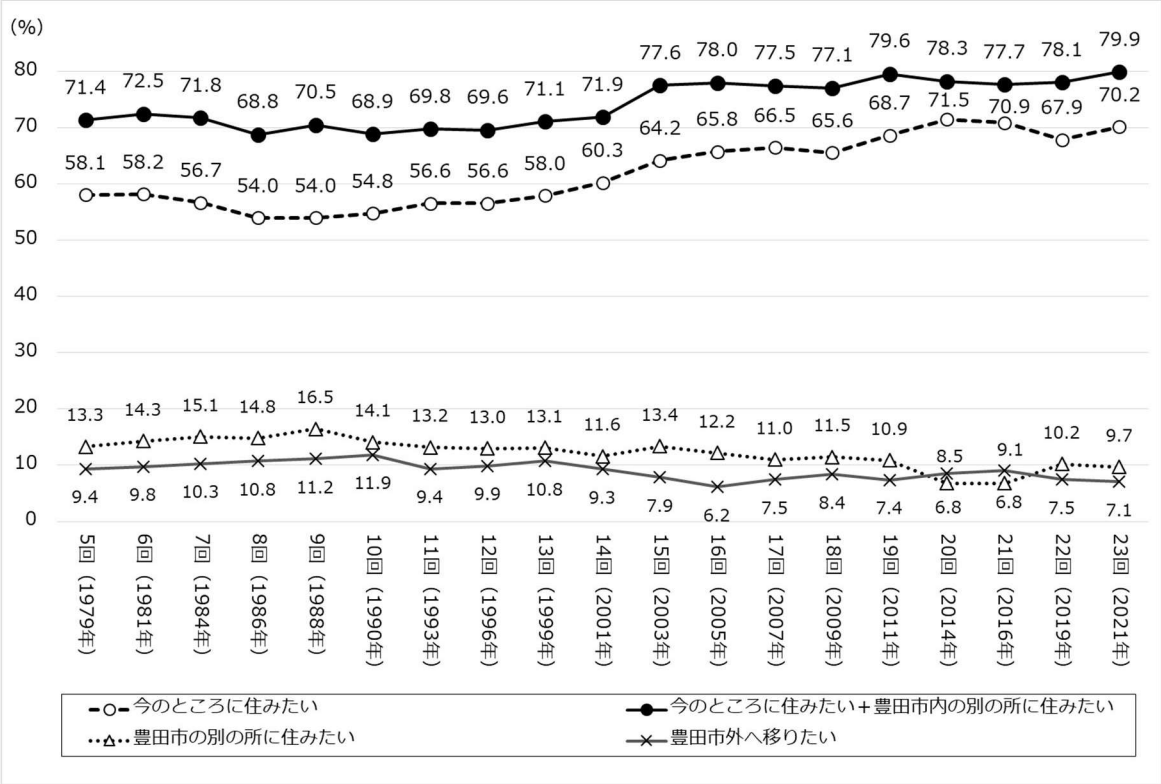


（２）定住意識の推移

定住意識（図表 17）について、「今のところに住みたい・豊田市内の別のところに住みたい」と回答した市民の割合は、2016 年調査（第 21 回）の 77.7%以降増加傾向となっており、2021 年調査（第 23 回）では 79.9%と、過去最高値となっています。

一方、「豊田市外へ移りたい」と回答した市民の割合は、2001 年調査以降 10%未満となっており、横ばいで推移しています。

図表 17　定住意識の推移

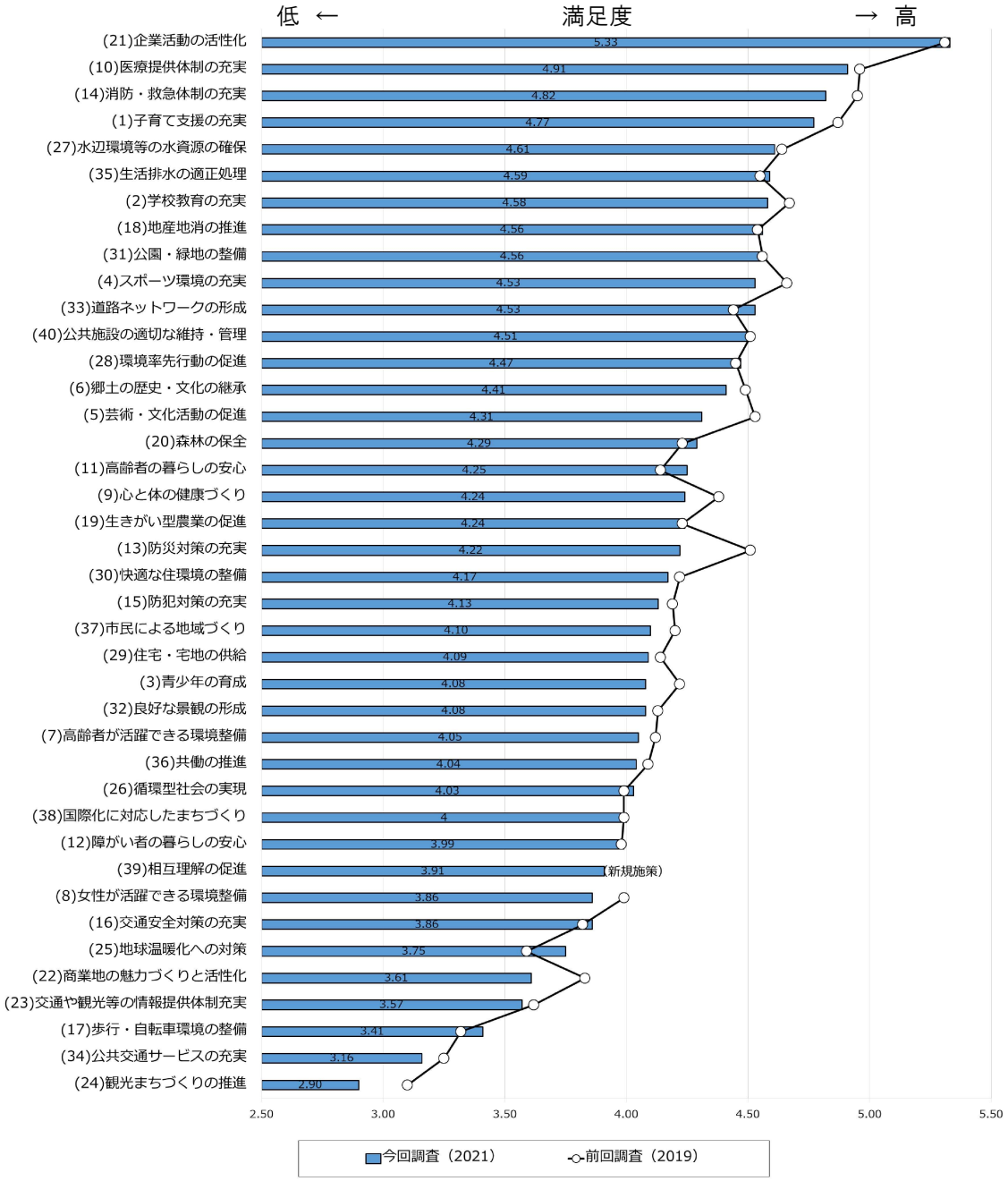


（３）市の取組（施策）に対する満足度・期待度

2019 年調査と 2021 年調査で、ともに満足度（図表 18）が高いのは「企業活動の活性化」、「医療提供体制の充実」、「消防・救急体制の充実」などです。

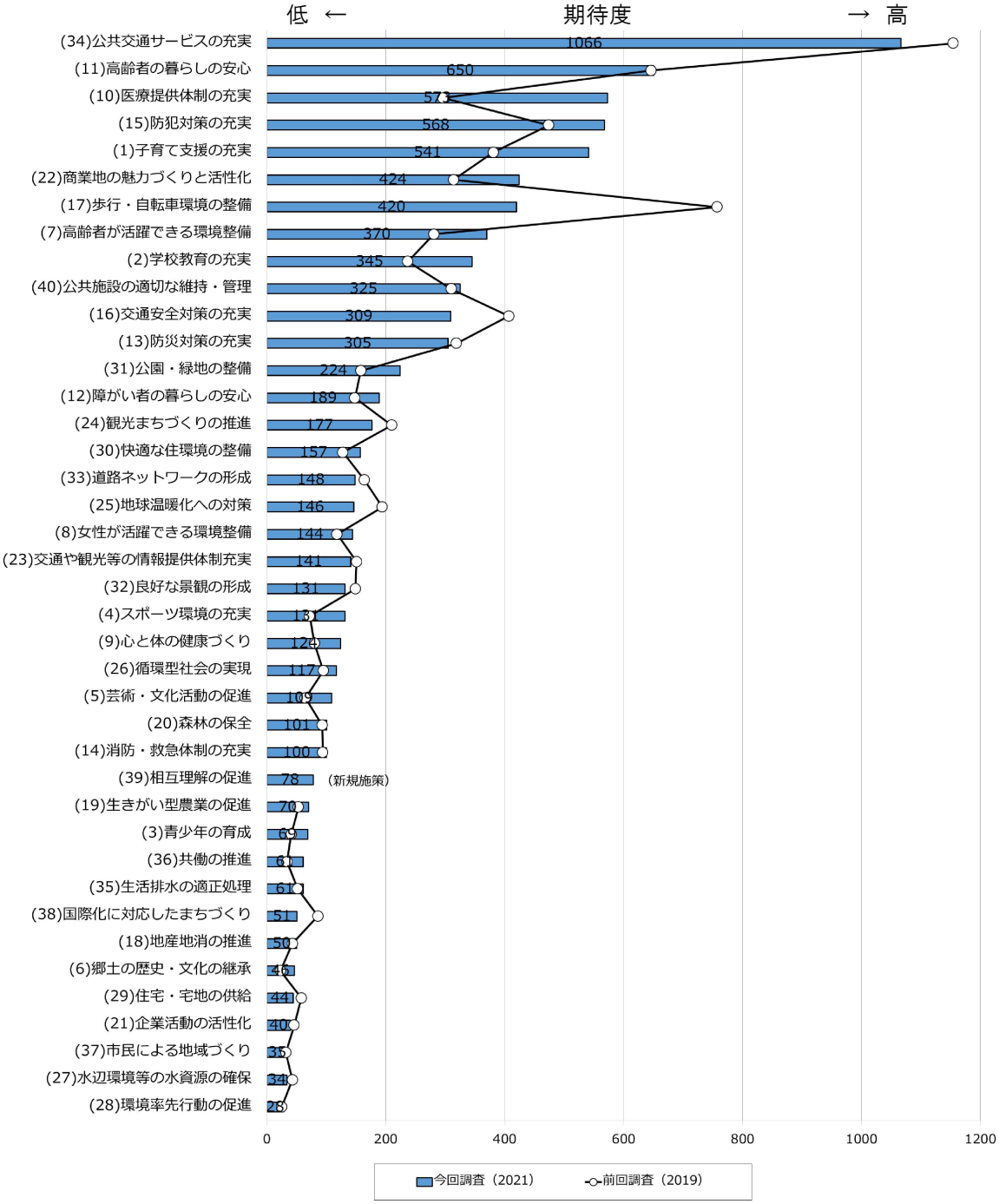
一方、満足度が低いのは「公共交通サービスの充実」、「観光まちづくりの推進」などです。

図表 18　市の施策に対する満足度



また、期待度（図表 19）については、「公共交通サービスの充実」「高齢者の暮らしの安心」が高く、「環境率先行動の促進」「水辺環境等の水資源の確保」「市民による地域づくり」が低くなっています。

図表 19　市の施策に対する期待度



また、満足度と期待度（図表 20）を比較すると「公共交通サービスの充実」については、期待度が高い一方、満足度が低く、ギャップが生じています。

図表 20　満足度と期待度一覧

項目	満足度					期待度				
	順位	今回（2021）	前回（2019）	増減数	増減	順位	今回（2021）	前回（2019）	増減率	増減
(21)企業活動の活性化	1	5.33	5.31	0.02	-	37	40	46	-13%	-
(10)医療提供体制の充実	2	4.91	4.96	-0.05	-	3	573	296	94%	↑
(14)消防・救急体制の充実	3	4.82	4.95	-0.13	↓	27	100	94	6%	-
(1)子育て支援の充実	4	4.77	4.87	-0.10	↓	5	541	381	42%	↑
(27)水辺環境等の水資源の確保	5	4.61	4.64	-0.03	-	39	34	43	-21%	-
(35)生活排水の適正処理	6	4.59	4.55	0.04	-	31	61	52	17%	-
(2)学校教育の充実	7	4.58	4.67	-0.09	-	9	345	237	46%	↑
(18)地産地消の推進	8	4.56	4.54	0.02	-	34	50	43	16%	-
(31)公園・緑地の整備	8	4.56	4.56	0.00	-	13	224	158	42%	↑
(4)スポーツ環境の充実	10	4.53	4.66	-0.13	↓	21	131	72	82%	↑
(33)道路ネットワークの形成	10	4.53	4.44	0.09	-	17	148	164	-10%	-
(40)公共施設の適切な維持・管理	12	4.51	4.51	0.00	-	10	325	310	5%	-
(28)環境率先行動の促進	13	4.47	4.45	0.02	-	40	28	25	12%	-
(6)郷土の歴史・文化の継承	14	4.41	4.49	-0.08	-	35	46	23	100%	↑
(5)芸術・文化活動の促進	15	4.31	4.53	-0.22	↓	25	109	65	68%	↑
(20)森林の保全	16	4.29	4.23	0.06	-	26	101	93	9%	-
(11)高齢者の暮らしの安心	17	4.25	4.14	0.11	↑	2	650	646	1%	-
(9)心と体の健康づくり	18	4.24	4.23	0.01	-	23	124	53	134%	↑
(19)生きがい型農業の促進	18	4.24	4.38	-0.14	↓	29	70	80	-13%	-
(13)防災対策の充実	20	4.22	4.51	-0.29	↓	12	305	319	-4%	-
(30)快適な住環境の整備	21	4.17	4.22	-0.05	-	16	157	128	23%	-
(15)防犯対策の充実	22	4.13	4.19	-0.06	-	4	568	474	20%	-
(37)市民による地域づくり	23	4.10	4.20	-0.10	↓	38	35	32	9%	-
(29)住宅・宅地の供給	24	4.09	4.14	-0.05	-	36	44	58	-24%	-
(3)青少年の育成	25	4.08	4.22	-0.14	↓	30	69	41	68%	↑
(32)良好な景観の形成	25	4.08	4.13	-0.05	-	21	131	149	-12%	-
(7)高齢者が活躍できる環境整備	27	4.05	4.12	-0.07	-	8	370	281	32%	↑
(36)共働の推進	28	4.04	4.09	-0.05	-	31	61	34	79%	↑
(26)循環型社会の実現	29	4.03	3.99	0.04	-	24	117	95	23%	-
(38)国際化に対応したまちづくり	30	4	3.99	0.01	-	33	51	86	-41%	↓
(12)障がい者の暮らしの安心	31	3.99	3.98	0.01	-	14	189	148	28%	-
(39)相互理解の促進	32	3.91	―	―	-	28	78	―	―	-
(8)女性が活躍できる環境整備	33	3.86	3.99	-0.13	↓	19	144	118	22%	-
(16)交通安全対策の充実	33	3.86	3.82	0.04	-	11	309	407	-24%	-
(25)地球温暖化への対策	35	3.75	3.59	0.16	↑	18	146	194	-25%	-
(22)商業地の魅力づくりと活性化	36	3.61	3.83	-0.22	↓	6	424	314	35%	↑
(23)交通や観光等の情報提供体制充実	37	3.57	3.62	-0.05	-	20	141	151	-7%	-
(17)歩行・自転車環境の整備	38	3.41	3.32	0.09	-	7	420	757	-45%	↓
(34)公共交通サービスの充実	39	3.16	3.25	-0.09	-	1	1,066	1,154	-8%	-
(24)観光まちづくりの推進	40	2.90	3.10	-0.20	↓	15	177	210	-16%	-

第２章　前期実践計画の総括

1　総括の考え方

施策毎に設定した**「まちの状態指標」**及び**「施策の柱の成果指標」**の達成状況を踏まえて総括を行います。

●まちの状態指標

・「めざす姿※1」に**どの程度近づいたかを定量的に確認**するための指標

・指標名、基準値（計画策定時の現状値）及び 2025 年に向けてめざす方向を矢印（↑、↓、→）で設定

例:

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向
合計特殊出生率	1.66 （2015 年）	↑

※1　めざす姿

・重点施策：施策の推進により、2040 年に実現をめざすまちの姿

・基本施策：施策の推進により、2025 年までに実現をめざすまちの姿

●施策の柱の成果指標

・施策の柱※2 として設定した取組が**どの程度達成できたかを定量的に確認**するための指標

・指標名、基準値（計画策定時の現状値）及び目標値を設定

例:

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）
交流館の延べ利用者数	272 万人 （2015 年）	300 万人 （2020 年）

※2　施策の柱

・めざす姿の実現に向け、前期実践計画期間内（2017～2020 年度）に優先的に取り組んでいく内容

施策の柱の成果指標の評価方法

$$\frac{\text{実績の伸び幅（実績値ー基準値）}}{\text{目標の伸び幅（目標値ー基準値）}} \times 100$$

で計算し、**S～C**の４段階評価

・S（順調）　⇒　達成度 100%以上

・A（概ね順調）　⇒　達成度 70%以上 100%未満

・B（十分とは言えない）　⇒　達成度 50%以上 70%未満

・C（思わしくない）　⇒　達成度 50%未満

※目標値が「毎年度○件以上」となっている指標は、期間内の平均値で評価

2　指標の達成状況

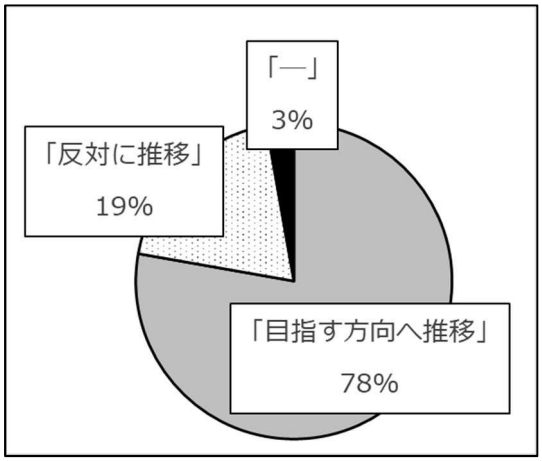
（１）まちの状態指標

全 182 指標（再掲除く）の内、約８割の指標において概ねめざす方向へ推移しました。

※施策別の達成状況は P21～22、指標別の達成状況は P27～75 を参照

※重点施策「（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出」、基本施策「Ⅴ 産業・観光・交流」及び「Ⅷ 地域経営」の施策に該当するまちの状態指標については、新型コロナウイルス感染症の影響により最新値での評価が困難なため、2018 年度までの実績及び第 22 回市民意識調査（2019 年度実施）で評価

●図表 21　達成状況



※再掲除く（n=182）

●達成状況の見方

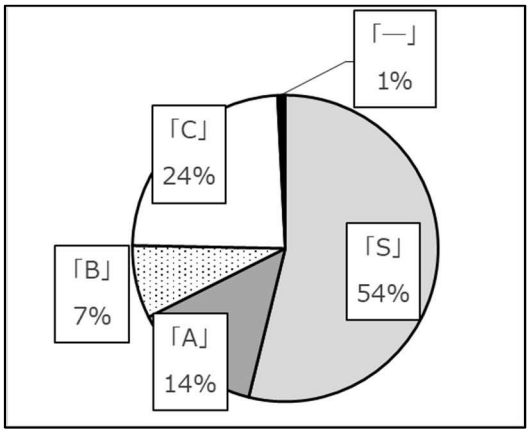
各指標の基準値から、
「めざす方向に推移」
：概ねめざす方向に向かって推移している
※横ばい（±5%以内）を含む
「反対に推移」
：めざす方向と反対に推移している
「—（評価不能）」
：調査未実施、事業中止などの理由により、最新値の取得ができなかった

（２）施策の柱の成果指標

全 247 指標（再掲除く）の内、約 7 割の指標において「S（達成）」及び「A（概ね達成）」となりました。

※施策別の達成状況は P23～24、指標別の達成状況は P28～76 を参照

●図表 22　達成状況



※再掲除く（n=247）

●達成状況の見方

各指標の目標値に対し、
「S（達成）」：達成度が 100%以上及び完了
「A（概ね達成）」：達成度が 70%以上
「B（十分とは言えない）」：達成度が 50%以上
「C（思わしくない）」：達成度が 50%未満及び未完了
「—（評価不能）」：調査未実施、事業中止などの理由により、最新値の取得ができなかった

３　重点施策の取組状況

（１）超高齢社会への適応

医療・福祉・介護の提供体制を着実に整備拡充するとともに、全市的な相談窓口の拡充など地域包括ケアシステムの構築により、2025 年問題を始めとした社会課題に的確に対応しました。

主な取組内容としては、きらきらウエルネス地域推進事業の推進など、地域特性に応じた健康づくり・介護予防等を住民との共働で推進しました。

また、高齢者医療、在宅医療など充実した医療を提供するため、地域医療センターの再整備及び南部休日救急内科診療所の開設を行うとともに、身近な地域で福祉の相談業務を行うための「福祉の相談窓口」を市内５か所に設置するなど、住み慣れた地域で医療・福祉サービスが受けられる環境の整備に取り組みました。

介護予防の取組

豊田地域医療センター再整備事業

結果として、まちの状態指標では「健康寿命の延伸」や「要介護認定率の低下」など約９割の指標が概ねめざす方向へ推移し、施策の柱の成果指標では「福祉の相談窓口を利用した人数の増加」や「訪問診療件数の増加」など約５割の指標で目標を達成したことから、地域での支え合いの仕組みづくりは順調に進んでいると考えられます。

一方、「日ごろから健康づくりのため、適度に運動している又は栄養バランスのとれた食事をしている市民の割合の増加」など一部のまちの状態指標はめざす方向と反対に推移し、施策の柱の成果指標においても、参加者数や利用者数により評価する指標が未達成となっています。これは、新型コロナウイルス感染症による外出抑制やイベントの中止などの影響を受けたと考えられます。

後期実践計画においては、コロナ禍の影響などにより、高齢者のフレイルの進行や認知症リスクの高まりが危惧されるため、感染症対策を徹底した従来の健康づくり・介護予防事業の実施に加え、「SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）を活用した社会参加型介護予防」や「先進技術を活用した地域リハビリテーション」等を推進していきます。

（２）産業の強靭化

産業用地の創出等による新規立地や企業の新たな事業展開を支援するとともに、地域資源を生かした産業振興や働く機会の多様化を促進しました。

主な取組内容としては、花本産業団地拡張用地の整備完了、企業立地奨励金制度の活用による新規企業投資の誘導、2017 年に開所した「ものづくり創造拠点 SENTAN」における新たな事業展開支援、スタートアップに必要な経費を支援する「ものづくり創造補助金」の運用、中核製材工場の整備など、次代の産業拠点としての機能の高度化を推進しました。

また、産業を支える人材の確保のため、女性の就労支援等を行う女性しごとテラス「カプチーノ」を開設するなど、多様な働き方で多様な人材が活躍できる環境の整備を推進しました。

ものづくり創造拠点 SENTAN

女性しごとテラス「カプチーノ」での相談

結果として、まちの状態指標では「市内製造業の有形固定資産投資額の増加」や「製造業を除く分野の市内総生産の増加」など、産業施策を背景にした市内企業の堅調な取組により、約８割が概ねめざす方向へ推移しています。

施策の柱の成果指標では８割以上が達成及び概ね達成となっており、「ものづくり創造拠点 SENTAN における起業の支援数」や「新製品・新技術開発の取組件数」が増加していることから、企業の新たな事業展開やイノベーション創出の支援が進んでいると言えます。

後期実践計画では、”重点施策（２）「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資”へ事業を継承し、自動車関連産業の構造変化やデジタル化への対応と、スタートアップの誘発・誘引や人材育成・確保の支援を進め、ウィズ・コロナ、ポスト・コロナにおいても引き続き活力ある産業都市を目指します。

（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出

ラグビーワールドカップ 2019™を契機としたまちの国際化やホスピタリティの向上に努めるとともに、都市基盤の整備を着実に推進し、都市の競争力やブランド力の向上を図りました。

主な取組内容としては、定住・交流人口を引き付ける魅力あるまちの実現に向けて、豊田市駅前通り北地区再開発事業や公共空間の活用などまちのにぎわい創出とあわせ、外国人のおもてなし環境の向上や市民活動・ボランティア文化の醸成を加速化しました。

また、土地区画整理事業の着実な推進とともに、おいでん・さんそんセンターを中心に山村地域の魅力を発信するなど、豊田市らしい暮らしの豊かさを生かした定住促進にも取り組みました。

KiTARA オープン
豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業

空き家情報バンク

結果として、まちの状態指標では「家族形成期にあたる世代（25～39 歳）の転出超過数の減少」など、約８割の指標が概ねめざす方向へ推移しています。

一方、移住・定住や観光・交流に関する指標において、新型コロナウイルス感染症の影響等を大きく受けています。

また、本施策の柱の成果指標である「都市と山村の交流コーディネート件数」や、基本施策Ⅶの「空き家情報バンクの成約数」、「いなか暮らし総合窓口への相談件数」が目標を大きく上回り増加していることから、コロナ禍を契機に山村地域への移住・定住の関心が一層高まっていることがうかがえます。

後期実践計画では、”重点施策（２）「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資”へ事業を継承し、山村地域への移住・定住を促進する「いなか暮らしコーディネート事業」や「博物館整備事業」などによる郷土愛の醸成（WE LOVE とよたの取組）により、引き続き”住み続けたいまちづくり”を推進していきます。

４　施策別の達成状況

（１）まちの状態指標

重点施策の達成状況（図表 23）では、いずれの施策においても概ねめざす方向へ推移した指標が多く見られました。一方、重点施策「（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出」においては、移住・定住や観光・交流に関する指標において、新型コロナウイルス感染症の影響等を大きく受けています。

基本施策の達成状況（図表 24）では、特に、基本施策「Ⅰ　こども・子育て」において、全ての指標がめざす方向へ推移しており、必要な幼児教育・保育を受けられる環境の整備において、達成度が高くなっています。

放課後児童クラブ

青色防犯パトロール

また、基本施策「Ⅳ　安全・安心」においては、８割以上の指標がめざす方向へ推移しました。地域ぐるみの防犯体制の強化や交通安全意識の向上に関する指標の達成度が高くなっています。

●図表 23　施策別の達成状況（重点施策）

	目指す方向に推移	反対に推移	―	合計
（１）超高齢社会への適応	16 (89%)	2 (11%)	0 (0%)	18 (100%)
（２）産業の強靭化	9 (82%)	2 (18%)	0 (0%)	11 (100%)
（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	5 (100%)
■重点施策合計	29 (85%)	5 (15%)	0 (0%)	34 (100%)

●図表 24　施策別の達成状況（基本施策）

	目指す方向に推移	反対に推移	―	合計
Ⅰ　子ども・子育て	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)
Ⅱ　生涯学習	23 (68%)	11 (32%)	0 (0%)	34 (100%)
Ⅲ　健康・福祉	11 (69%)	5 (31%)	0 (0%)	16 (100%)
Ⅳ　安全・安心	18 (86%)	3 (14%)	0 (0%)	21 (100%)
Ⅴ　産業・観光・交流	32 (78%)	6 (15%)	3 (7%)	41 (100%)
Ⅵ　環境	10 (67%)	5 (33%)	0 (0%)	15 (100%)
Ⅶ　都市整備	22 (81%)	3 (11%)	2 (7%)	27 (100%)
Ⅷ　地域経営	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	7 (100%)
■基本施策合計（再掲除く）	111 (75%)	32 (22%)	5 (3%)	148 (100%)

（２）施策の柱の成果指標

重点施策の達成状況（図表 25）では、重点施策「（２）産業の強靭化」において、約 8 割の指標が「S（達成）」及び「A（概ね達成）」となり、本市の企業誘致や新たな事業展開の創出支援において、指標の達成度が高くなっています。

また、基本施策の達成状況（図表 26）では、基本施策「Ⅵ 環境」において、再生可能エネルギーの普及促進など低炭素社会の実現に向けた取組が推進されるなど、約 7 割の指標が「S（達成）」となり順調に推移しています。

面ノ木風力発電所

豊田市駅東口まちなか広場の活用

そのほか、基本施策「Ⅶ 都市整備」において、豊田市駅前通り北地区再開発事業や豊田市駅東口まちなか広場の整備が完了するなど、ラグビーワールドカップ 2019™を契機に、にぎわいのある魅力的な都心形成が進められました。

●図表 25　施策別の達成状況（重点施策）

	S	A	B	C	―	合計
（１）超高齢社会への適応	8 (57%)	1 (7%)	1 (7%)	4 (29%)	0 (0%)	14 (100%)
（２）産業の強靭化	8 (73%)	1 (9%)	1 (9%)	1 (9%)	0 (0%)	11 (100%)
（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出	2 (20%)	2 (20%)	1 (10%)	5 (50%)	0 (0%)	10 (100%)
■重点施策合計	18 (51%)	4 (11%)	3 (9%)	10 (29%)	0 (0%)	35 (100%)

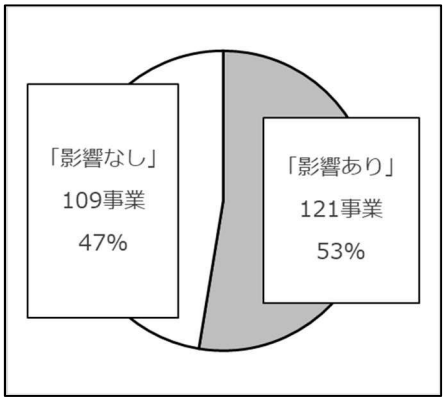
●図表 26　施策別の達成状況（基本施策）

	S	A	B	C	―	合計
Ⅰ　子ども・子育て	4 (57%)	1 (14%)	0 (0%)	2 (29%)	0 (0%)	7 (100%)
Ⅱ　生涯学習	25 (51%)	7 (14%)	4 (8%)	13 (27%)	0 (0%)	49 (100%)
Ⅲ　健康・福祉	16 (57%)	2 (7%)	4 (14%)	5 (18%)	1 (4%)	28 (100%)
Ⅳ　安全・安心	18 (56%)	7 (22%)	3 (9%)	4 (13%)	0 (0%)	32 (100%)
Ⅴ　産業・観光・交流	23 (47%)	7 (14%)	2 (4%)	16 (33%)	1 (2%)	49 (100%)
Ⅵ　環境	15 (68%)	0 (0%)	1 (5%)	6 (27%)	0 (0%)	22 (100%)
Ⅶ　都市整備	23 (56%)	7 (17%)	2 (5%)	9 (22%)	0 (0%)	41 (100%)
Ⅷ　地域経営	4 (44%)	2 (22%)	2 (22%)	1 (11%)	0 (0%)	9 (100%)
■基本施策合計（再掲除く）	115 (54%)	30 (14%)	16 (8%)	49 (23%)	2 (1%)	212 (100%)

5　新型コロナウイルス感染症の影響

全 230 事業（再掲除く）のうち、121 事業（53%）が新型コロナウイルス感染症の影響を受けました（図表 27）。

●図表 27　コロナの影響を受けた事業数及び割合（全体）



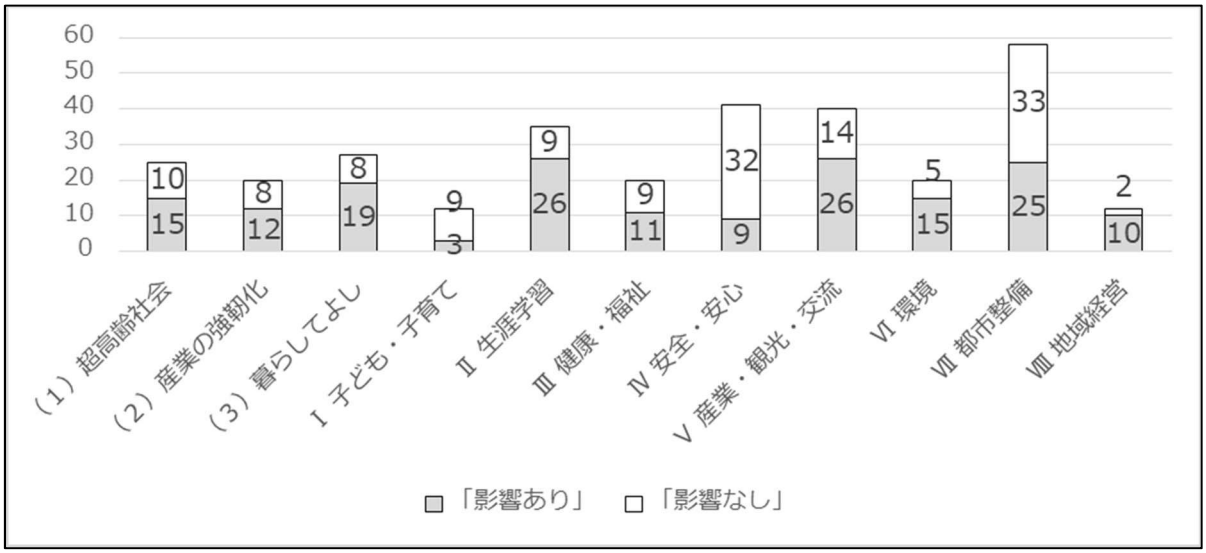
「影響あり」の例
・イベント・事業・講座などの中止及び縮小
・感染拡大防止に伴う手法の変更（オンライン化）など

※再掲除く（n=230）

●図表 28　コロナの影響を受けた事業数（施策別）

施策別（図表 28）では、特にイベント・講座など対面型の事業が多くを占める分野（基本施策「Ⅱ　生涯学習」、「Ⅴ　産業・観光・交流」、「Ⅵ　環境」及び「Ⅷ　地域経営」）で大きな影響を受け、事業の中止、延期、規模の縮小及びオンライン開催など手法の見直しを余儀なくされました。

一方で、山村地域への移住・定住ニーズの高まりや価値観の変化により、移住総合窓口での相談件数が増加するなど、本市の山村地域の魅力が改めて注目されています。



※再掲含む（n=310）

第３章　資料編

1　指標別の達成状況

下記の施策に該当するまちの状態指標については、新型コロナウイルス感染症の影響により最新値での評価が困難なため、2018年度までの実績及び第22回市民意識調査（2019年度実施）で評価

・重点施策（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出

・基本施策Ⅴ　産業・観光・交流

・基本施策Ⅷ　地域経営

重点施策（１）超高齢社会への適応

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
合計特殊出生率	1.66 （2015年）	↑	1.61 （2018年）	○
健康寿命 ①男性、②女性	①79.2歳 ②83.9歳 （2010年度）	↑	①80.5歳 ②84.0歳 （2015年度）	①○ ②○
日ごろから健康づくりのため、適度に運動している又は栄養バランスのとれた食事をしている市民の割合 【出典：市民意識調査】	61.0% （2016年度）	↑	56.5% （2021年度）	×
要支援・要介護認定者の認定率 ①65歳、②70歳、③75歳（4月1日時点）	①1.94% ②4.07% ③8.75% （2016年度）	↓	①1.54% ②3.62% ③7.73% （2020年度）	①○ ②○ ③○
訪問看護受診者数 ①国民健康保険被保険者 ②後期高齢者医療制度被保険者	①178人 ②335人 （2015年度）	↑	①351人 ②803人 （2020年度）	①○ ②○
自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合 ①小学生、②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	①76.8% ②66.8% （2015年度）	↑	①84.6% ②69.8% （2019年度）	①○ ②○
地域の行事や活動（ボランティア活動、地域のお祭り、ボーイ・ガールスカウトなど）に参加している割合 ①小学校低学年、②小学校高学年、③中学生、④高校生、⑤青少年（19～29歳） 【出典：豊田市子ども・子育て支援に関する市民意向調査、豊田市子ども・青少年の生活と意識に関する調査】	①85.2% ②85.1% ③74.5% ④34.4% ⑤21.2% （2013年度）	↑	①84.1% ②86.4% ③72.4% ④38.1% ⑤18.4% （2018年度）	①○ ②○ ③○ ④○ ⑤×
①地域の活動やＮＰＯ・ボランティア活動などに参加している市民の割合 ②65歳以上の市民のうち、地域の活動やＮＰＯ・ボランティア活動などに参加している市民の割合 【出典：市民意識調査】	①51.8% ②60.6% （2016年度）	↑	①49.2% ②60.2% （2021年度）	①○ ②○

●施策の柱の成果指標

柱①次代を創る健康で活力ある生涯活躍の仕組みの構築

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
①地域主体の健康づくりに取り組む中学校区数（年度末時点、市支援分） ②地域主体の健康づくりの取組への延べ参加者数（市支援分）	①4地区 ②5,293人 （2015年度）	①20地区 ②50,000人 （2020年度）	①20地区 ②100,640人 （2020年度）	①S ②S
今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合 ①小学生、②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	①79.7% ②61.7% （2015年度）	①85% ②65% （2020年度）	①81.0% ②68.0% （2019年度）	①C ②S
生きがいづくりや活躍のきっかけとなる取組への延べ参加・利用者数	13,564人 （2015年度）	14,200人 （2020年度）	1,760人 （2020年度）	C
交流館の延べ利用者数	272万人 （2015年度）	300万人 （2020年度）	129万人 （2020年度）	C
3年以内に交流館を利用した市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】 ※図書掲載情報から基準値を変更	31.5% （2016年度）	35% （2020年度）	49.3% （2020年度）	S

柱②安心な暮らしを支える地域包括支援の仕組みの構築

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
①福祉の相談窓口を利用した人数 ②福祉の相談窓口で支援プランを作成した件数	—	①400人 ②60件 （2020年度）	①2,010人 ②702件 （2020年度）	①S ②S
医療・介護連携に係るＩＣＴ（情報通信技術）を活用した情報共有システムへの加入率（年度末時点）	—	30% （2020年度）	38.7% （2020年度）	S
豊田地域医療センターの訪問診療件数	1,220件 （2015年度）	4,300件 （2020年度）	13,927件 （2020年度）	S
特別養護老人ホーム整備床数 （年度末時点、市補助分）	1,172床 （2015年度）	1,555床 （2020年度）	1,449床 （2020年度）	A
市と共働で介護人材確保に資する取組を行った事業所数	27事業所 （2015年度）	45事業所 （2020年度）	36事業所 （2020年度）	B

柱③多世代共生のまちを実現するための都市機能・住環境の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
おいでんバス・地域バスの延べ利用者数	250万人 （2015年度）	282万人 （2020年度）	2,099,791人 （2020年度）	C

重点施策（２）産業の強靭化

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
市内製造業の有形固定資産投資額 【出典：工業統計調査】	2,061億円 （2014年）	↑	2,951億円 （2018年）	○
市内製造業の付加価値額 【出典：工業統計調査】	3兆6,454億円 （2014年）	↑	3兆8,077億円 （2018年）	○
開業率（経済センサスの前回調査からの期間の平均）	2.4% （2012年～2014年）	↑	2.3% （2016年～2019年）	○
製造業を除く分野の市内総生産	1兆56億円 （2013年度） ※最新の公表値で基準値を変更	↑	1兆1,706億円 （2015年度）	○
全従業者数（公務を除く）に占める輸送用機械器具製造業を除く従業者数の割合	69.1% （2014年）	↑	64.9% （2016年）	×
小売吸引力指数	0.81 （2012年）	↑	0.80 （2016年）	○
観光客1人当たりの平均消費額	14,944円 （2015年）	↑	9,016円 （2018年）	×
労働力率 ①全体、②25歳～39歳の女性	①66.3% ②65.2% （2010年度）	①→ ②↑	①64.2% ②69.2% （2015年度）	①○ ②○
人口１人当たりの市民家計所得 【出典：あいちの市町村民所得】	4,012千円 （2013年度） ※最新の公表値で基準値を変更	↑	4,107千円 （2018年度）	○
個人市民税の所得割額 【出典：市税概要】	306億円 （2016年度）	↑	319億円 （2019年度）	○

●柱の成果指標

柱①次代の産業拠点としての機能の高度化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
主要な物流路線及び関連市道の整備延長（年度末時点）	1.0㎞ （2015年度）	7.8㎞ （2020年度）	6.6㎞ （2020年度）	A
成長分野及び研究開発施設の立地件数（4・8年累計、市制度活用分）	―	8件 （2017～2020年度）	12件 （2017～2020年度）	S
ミライ・チャレンジ都市パートナーシップ事業の数（4・8年累計）	―	2事業 （2017～2020年度）	1事業 （2017～2020年度）	B
ものづくり創造拠点における起業の支援数（4・8年累計）	―	10件 （2017～2020年度）	53件 （2017～2020年度）	S

柱②多様な地域資源を生かした産業の振興

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
一般社団法人ツーリズムとよた（新・豊田市観光協会）の会員数（年度末時点）	―	100会員 （2020年度）	172会員 （2020年度）	S
農商工連携取組件数及び6次産業化認定事業者の件数（年度末時点）	21件 （2015年度）	29件 （2020年度）	54件 （2020年度）	S
中核製材工場における原木取扱量	―	35,000㎥ （2020年度）	36,783㎥ （2020年度）	S
新製品・新技術等開発の取組件数（4・8年累計、市制度活用分）	―	30件 （2017～2020年度）	43件 （2017～2020年度）	S

柱③働く機会の多様化と産業を支える人材の確保

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
ワーク・ライフ・バランス関連認証制度の取得事業所数（年度末時点）	160社 （2015年度）	280社 （2020年度）	326社 （2020年度）	S
就労支援室関連セミナー等への参加者数	858人 （2015年度）	1,000人 （2020年度）	2,061人 （2020年度）	S
キャリアカウンセリング対象者及び就労支援セミナー受講者のうち、就労した人数	29人 （2015年度）	75人 （2020年度）	32人 （2020年）	C

重点施策（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
家族形成期にある世代（25歳～39歳）の転出超過数（直近4年間の平均）	1,180人 （2012～2015年）	↓	640人 （2015～2018年度）	○
山村地域への転入・転居者数 ※図書掲載情報から基準値を変更	521人 （2015年度）	↑	488人 （2018年度）	×
今住んでいるところに長く住みたいと思う市民の割合 【出典：市民意識調査】	70.9% （2016年度）	↑	67.9% （2019年度）	○
主な宿泊施設における宿泊者数	258,412人 （2015年度）	↑	250,651人 （2018年度）	○
豊田市や住んでいる地域に対して愛着を感じている市民の割合 【出典：市民意識調査】	76.7% （2016年度）	↑	77.40% （2019年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①豊田ならではの暮らしの豊かさを生かした定住の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
土地区画整理事業及び市街化調整区域内地区計画により新たに整備した宅地面積（4・8年累計）	―	47.7ha （2017～2020年度）	43.7ha （2017～2020年度）	A
市街地における住宅取得支援数（市支援分）	79戸 （2015年度）	200戸 （2020年度）	93戸 （2020年度）	C
山村地域への移住・定住者数（市支援分）	139人 （2015年度）	260人 （2020年度）	145人 （2020年度）	C
都市と山村の交流コーディネート件数（4・8年累計）	―	160件 （2017～2020年度）	248件 （2017～2020年度）	S

柱②世界に発信するまちぐるみの観光・交流の取組の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
主な宿泊施設における観光目的の外国人宿泊数	15,253人 （2015年度）	26,000人 （2020年度）	90人 （2020年度）	C
外国人向け交流プログラムの数（4・8年累計）	―	400件 （2017～2020年度）	315件 （2017～2020年度）	A
都心の１日（5時～24時）当たりの歩行者通行量 ①平日、②休日	①78,584人 ②68,931人 （2015年度）	①86,000人 ②76,000人 （2020年度）	①51,645人 ②41,035人 （2020年度）	①C ②C

柱③まちの魅力の共有と発信

指標名	基準値 （基準年度）	目標値〔中間値〕 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
学びのプログラムへの参加者数	7,803人 （2015年度）	12,000人 （2020年度）	10,308人 （2020年度）	B
市民が主体となった、まちの魅力を発信する活動の件数	138件 （2015年度）	400件 （2020年度）	582件 （2020年度）	S

基本施策Ⅰ 子ども・子育て

Ⅰ-1-（1）安心して子どもを生み育てられる環境の充実

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
子育て世帯のうち、「出産、子育てがしやすいまち」として満足している割合 【出典：市民意識調査】	66.5% （2016年度）	↑	68.6% （2021年度）	○
就学前児童のいる世帯のうち、子育てに自信がない市民の割合 【出典：豊田市子ども・子育て支援に関する市民意向調査、豊田市子ども・青少年の生活と意識に関する調査】	44.5% （2013年度）	↓	44.2% （2018年度）	○
近所で児童虐待を受けていると思われる子どもを見つけたとき、市役所、児童相談所、警察等に連絡できる市民の割合 【出典：市民意識調査】	61.1% （2016年度）	↑	69.1% （2021年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①相談体制・支援サービスの充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
コールセンターにおける育児に関する相談で解決できた件数	—	1,200件 （2020年度）	2,694件 （2020年度）	S

柱②若年層に対する妊娠・出産と向き合う機会の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
命の尊さや親の役割、性教育を学ぶ機会に参加した大学生以下の延べ人数（市実施分）	4,479人 （2015年度）	6,500人 （2020年度）	2,088人 （2020年度）	C

柱③児童虐待防止対策の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
虐待防止教育のワークショップへの参加者数（市実施分）	3,945人 （2015年度）	4,500人 （2020年度）	763人 （2020年度）	C

Ⅰ-1-（2）必要な幼児教育・保育を受けられる環境の整備

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
待機児童数(4月1日時点)	0人 （2016年度）	→	0人 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①保育需要への対応

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
0歳～2歳児の定員(4月1日時点)	2,486人 （2016年度）	2,698人 （2020年度）	2,674人 （2020年度）	A
3歳児幼児教育の実施園数(4月1日時点)	43園 （2016年度）	48園 （2020年度）	48園 （2020年度）	S

柱②良好な幼児教育・保育環境の確保

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
老朽化した園舎の改築数（4年累計）	―	1園 （2017～2020年度）	1園 （2020年度）	S
洋式便器の割合が50%未満の園数（年度末時点） ※図書掲載情報から基準値を変更	17園 （2016年度）	4園 （2020年度）	3園 （2020年度）	S

基本施策Ⅱ 生涯学習

Ⅱ-1-（1）生き抜く力を育む学校教育の推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
学校に行くのが楽しい児童生徒の割合 ①小学生、②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	①86.2% ②82.3% （2015年度）	↑	①84.9% ②79.7% （2019年度）	①○ ②○
「学校教育が充実したまち」として満足している市民の割合 ①小・中学生がいる世帯、②小・中学生がいない世帯 【出典：市民意識調査】	①52.6% ②49.6% （2016年度）	↑	①57.3% ②49.1% （2020年度）	①○ ②○
自分の住む地域が大好きだという児童生徒の割合 ①小学生、②中学生 【出典：教科等に対する意識調査】	①55.7% ②33.7% （2015年度）	↑	①51.2% ②29.2% （2020年度）	①× ②×

●施策の柱の成果指標

柱①学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合 ①小学生、②中学校 【出典：全国学力・学習状況調査】	①79.7% ②61.7% （2015年度）	①85% ②65% （2020年度）	①81.0% ②68.0% （2019年度）	①C ②S

柱②確かな学力を育む教育の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
学習内容を理解している児童生徒の割合 ①小学生（4教科平均）、②中学生（5教科平均） 【出典：教科等に対する意識調査】	①85.5% ②67.2% （2015年度）	①毎年度85%以上 （2017～2020年度） ②70% （2020年度）	①86.1% ②69.3% （2020年度）	①A ②A

柱③豊かな人間性を育む教育の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」など、豊かな人間性に関連する10の質問の回答平均 ①小学生、②中学生 【出典：全国学力・学習状況調査】	①87.7% ②83.8% （2015年度）	①毎年度87%以上 （2017～2020年度） ②85% （2020年度）	①91.3% ②84.2% （2019年度）	①S ②C
ブロックサポート体制が確立したブロック数（年度末時点）	4ブロック （2015年度）	全6ブロック （2020年度）	全6ブロック （2020年度）	S

柱④たくましく生きるための健康・体力を育む教育の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
体育が楽しいと思う児童生徒の割合 ①小学生、②中学生 【出典：教科等に対する意識調査】	①87.8% ②83.3% （2015年度）	①毎年度87%以上 （2017～2020年度） ②85% （2020年度）	①88.9% ②86.0% （2020年度）	①S ②S
体力向上１校１実践の実施校数	全校実施 （2015年度）	全校実施の継続 （2017～2020年度）	全校実施 （2019年度）	S

Ⅱ-1-（2）安全・安心で快適に学べる教育環境の充実

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
人口増加に伴い教室不足が発生する可能性のある学校数（年度末時点）	12校 （2016年度）	↓	9校 （2020年度）	○
老朽化対策を必要とする学校数（年度末時点） ※図書掲載情報から基準値を変更	35校 （2016年度）	↓	15校 （2020年度）	○
施設更新を必要とする給食センター数（年度末時点）	2施設 （2016年度）	↓	0施設 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①学校施設整備の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
児童生徒数の増加に対応した学校数（4年累計）	―	2校 （2017～2020年度）	2校 （2017～2020年度）	S

柱②学校施設環境の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
保全改修の実施校数（4年累計）	―	32校 （2017～2020年度）	20校 （2017～2020年度）	B
トイレ再整備の実施校数（4年累計）	―	65校 （2017～2020年度）	45校 （2017～2020年度）	B

柱③給食調理環境の整備

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
給食センター施設の整備数（4年累計）	―	1施設 （2017～2020年度） ※更新時に2施設を1施設に統合	1 施設 （2020年度）	S

Ⅱ-1-（3）地域による次世代人材の育成の促進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
地域の行事や活動（ボランティア活動、地域のお祭り、ボーイ・ガールスカウトなど）に参加している割合 ①小学校低学年、②小学校高学年、③中学生、④高校生、⑤青少年（19歳～29歳） 【出典：豊田市子ども・子育て支援に関する市民意向調査、豊田市子ども・青少年の生活と意識に関する調査】	①85.2% ②85.1% ③74.5% ④34.4% ⑤21.1% （2013年度）	↑	①84.1% ②86.4% ③72.4% ④38.1% ⑤18.4% （2018年度）	①○ ②○ ③○ ④○ ⑤×
１年以内に、小・中学校の活動又は児童生徒とともに行う地域の活動に参加した市民の割合 【出典：市民意識調査】	28.6% （2016年度）	↑	15.0% （2021年度）	×

●施策の柱の成果指標

柱①地域における子どもの居場所確保の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
放課後児童クラブの待機児童数（5月1日時点）	0人 （2016年度）	0人を維持 （2017～2020年度）	0人 （2020年度）	S
子どもの居場所づくりに関わった地域や市民団体の数	23団体 （2015年度）	34団体 （2020年度）	36団体 （2020年度）	S

柱②小・中学校が主体的に活動できる機会の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
生き抜く力を育む活動に参加した小・中学生の人数（市支援分）	308人 （2015年度）	2,000人 （2020年度）	0人 （2020年度）	C

柱③高校生・大学生の社会参加活動の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
地域・社会活動に参加した高校生・大学生の延べ人数（市支援分）	582人 （2015年度）	1,200人 （2020年度）	1,731人 （2020年度）	S
とよた若者応援ネット「プラス」の登録者数（年度末時点）	―	3,000人 （2020年度）	3,614人 （2020年度）	S

柱④自立に困難を抱える若者の支援

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
若者サポートステーションの登録者数（年度末時点）	126人 （2015年度）	200人 （2020年度）	181人 （2020年度）	A
適切な機関への紹介や就職等につながった人数（市支援分）	49人 （2015年度）	70人 （2020年度）	76人 （2020年度）	S

Ⅱ-1-（4）まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
ものづくりに興味のある児童生徒の割合 ①小学校5年生、②中学生2年生 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	①79.4% ②54.4% （2016年度）	↑	①80.7% ②64.4% （2020年度）	①○ ②○
子どもを対象とした、ものづくりや科学の講座・イベントへの参加者数	55,570人 （2015年度）	↑	17,190人 （2020年度）	×
子どものものづくり学習を支える企業・団体等の数（年度末時点）	105団体 （2015年度）	↑	123団体 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
ものづくり学習の取組への参加者数（市実施分）	54,953人 （2015年度）	56,000人 （2020年度）	16,767人 （2020年度）	C
「子どもたちが興味・関心を持ってものづくり活動に取り組んでいた」と回答した学校の割合	—	85% （2020年度）	96.7% （2019年度）	S

柱②高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
高度なものづくり・科学事業への参加者数（市実施分）	617人 （2015年度）	750人 （2020年度）	423人 （2020年度）	C
企業や大学等と連携して実施したものづくり・科学学習の取組数	5件 （2015年度）	7件 （2020年度）	9件 （2020年度）	S

Ⅱ-1-（5）高齢者が活躍できる環境の充実

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
高齢者の生きがいや就労等の延べ相談件数	394件 （2015年度）	↑	343件 （2020年度）	×
65歳以上の市民のうち、日ごろの生活の中で生きがいを感じている割合 【出典：市民意識調査】	76.7% （2016年度）	↑	71.0% （2021年度）	×
65歳以上の市民のうち、地域の活動やＮＰＯ・ボランティア活動などに参加している割合 【出典：市民意識調査】	60.6% （2016年度）	↑	60.2% （2021年度）	○
60歳以上の市民のうち、就業している割合 【出典：市民意識調査】	32.9% （2016年度）	↑	57.8% （2021年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①高齢者の社会や地域での活躍支援

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
生きがいづくりや活躍のきっかけとなる取組への延べ参加・利用者数（市実施分）	13,564人 （2015年度）	14,200人 （2020年度）	1,726人 （2020年度）	C

柱②高齢者への多様な就業機会の提供

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
シルバー人材センターでの就業率	86.4% （2015年度）	87.5% （2020年度）	84.4% （2020年度）	C

Ⅱ-1-（6）女性が活躍できる環境の充実

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
0歳～3歳児をもつ女性の就業継続者の割合 【出典：職場における男女共同参画意識調査】 ※2018年度は「男女共同参画社会に関する意識調査」として実施	21.9% （2011年度）	↑	50.7% （2018年度）	○
「女性が活躍できる環境が整っているまち」として満足している市民の割合 【出典：市民意識調査】	29.0% （2016年度）	↑	26.7% （2021年度）	×

●施策の柱の成果指標

柱①ワーク・ライフ・バランスの推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
優良事業所表彰の応募件数	12件 （2015年度）	15件 （2020年度）	24件 （2020年度）	S
ワーク・ライフ・バランス推進のための訪問事業所数	45事業所 （2015年度）	50事業所 （2020年度）	43事業所 （2020年度）	C

柱②女性の就労・市民活動意識確立の支援強化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
女性の就労に向けた支援の取組への参加者数（市実施分）	140人 （2015年度）	200人 （2020年度）	223人 （2020年度）	S
女性の活躍を支援する取組が役立ったと感じた参加者の割合（市実施分）	―	70% （2020年度）	95.8% （2020年度）	S

柱③若者の男女共同参画への理解促進に向けた取組の強化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
高校・大学での男女共同参画の理解促進のための授業数（市実施分）	―	5件 （2020年度）	7件 （2020年度）	S
高校・大学で、男女共同参画の理解促進授業を受けた人数（市実施分）	―	100人 （2020年度）	152人 （2020年度）	S

Ⅱ-2-（1）スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
中学生以下の子どものうち、地域スポーツクラブに加入している割合（10月1日時点）	7.3% （2016年度）	↑	5.9% （2020年度）	×
成人の週１回以上のスポーツ実施率 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	56.2% （2016年度）	↑	55.7% （2020年度）	○
過去１年間にスポーツを観戦した市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	34.6% （2016年度）	↑	29.1% （2020年度）	×
過去１年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	4.5% （2016年度）	↑	5.2% （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①スポーツを「する」機会の拡充

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の教室等に参加した中学生以下の子どもの延べ人数	191,890人 （2015年度）	220,000人 （2020年度）	126,977人 （2020年度）	C
新たに地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の教室等に参加した中高齢者の数	―	毎年度300人以上 （2017～2020年度）	114人 （2020年度）	B

柱②スポーツを楽しむ風土の醸成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
スポーツチームやトップアスリートと市が連携して実施した取組の延べ参加者数	10,171人 （2015年度）	毎年度15,000人以上 （2017～2020年度）	1,441人 （2020年度）	A

柱③スポーツを「支える」指導者の育成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
スポーツ指導者養成講座の修了者数（市実施分）	11人 （2014年度）	毎年度30人以上 （2017～2020年度）	0人 （2020年度）	B
企業や大学などと市が共催するスポーツ関連事業への延べ参加者数	516人 （2015年度）	毎年度1,000人以上 （2017～2020年度）	0人 （2020年度）	S

Ⅱ-3-（1）歴史や文化財の継承と魅力の発信

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
主要文化財施設の総入館者数	126,116人 （2015年度）	↑	111,139人 （2020年度）	×
郷土の歴史・文化に誇りや愛着を持っている市民の割合 【出典：市民意識調査】	44.2% （2016年度）	↑	48.6% （2021年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①歴史を継承・発信する基盤・機会の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
講座・講演会等の延べ参加者数（市実施分）	58,536人 （2015年度）	63,000人 （2020年度）	36,393人 （2020年度）	C

柱②市民力を生かした博学連携・歴史継承の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
マイスターが参画する博学連携事業への延べ参加者数	3,070人 （2015年度）	5,300人 （2020年度）	153人 （2020年度）	C
郷土芸能団体等が参画する市民ボランティア事業への延べ参加者数	―	1,200人 （2020年度）	1,670人 （2020年度）	S

柱③歴史的な町並みを生かしたまちづくり

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
足助中馬館の延べ来館者数	15,480人 （2015年度）	17,000人 （2020年度）	9,031人 （2020年度）	C

Ⅱ-3-（2）文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
文化芸術に興味を持っている市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	58.5% （2016年度）	↑	60.9% （2020年度）	○
文化芸術の鑑賞・見学を行っている市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	72.8% （2016年度）	↑	69.6% （2020年度）	○
文化芸術活動（鑑賞・見学を除く）を行っている市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】	28.5% （2016年度）	↑	27.6% （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①文化芸術に触れる機会の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
文化芸術活動への延べ参加者数 ①コンサートホール・能楽堂（市主催分）、②美術館（直近4年度の平均、市主催分）	①29,915人 （2015年度） ②67,526人 （～2015年度） ※改修期含む	①毎年度30,000人以上 （2017～2020年度） ②200,000人 （～2020年度）	①8,880人 （2020年度） ②261,615人 （～2020年度）	①A ②S

柱②文化芸術活動を担う人材の育成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
アートサポーターの新規登録者数（4年累計）	―	100人 （2017～2020年度）	201人 （2017～2020年度）	S

柱③文化施設の機能・価値の向上

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
主要文化施設の延べ利用者数 ①市民文化会館、②コンサートホール・能楽堂、③美術館（直近４年度の平均）、④図書館	①334,302人 （2015年度） ②93,278人 （2015年度） ③133,819人 （～2015年度） ※改修期含む ④862,700人 （2015年度）	①毎年度350,000人以上 （2017～2020年度） ②毎年度100,000人以上 （2017～2020年度） ③350,000人 （～2020年度） ④1,000,000人 （2018年度）	①53,317人 （2020年度） ②20,524人 （2020年度） ③368,174人 （～2020年度） ④642,979人 （2020年度）	①A ②A ③S ④C

基本施策Ⅲ 健康・福祉

Ⅲ-1-（1）誰もが健康づくりを継続できる環境の充実

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
健康寿命 ①男性、②女性	①79.2歳 ②83.9歳 （2010年度）	↑	①80.5歳 ②84.0歳 （2015年度）	①○ ②○
日ごろから健康づくりのため、適度に運動をしている市民の割合 【出典：市民意識調査】	45.8% （2016年度）	↑	40.5% （2021年度）	×
日ごろから健康づくりのため、栄養バランスのとれた食事をしている市民の割合 【出典：市民意識調査】	36.5% （2016年度）	↑	32.3% （2021年度）	×

●施策の柱の成果指標

柱①健康に関心を持つ機会の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
特定健康診査受診率（市実施分）	37.1% （2015年度）	40% （2020年度）	39.0% （2019年度）	B
40歳代～50歳代の特定保健指導受講終了者の割合（市実施分）	4.9% （2015年度）	6% （2020年度）	4.0% （2019年度）	C

柱②健康づくりを継続できる環境の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
健康づくり事業への参加者数（市実施分・支援分）	44,560人 （2015年度）	100,000人 （2020年度）	122,061人 （2020年度）	S
介護予防事業終了後の自主活動グループ数（年度末時点）	81か所 （2015年度）	338か所 （2020年度）	193か所 （2020年度）	C

柱③若いときからの望ましい食習慣の定着推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
食育講座等に参加し食習慣を見直した、義務教育終了後から30歳代までの市民の数（年度末時点、市実施分）	494人 （2015年度）	1,000人 （2020年度）	23人 （2020年度）	C
栄養バランスのとれた食事を意識している大学生の割合【出典：食育に関するアンケート調査】	59.8% （2015年度）	75% （2020年度）	―	―

Ⅲ-1-（2）健康危機への対応力の強化

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
届け出が必要な感染症発生件数	120件 （2015年度）	↓	1,365件 （2020年度）	×
食中毒発生件数	2件 （2015年度）	↓	6件 （2020年度）	×

●施策の柱の成果指標

柱①健康危機の発生予防対策の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
定期の予防接種率（麻しん） ①第1期、②第2期（市実施分）	①96.2% ②93.6% （2015年度）	①毎年度95%以上 （2017～2020年度） ②95% （2020年度）	①97.2% ②95.2% （2020年度）	①S ②S
食品等事業者への監視指導件数	3,762件 （2015年度）	毎年度3,000件以上 （2017～2020年度）	3,125件 （2020年度）	S

柱②健康危機の拡大防止対策の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
関係機関等との連携訓練・会議等の実施回数	1回 （2015年度）	毎年度1回以上 （2017～2020年度）	63回 （2020年度）	S
関係機関等との食品保健総合情報処理システム運用訓練の実施回数	2回 （2015年度）	毎年度2回以上 （2017～2020年度）	1回 （2020年度）	B

Ⅲ-2-（1）必要なときに受診できる医療提供体制の確保

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
かかりつけ医を決めている市民の割合 【出典：市民意識調査】	68.8% （2016年度）	↑	67.2% （2021年度）	○
救命救急センターの時間外受診者数	52,412人 （2015年度）	→	39,008人 （2020年度）	○
西三河北部医療圏（2次医療圏）の病床数（10月1日時点）	2,665床 （2015年度）	↑	2,761床 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①救急医療体制の維持

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
救急医療体制	24時間365日 （2016年度）	24時間365日を維持 （2017～2020年度）	24時間365日 （2020年度）	S

柱②適切な受診行動がとれる市民意識の醸成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
「とよた急病・子育てコール24」の認知度	―	70% （2020年度）	82.4% （2020年度）	S
医療啓発講座への参加者数（市実施分）	2,630人 （2015年度）	毎年度2,500人以上 （2017～2020年度）	2,824人 （2020年度）	S

柱③在宅医療を支援する機能の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
豊田地域医療センターの訪問診療件数	1,220件 （2015年度）	4,300件 （2020年度）	13,927件 （2020年度）	S

Ⅲ-3-（1）高齢者が安心して生活できる支援体制の充実

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
支援が必要な高齢者への延べ対応件数	122,862件 （2015年度）	↑	165,563件 （2020年度）	○
介護保険サービスの事業所数（4月1日時点）	651事業所 （2016年度）	↑	819事業所 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①住み慣れた地域で暮らすための支援体制の強化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
認知症の人やその家族に対する支援の機会の提供数（市支援分）	12件 （2015年度）	130件 （2020年度）	43件 （2020年度）	C
高齢者の見守りに関する協力をしている ①人数、②事業所（年度末時点、市取組分）	①14,909人 ②1,911事業所 （2015年度）	①24,000人 ②2,200事業所 （2020年度）	①43,382人 ②2,341事業所 （2020年度）	①S ②S

柱②高齢者を支える多様な担い手の確保

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
市と共働で介護人材確保に資する取組を行った事業所数	27事業所 （2015年度）	45事業所 （2020年度）	36事業所 （2020年度）	B
高齢者を支える担い手の人数（市取組分）	129人 （2015年度）	320人 （2020年度）	196人 （2020年度）	C

柱③介護環境の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
特別養護老人ホームの整備床数（年度末時点、市補助分）	1,172床 （2015年度）	1,555床 （2020年度）	1,449床 （2020年度）	A

Ⅲ-3-（2）障がい者が地域社会で共生できる環境の整備

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
日中活動系サービス ①利用率（6月実績）、②事業所の定員数（6月末時点）	①73.1% ②1,415人 （2016年度）	↑	①64.9% ②1,938人 （2020年度）	①× ②○
障がい者グループホーム ①入居率（4月1日時点）、②定員数（4月1日時点）	①92.0% ②150人 （2016年度）	↑	①90.4% ②178人 （2020年度）	①○ ②○

●施策の柱の成果指標

柱①理解・啓発活動の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
講座・講演会・研修等への参加者数（市実施分）	—	毎年度2,000人以上 （2017～2020年度）	2,201人 （2020年度）	S

柱②日中活動場所の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新たに確保された日中活動系サービスの定員数（4年累計、市補助分）	—	238人 （2017～2020年度）	139人 （2020年度）	B
就労生活支援センターによる職場開拓訪問企業数	94社 （2015年度）	毎年度100社以上 （2017～2020年度）	91社 （2020年度）	A

柱③地域での居住の場の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新たに確保された障がい者グループホームの定員数（4年累計、市補助分）	—	45人 （2017～2020年度）	93人 （2020年度）	S

Ⅲ-3-（3）生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
自立相談支援機関窓口への延べ相談件数	895件 （2015年度）	↑	10,304件 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①生活困窮者への相談支援の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
支援プランを策定した要支援者のうち、プランにより自立できた割合（市支援分）	7% （2015年度）	30% （2020年度）	41% （2020年度）	S
アウトリーチ（要支援者への出張対応）による相談支援件数（市支援分）	320件 （2015年度）	1,500件 （2020年度）	1,911件 （2020年度）	S

柱②子どもへの学習環境の提供

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
学習支援事業に参加した児童生徒の数（市実施分）	―	55人 （2020年度）	105人 （2020年度）	S

基本施策Ⅳ 安全・安心

Ⅳ-1-（1）自助・共助・公助による災害対策の充実

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
災害に対する主な5つの備えをしている市民の割合 【出典：市民意識調査】	7.6% （2016年度）	↑	7.0% （2021年度）	×
災害に対する主な5つの取組を行っている自主防災会の割合 【出典：自主防災会調査】	―	↑	23% （2020年度）	○
企業における災害時の行動マニュアル（ＢＣＰ含む）の策定率	―	↑	27.7% （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①市民による災害対策の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
市の取組が災害に対する備えの行動を起こすきっかけとなった市民の数（4年累計）	―	3,360人 （2017～2020年度）	12,705人 （2017～2020年度）	S
木造住宅の耐震に係る補助制度の利用件数 ①改修等、②診断	①88件 ②266件 （2015年度）	①毎年度85件以上 ②毎年度265件以上 （2017～2020年度）	①52件 ②90件 （2020年度）	①A ②C

柱②地域による災害対策の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
防災リーダー養成講座の修了者数	94人 （2016年度）	毎年度100人以上 （2017～2020年度）	49人 （2020年度）	A

柱③事業者による災害対策の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
市の取組が災害対策を行うきっかけとなった事業者の数（4年累計）	―	180事業所 （2017～2020年度）	177事業所 （2017～2020年度）	A

柱④市の災害対策本部体制の強化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
事業者と連携して実施した防災訓練数	1回 （2016年度）	2回 （2020年度）	1回 （2020年度）	C
災害用便槽の整備率（年度末時点）	39.1% （54か所/138か所） （2015年度）	72.5% （100か所/138か所） （2020年度）	62.3% （86か所/138か所） （2020年度）	B

Ⅳ-1-（2）防災・減災につながる都市機能の強化

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
既設重要橋りょうの耐震化率（年度末時点） ①落橋防止対策、②橋脚補強対策	①77.7% （70橋/90橋） ②63.2% （31橋/49橋） （2015年度）	↑	①98.9% （89橋/90橋） ②93.9% （46橋/49橋） （2020年度）	①○ ②○
市道のり面等における防災対策が必要な箇所数（年度末時点）	126か所 （2015年度）	↓	50か所 （2020年度）	○
一級河川安永川整備の進捗率（年度末時点）	66.7% （2.48㎞/3.72㎞） （2015年度）	↑	100% （3.72㎞/3.72㎞） （2020年度）	○
被災時に生活用水として市民１人当たり20リットル供給できる日数（年度末時点）	8.6日 （2015年度）	↑	9.38日 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①災害に強い道路環境の確保

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
既設重要橋りょうの耐震化率（年度末時点） ①落橋防止対策、②橋脚補強対策	①77.7% （70橋/90橋） ②63.2% （31橋/49橋） （2015年度）	①100% （90橋/90橋） ②100% （49橋/49橋） （2020年度）	①98.9% （89橋/90橋） ②93.9% （46橋/49橋） （2020年度）	①A ②A
防災対策が必要な市道のり面等の箇所数（年度末時点）	126か所 （2015年度）	0か所 （2020年度）	50か所 （2020年度）	B
無電柱化整備延長（年度末時点）	13㎞ （2015年度）	16㎞ （2020年度）	17㎞ （2020年度）	S

柱②災害の軽減に向けた治水安全度の向上

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
一級河川安永川整備の進捗率（年度末時点）	66.7% （2.48㎞/3.72㎞） （2015年度）	100% （3.72㎞/3.72㎞） （2018年度）	100% （3.72㎞/3.72㎞） （2020年度）	S
流域貯留施設整備の進捗率（年度末時点）	12.9% （7,000㎥ /54,000㎥） （2015年度）	29% （15,700㎥ /54,000㎥） （2020年度）	53% （28,800㎥ /54,000㎥） （2020年度）	S
公共下水道雨水施設の耐震化率（年度末時点）	3.0% （0.1km/3.3km） （2015年度）	27% （0.9km/2.7km） （2020年度）	57.6% （1.9km/3.3km） （2020年度）	S

柱③災害に備えた水道水の供給体制の整備

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
配水池の耐震化率（年度末時点）	62.8% （114,262㎥ /181,869㎥） （2015年度）	69% （127,117㎥ /183,000㎥） （2020年度）	70.1% （123,857㎥ /176,799㎥） （2020年度）	S
基幹管路（耐震化プランに位置付けた幹線管路12路線）の耐震化率（年度末時点）	50.2% （35,350m /70,410m） （2015年度）	66% （47,012m /70,650m） （2020年度）	55.6% （39,297m /70,650m） （2020年度）	C
重要給水施設配水管の耐震化率（年度末時点）	62.1% （31,210m /50,220m） （2015年度）	82% （41,540m /50,220m） （2020年度）	74.7% （37,521m /50,220m） （2020年度）	B

Ⅳ-2-（1）自助・共助・公助による消防対応力の強化

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
火災発生件数	152件 （2015年）	↓	118件 （2020年）	○
高齢者がいる世帯のうち、住宅用火災警報器を設置している割合 【出典：市民意識調査】	71.8% （2016年度）	↑	62.2% （2021年度）	×
消防団員数（4月1日時点）	2,045人 （2016年度）	→	2,025人 （2020年度）	○
救命率	68.8% （2015年）	→	30.8% （2020年）	×
消防水利の充足率（4月1日時点）	57.9% （2015年度）	↑	78.2% （2019年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①火災予防の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
火災予防の啓発を担うリーダーとなった高校生の数（4年累計）	—	84人 （2017～2020年度）	97人 （2017～2020年度）	S
新たに住宅用火災警報器を設置した高齢者がいる世帯数（4年累計、市啓発分）	—	3,200世帯 （2017～2020年度）	15,455世帯 （2017～2020年度）	S

柱②消防団の充実強化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新たに採用した機能別消防団員の数（4年累計、市事業分）	—	80人 （2017～2020年度）	186人 （2017～2020年度）	S
配備が完了した消防団の安全確保や情報伝達のための装備品数（年度末時点）	7/17品目 （2015年度）	14/17品目 （2020年度）	14/17品目 （2020年度）	S

柱③消防体制の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新たに消火用水を確保した区画数（4年累計、市整備分） ①防火水槽により確保、②水槽付消防車両等により確保	―	①28区画 ②600区画 （2017～2020年度）	①23区画 ②700区画 （2017～2020年度）	①A ②S
日本語が話せない外国人における多言語コールセンターの認知率 【出典：外国人住民意識調査】	―	80% （2020年度）	31.8% （2020年度）	C
新たな緊急通報手段の利用登録者数（4年累計、市啓発分）	―	400人 （2017～2020年度）	339人 （2017～2020年度）	A

柱④救急体制の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
応急手当講習会を開催した小・中学校数（4年累計）	―	104校 （2017～2020年度）	104校 （2017～2020年度）	S
救急隊の出動において救急救命士が複数名で活動できた割合	41.3% （2015年度）	50% （2020年度）	56.4% （2020年度）	S

Ⅳ-3-（1）地域ぐるみの防犯体制の強化

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
人口1,000人当たりの刑法犯認知件数 【出典：県警本部の公表数値】	8.13件 （2015年）	↓	3.81件 （2020年）	○
住宅対象侵入盗認知件数 【出典：県警本部の公表数値】	199件 （2015年）	↓	84件 （2020年）	○
自動車関連窃盗認知件数 【出典：県警本部の公表数値】	473件 （2015年）	↓	125件 （2020年）	○

●施策の柱の成果指標

柱①地域の防犯力の向上

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
自主防犯活動団体のリーダーの育成数	44人 （2016年度）	毎年度50人以上 （2017～2018年度）	69人 （2018年度）	S

柱②犯罪多発地区への防犯対策の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
犯罪多発地区における防犯カメラ設置箇所数（4年累計、市補助分）	―	15か所 （2017～2020年度）	62か所 （2017～2020年度）	S

Ⅳ-4-（1）交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
交通事故死傷者数 ①全体、②高齢者、③自転車、④歩行者、⑤6歳～12歳（小学生） 【出典：県警本部の公表数値】	①2,392人 ②320人 ③277人 ④165人 ⑤60人 （2015年）	↓	①1,266人 ②129人 ③188人 ④97人 ⑤23人 （2020年）	①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○

●施策の柱の成果指標

柱①交通安全啓発の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
交通安全の意識が高まった高齢者の数（市啓発分）	—	毎年度5,000人以上 （2017～2020年度）	21,337人 （2017～2019年度）	S

※2020年は手法を変更したため、実績把握できず

柱②交通安全環境の整備

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
通学路における横断歩道のカラー舗装化の進捗率（年度末時点）	34.7% （25か所/72か所） （2016年度）	100% （72か所/72か所） （2018年度）	100% （72か所/72か所） （2018年度）	S
交通事故多発地点における交通安全対策の実施箇所数（4年累計）	—	15か所 （2017～2020年度）	15か所 （2017～2020年度）	S

基本施策Ⅴ 産業・観光・交流

Ⅴ-1-（1）地域特性に応じた産業型農業の推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
認定農業者のうち、法人化している経営体（年度末時点）	33法人 （2015年度）	↑	33法人 （2018年度）	○
認定新規就農者の認定数（年度末時点）	19件 （2015年度）	↑	35件 （2018年度）	○
鳥獣害による被害額	104,676千円 （2015年）	↓	90,255千円 （2018年）	○
経営耕地面積 【出典：農林業センサス】	3,381ha （2015年）	→	—	—

●施策の柱の成果指標

柱①大規模で高効率な平坦部農業の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
農地の利用集積面積（年度末時点）	1,966ha （2015年度）	2,200ｈａ （2020年度）	2,189ha （2020年度）	A
米麦大豆の生産量 【出典：愛知農林水産統計年報】	16,502t （2015年）	毎年16,500t以上 （2017～2020年）	16,469t （2020年）	S

柱②高付加価値を生む都市近郊型農業の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
農商工連携取組件数及び6次産業化認定事業者の件数 （年度末時点）	21件 （2015年度）	29件 （2020年度）	54件 （2020年度）	S

柱③観光産業の一翼を担う山村部農業の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
とよたまちさとミライ塾における山村部の農業関連プログラムの数	11件 （2015年度）	16件 （2020年度）	15件 （2018年度）	A
集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組んだ集落の数	82集落 （2015年度）	90集落 （2020年度）	46集落 （2020年度）	C

Ｖ-1-（2）地域が支える“食と農”の推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
とよたの農産物を購入するように心がけている市民の割合 【出典：市民意識調査】	58.4% （2016年度）	↑	55.8% （2019年度）	○
市内総生産における農業の額 【出典：とよたの市民所得】	5,404百万円 （2013年度）	→	6,452百万円 （2017年度）	○
農業就業人口（販売農家） 【出典：農林業センサス】	3,929人 （2015年）	→	―	―

●施策の柱の成果指標

柱①地産地食の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
地産地食応援店の登録店舗数（年度末時点）	119店舗 （小売店61、飲食店58） （2015年度）	170店舗 （2020年度）	189店舗 （2020年度）	S
地産地食応援フェイスブックの1投稿当たりの平均閲覧数	995カウント （2015年度）	1,500カウント （2020年度）	549カウント （2020年度）	C

柱②「農ある暮らし」の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
市民農園（年度末時点） ①区画数、②利用率	①994区画 ②94.4% （2015年度）	①1,000区画 ②98% （2020年度）	①884区画 ②94.3% （2020年度）	①C ②C
農ライフ創生センター農作物栽培技術研修（初級）の修了生の数（年度末時点）	844人 （2015年度）	1,044人 （2020年度）	1,036人 （2020年度）	A

Ｖ-2-（1）100年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
健全化に向かっている人工林の割合（年度末時点）	57% （2015年度）	↑	67.7% （2018年度）	○
とよた森林学校ＯＢ会の登録会員数（年度末時点）	134人 （2015年度）	↑	201人 （2018年度）	○
間伐ボランティア団体数（年度末時点）	10団体 （2015年度）	↑	13団体 （2018年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①健全な人工林づくりの推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
人工林の間伐実施面積	830ha （2015年度）	1,200ha （2020年度）	919ha （2020年度）	C
森づくり団地計画の認定面積	1,054ha （2015年度）	毎年度1,200ha （2017～2020年度）	1,104ha （2020年度）	A

柱②森の応援団の養成と共働の森づくりの推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
とよた森林学校の受講者数	265人 （2015年度）	毎年度300人以上 （2017～2020年度）	252人 （2020年度）	S

柱③森林整備に従事する担い手の確保

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新たに確保した林業技術者の数	2人 （2015年度）	毎年度3人以上 （2017～2020年度）	2人 （2020年度）	S
セミプロ林業作業者養成講座の受講者数	11人 （2015年度）	毎年度10人以上 （2017～2020年度）	8人 （2018年度）	A

Ⅴ-2-（2）地域材の利用促進による林業の振興

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
市内の素材生産量 【出典：愛知県林業統計書】	39,400㎥ （2014年）	↑	38,300㎥ （2018年）	○
市内総生産における林業の額 【出典：とよたの市民所得】	314百万円 （2013年度）	↑	740百万円 （2018年度）	○
林業及び木材・木製品製造業（家具を除く）の従業者数 【出典：経済センサス】	544人 （2014年）	↑	―	―

●施策の柱の成果指標

柱①地域材の加工流通体制の構築

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
中核製材工場における原木取扱量	―	35,000㎥ （2020年度）	36,783㎥ （2020年度）	S
高性能林業機械による伐採搬出の平均コスト	12,126円/㎥ （2014年度）	8,562円/㎥ （2020年度）	12,183円/㎥ （2020年度）	C

柱②地域材の需要喚起

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
公共施設における地域材の利用量	155㎥ （2014年度）	840㎥ （2020年度）	224㎥ （2020年度）	C
公共施設等の木質化、木質スペースの設置件数（4年累計）	―	2施設 （2017～2020年度）	6施設 （2017～2020年度）	S

柱③林業技術者等の育成支援

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新たに確保した林業技術者の数	2人 （2015年度）	毎年度3人以上 （2017～2020年度）	2人 （2020年度）	S

Ⅴ-3-（1）将来に向けた産業集積の促進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
市内製造業の有形固定資産投資額 【出典：工業統計調査】	2,061億円 （2014年）	↑	2,951億円 （2018年）	○
市内に対する投資案件の数 ①全体、②重点産業分野関連、③研究開発施設関連（直近3年度の計）	①45件 ②5件 ③1件 （2013～2015年度）	↑	①49件 ②9件 ③7件 （2016～2018年度）	①○ ②○ ③○

●施策の柱の成果指標

柱①投資の受皿となる産業用地の創出

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
産業用地の新規創出面積（4年累計）	―	25ha （2017～2020年度）	31.1ha （2017～2020年度）	S

柱②将来に向けた投資の促進と誘導

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
奨励指定事業者の件数 ①全体、②成長分野及び研究開発施設関連（4年累計、市制度活用分）	① ― ② ―	①21件 ②8件 （2017～2020年度）	①53件 ②12件 （2017～2020年度）	①S ②S

Ⅴ-3-（2）ものづくり中小企業の新たな事業展開の促進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
新たな事業展開に取り組んでいるものづくり中小企業の割合 【出典：ものづくり中小企業基礎調査】	64.0% （2015年度）	↑	66.0% （2018年度）	○
従業者数300人未満の事業所の付加価値率	26.6% （2014年）	↑	33.8% （2018年）	○

●施策の柱の成果指標

柱①新たな事業展開の創出の支援

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新製品・新技術等開発の取組件数（4年累計、市制度活用分）	―	30件 （2017～2020年度）	43件 （2017～2020年度）	S
ものづくり創造拠点における起業の支援数（4年累計）	―	10件 （2017～2020年度）	53件 （2017～2020年度）	S

柱②支援機関や支援施策の利用促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
とよたイノベーションセンターの相談件数	379件 （2015年度）	400件 （2020年度）	606件 （2020年度）	S
市の支援施策の利用率 【出典：ものづくり中小企業者基礎調査】 ※ 2019年度以降は、総務省データベースを利用し調査しており、小規模事業者の割合が増えたため、過去との単純比較はできない。	24.0% （2015年度）	30% （2020年度）	18.1% （2020年度）	C

柱③産学官金の連携による支援体制の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
ものづくり中核人材育成事業の受講者数	179人 （2015年度）	200人 （2020年度）	125人 （2020年度）	C
支援機関の連携による事業の数	1件 （2015年度）	5件 （2020年度）	2件 （2020年度）	C

Ⅴ-4-（1）中心市街地のにぎわいの創出

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
中心市街地の1日当たり（5時～24時）の歩行者通行量 ①平日、②休日	①78,584人/日 ②68,931人/日 （2015年度）	↑	①81,664人/日 ②72,315人/日 （2018年度）	①○ ②○
フリーパーキング対象駐車場の平均利用時間	1.95時間 （2013年）	↑	2.02時間 （2018年）	○
中心市街地大型4店舗の売上高合計	170億円 （2013年）	↑	163億円 （2018年）	○
中心市街地の空き店舗数	117件 （2012年）	↓	111件 （2018年）	○

●施策の柱の成果指標

柱①行ってみたくなる商業空間の創出

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
空き家・空き店舗の活用による新規出店数	1件 （2016年度）	毎年度3件以上 （2017～2020年度）	0件 （2020年度）	C

柱②歩き回りたくなる魅力の創出

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
空き家・空き店舗の活用による新規出店数（再掲）	1件 （2016年度）	毎年度3件以上 （2017～2020年度）	0件 （2020年度）	C

柱③公共的空間の活用促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
都心の公共的空間の利用率	18% （2015年度）	35% （2020年度）	28% （2020年度）	B

Ⅴ-4-（2）地域特性に応じた商業環境の整備

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
「商業地に魅力とにぎわいのあるまち」として満足している市民の割合 【出典：市民意識調査】	27.6% （2016年度）	↑	31.6% （2019年度）	○
小売吸引力指数 ①最寄品、②買回品	①0.86 ②0.79 （2012年）	↑	①0.86 ②0.75 （2016年）	①○ ②×
商店街の加入店舗数（4月1日時点）	1,643店舗 （2016年）	→	1,604店舗 （2018年）	○

●施策の柱の成果指標

柱①地域コミュニティを担う商業機能の強化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
人材育成事業への参加者数（4年累計）	―	100人 （2017～2020年度）	255人 （2017～2020年度）	S
活性化計画を作成している商店街等の数（年度末時点）	13件 （2016年度）	15件 （2020年度）	14件 （2020年度）	B

柱②満足感ある生活ができる商業環境の整備

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
中小企業への経営指導件数（4年累計）	―	20,000件 （2017～2020年度）	19,831件 （2017～2020年度）	A
創業支援に関する相談件数（4年累計）	―	400件 （2017～2020年度）	1,051件 （2017～2020年度）	S

Ⅴ-5-（1）多様な地域資源を生かした観光産業の振興

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
観光客１人当たりの平均消費額	14,944円 （2015年）	↑	9,016円 （2018年）	×
主な観光施設やイベントの観光入込客数	1,073万人 （2015年）	↑	1,024万人 （2018年）	○
主な宿泊施設における観光目的の外国人宿泊数	15,253人 （2015年度）	↑	9,494人 （2018年度）	×
訪れた観光地について満足と感じた人の割合	12.9% （2015年度）	↑	21.0% （2018年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①戦略的観光マーケティングの導入・促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
一般社団法人ツーリズムとよた（新・豊田市観光協会）の会員数（年度末時点）	―	100会員 （2020年度）	172会員 （2020年度）	S
一般社団法人ツーリズムとよた（新・豊田市観光協会）ホームページの総ページビュー数	128万ビュー （2015年度）	180万ビュー （2020年度）	220万ビュー （2020年度）	S

柱②観光産業を支える人材の育成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
とよたまちさとミライ塾へのプログラム提供者（パートナー）の総数（年度末時点）	96人 （2016年度）	210人 （2020年度）	132人 （2020年度）	C
観光交流サポート隊の延べ活動日数	235人・日 （2015年度）	590人・日 （2020年度）	―	―

Ⅴ-5-（2）地域資源を生かしたまちづくりの推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
地域資源を活用した住民主体の活動の数（年度末時点）	73件 （2015年度）	↑	60件 （2018年度）	×
地域の観光施設・イベントの観光入込客数	508万人 （2015年）	↑	469万人 （2017年）	×
山村地域及び山村地域に準ずる地域の人口（10月1日時点）	29,525人 （2016年度）	→	28,544人 （2018年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①地域資源の発掘と磨き上げの促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
観光まちづくり活動団体の数（年度末時点）	42団体 （2015年度）	55団体 （2020年度）	71団体 （2020年度）	S

柱②地域資源を支える基盤の拡充

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
整備対象施設の観光入込客数	164万人 （2015年）	170万人 （2020年）	106万人 （2020年）	C

Ⅴ-5-（3）都市と山村が強みを生かし支え合う交流の促進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
都市と山村の交流事業の件数	84件 （2015年度）	↑	138件 （2018年度）	○
都市と山村の交流事業への延べ参加者数	12,500人 （2015年度）	↑	17,339人 （2018年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①都市と山村の資源とニーズのコーディネートの推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
都市と山村の交流コーディネート件数（4年累計）	―	160件 （2017～2020年度）	248件 （2017～2020年度）	S

柱②山村地域における生業創出の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
おいでん・さんそんセンターが支援した生業創出者数（4年累計）	―	30人 （2017～2020年度）	56人 （2017～2020年度）	S

Ⅴ-6-（1）多様な働き方と働く場の創出

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
25歳～39歳の女性の労働力率	65.2% （2010年）	↑	69.2% （2015年）	○
育児をしながら就業している人の割合	12.5% （2012年）	↑	12.2% （2017年）	○
介護をしながら就業している人の割合	2.7% （2012年）	↑	3.0% （2017年）	○
25歳～34歳の有業率	83.4% （2012年）	↑	79.0% （2017年）	×

●施策の柱の成果指標

柱①企業の働き方改革の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
ワーク・ライフ・バランス関連認証制度の取得事業所数（年度末時点）	160社 （2015年度）	280社 （2020年度）	326社 （2020年度）	S
ダイバーシティ経営企業100選に選ばれた企業数（4年累計）	―	1社 （2017～2020年度）	0社 （2017～2020年度）	C

柱②働きたい人の就労可能性の拡大

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
就労支援室関連セミナー等への延べ参加者数	858人 （2015年度）	1,000人 （2020年度）	2,061人 （2020年度）	S
キャリアカウンセリング対象者及び就労支援セミナー受講者のうち、就労した人数	29人 （2015年度）	75人 （2020年度）	32人 （2020年）	C
女性向け職業訓練等の参加者数	27人 （2015年度）	50人 （2020年度）	49人 （2020年度）	A

基本施策Ⅵ 環境

Ⅵ-1-（1）低炭素社会を実現する環境モデル都市の推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
市内におけるCO_2排出量 ①全体、②産業分野	①483万t-CO_2 ②326万t-CO_2 （2014年度）	↓	①302万t-CO_2 ②170万t-CO_2 （2018年度）	①○ ②○
森林のCO_2吸収量	12万t-CO_2 （2014年度）	↑	15万t-CO_2 （2018年度）	○
再生可能エネルギー導入率	23% （2015年度）	↑	26.9% （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①暮らしの低炭素化の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
スマートハウスに係る補助制度の利用件数（4年累計）	―	400件 （2017～2020年度）	802件 （2017～2020年度）	S
スマートタウンの整備件数（4年累計、市支援分）	―	2件 （2017～2020年度）	0件 （2017～2020年度）	C

柱②再生可能エネルギーの普及促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
再生可能エネルギーの総発電能力量（市導入・関与分）	82,637kw （2015年度）	100,000kw （2020年度）	106,793kw （2020年度）	S

柱③広域連携と民産学官連携による取組の加速化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新規の実証事業の実施件数	―	毎年度1件以上 （2017～2020年度）	12件 （2020年度）	S
広域連携による事業の実施件数（4年累計）	―	4件 （2017～2020年度）	16件 （2017～2020年度）	S

柱④環境先進のまちの情報発信の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
低炭素な暮らしに関する情報受信者数（市発信分）	13,831人 （2015年度）	毎年度13,000人以上 （2017～2020年度） ※2019年度のみ 17,000人以上	8,071人 （2020年度）	C
国際機関等との連携事業数	―	毎年度1件以上 （2017～2020年度）	4件 （2020年度）	S

柱⑤森林吸収源対策の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
人工林の間伐実施面積	830ha （2015年度）	1,200ha （2020年度）	919ha （2020年度）	C

Ⅵ-2-（1）廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
市民１人当たりのごみ排出量	544g/日 （2015年度）	↓	569ｇ/日 （2020年度）	○
廃棄物の不適正処理現場の数（年度末時点）	129か所 （2015年度）	↓	89か所 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①将来を見据えたごみ処理体制の確保

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
ごみ焼却施設の稼働率	64% （2015年度）	毎年度60% （2017～2020年度）	68% （2020年度）	S

柱②減量化・資源化の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
市民１人当たりの可燃ごみに含まれる資源の量	115g/日 （2015年度）	112g/日（3%減） （2020年度）	155g/日 （2020年度）	C

柱③廃棄物の適正処理の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
廃棄物の不適正処理現場の数（年度末時点）	129か所 （2015年度）	毎年度から3か所以上減 （2017～2020年度）	89か所 （2020年度）	S

Ⅵ-3-（1)暮らしを豊かにする生物多様性の保全

■まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
市内で確認された国県レッドリスト掲載種の種数	413種 （2015年度）	→	268種 （2019～2020年度）	○
なわばり鮎の生息平均密度	0.1尾/㎡ （2016年度）	↑	0.1尾/㎡ （2019年度）	○
「良好な水辺環境などの水資源があるまち」として満足している市民の割合 【出典：市民意識調査】	60.7% （2016年度）	↑	55.1% （2021年度）	×
生物多様性を保全する活動・イベントに参加したことがある市民の割合	13.2% （2016年度）	↑	10.2% （2020年度）	×

●施策の柱の成果指標

柱①豊かな自然の把握と市民理解の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
生物多様性を理解している市民の割合	30.1% （2016年度）	35% （2020年度）	35% （2020年度）	S
希少野生動植物種・特定外来生物が豊田市にも生息・生育していることを知っている市民の割合 ①希少野生動植物種、②特定外来生物	①35.5% ②68.4% （2016年度）	①44% ②72% （2020年度）	①38.6% ②74.0% （2020年度）	①C ②S

柱②自然との触れ合いを通じた地域づくりの推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
生物多様性の保全に関する活動団体数（年度末時点）	24団体 （2015年度）	31団体 （2020年度）	33団体 （2020年度）	S
住民による地域の小川の整備箇所数（4年累計、市支援分）	―	3か所 （2017～2020年度）	2か所 （2017～2020年度）	B

柱③貴重な湿地と多様な水辺の保全

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
ラムサール条約湿地における東海丘陵要素植物の確認種数	7種 （2015年度）	7種を維持 （2017～2020年度）	7種 （2020年度）	S
ラムサール条約湿地の保全に関わる新たな団体等の数（4年累計）	―	4団体 （2017～2020年度）	7団体 （2017～2020年度）	S

Ⅵ-4-（1）持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
環境配慮行動を実践している市民の割合	65.6% （2016年度）	↑	76.3% （2020年度）	○
環境に関連する取組を行っている事業所の割合	35.5% （2016年度）	↑	30.6% （2020年度）	×
公害苦情件数	203件 （2015年度）	↓	350件 （2020年度）	×
環境配慮の認証取得事業者数（年度末時点） ①ＩＳＯ14001、②エコアクション21	①181件 ②72件 （2015年度）	↑	①127件 ②78件 （2020年度）	①× ②○

●施策の柱の成果指標

柱①環境学習の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
環境学習施設を利用した小学生の地球温暖化や生物多様性の理解度	―	80% （2020年度）	89.2% （2020年度）	S
環境学習施設で学んだ内容を家族に話した小学生の割合	―	80% （2020年度）	92.2% （2020年度）	S

柱②市民と事業者による環境配慮行動の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
エコライフを実践している延べ世帯数(市事業分)	745世帯 （2014年度）	2,000世帯 （2020年度）	2,385世帯 （2020年度）	S
事業者・住民による地域懇談会の数（年度末時点）	10件 （2015年度）	18件 （2020年度）	3件 （2020年度）	C

基本施策Ⅶ 都市整備

Ⅶ-1-（1）にぎわいのある魅力的な都心の形成

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
都心の１日当たり（5時～24時）の歩行者通行量 ①平日、②休日	①78,584人/日 ②68,931人/日 （2015年度）	↑	①81,664人/日 ②72,315人/日 （2018年度）	①○ ②○
１日当たりの豊田市駅及び新豊田駅における乗降客数	43,277人/日 （2014年度）	↑	52,164人/日 （2019年度）	○
１日当たりのおいでんバス（豊田市発着路線）の利用者数	4,531人/日 （2015年度）	↑	4,727人/日 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①新たな交流拠点の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
豊田市駅前通り北地区再開発事業の進捗（年度末時点）	―	整備を完了 （2018年度）	整備完了 組合解散 （2018年度）	完了
豊田市駅東口における広場整備の進捗（年度末時点）	―	用地交渉に着手 （2019年度）	用地交渉着手 （2019年度） 一部用地取得完了 （2020年度）	完了

柱②情報提供機能の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
都心内サインの再整備の進捗（年度末時点）	—	暫定整備を完了 （2019年度）	暫定整備完了 （2019年度）	完了
まちなか総合案内機能整備の進捗（年度末時点）	—	整備を完了 （2019年度）	案内機能運営 （2020年度）	完了

柱③水と緑につつまれた都心の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
（都）豊田市停車場線における緑化の箇所数（3年累計）	—	8か所 （2017～2019年度）	5か所 （2017～2019年度）	B
都心の私有地における緑地の整備面積（4年累計、市支援分）	—	440㎡ （2017～2020年度）	160㎡ （2017～2020年度）	C

柱④快適な回遊空間の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
新豊田駅東口駅前広場の再整備の進捗（年度末時点）	—	整備を完了 （2020年度）	整備完了 （2020年度）	完了
都心内道路（西町若宮線）の再整備の進捗（年度末時点）	—	設計を完了 （2020年度）	設計完了 （2020年度）	完了

柱⑤快適で利便性の高い公共交通基盤の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
バスターミナルの整備の進捗（年度末時点）	—	設計を完了 （2020年度）	設計継続実施 （2020年度）	未完了
豊田市駅の整備の進捗（年度末時点）	—	設計を完了 （2020年度）	設計継続実施 （2020年度）	未完了

Ⅶ-1-（2）利便性の高い市街地の形成

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
都市計画区域内の人口（10月１日時点）	400,199人 （2015年度）	↑	403,124人 （2020年度）	○
家族形成期にある世代（25歳～39歳）の転出超過数（直近4年度の平均）	1,180人 （2012～2015年度）	↓	640人 （2017～2018年度）	○
「快適な住環境が整備されているまち」として満足している市民の割合 【出典：市民意識調査】	41.6% （2016年度）	↑	40.3% （2021年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①主要な鉄道駅周辺地区等での良好な市街地の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
土地区画整理事業による整備面積（4年累計）	―	68.6ha （2017～2020年度）	49.6ha （2017～2020年度）	A
無電柱化整備延長（年度末時点）	13㎞ （2015年度）	16㎞ （2020年度）	17㎞ （2020年度）	S

Ⅶ-1-（3）多様なニーズに応える市街地定住の促進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
都市計画区域内の人口（10月１日時点）	400,199人 （2015年度）	↑	403,124人 （2020年度）	○
家族形成期にある世代（25～39歳）の転出超過数（直近4年度の平均）	1,180人 （2012～2015年度）	↓	1,072人 （2017～2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①市街地における住宅・宅地の供給と取得支援の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
市街地における住宅取得支援数（市支援分）	79戸 （2015年度）	毎年度200戸以上 （2017～2020年度）	93戸 （2020年度）	C
宅地の供給支援数（4年累計、市支援分）	―	200戸 （2017～2020年度）	43戸 （2017～2020年度）	C

柱②主要な鉄道駅周辺地区等での新たな宅地の供給

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
土地区画整理事業による宅地の整備面積（4年累計）	―	39.7ha （2017～2020年度）	35.0ha （2017～2020年度）	A
市街化調整区域内地区計画の活用による都市計画決定時の予定宅地数（4年累計）	―	400戸 （2017～2020年度）	178戸 （2017～2020年度）	C

柱③定住意欲を高める情報発信の充実

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
ＰＲ冊子の配布数	13,000冊 （2015年度）	毎年度20,000冊以上 （2017～2020年度）	20,000冊 （2020年度）	S
ＰＲウェブサイトの閲覧数	28,323件 （2015年度）	50,000件 （2020年度）	45,900件 （2020年度）	A

Ⅶ-1-（4）山村地域等における生活環境の維持・確保

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
山村地域等への転入者数	538人 （2015年度）	↑	409人 （2020年度）	×
山村地域等からの転出者数	632人 （2015年度）	↓	554人 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①山村地域等における住宅・宅地の供給

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
宅地の整備数（4年累計、市関与分）	―	15戸 （2017～2020年度）	3戸 （2017～2020年度）	C
空き家情報バンクの成約数	15件 （2015年度）	毎年度15件以上 （2017～2020年度）	40件 （2020年度）	S

柱②山村地域等への移住促進支援

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
いなか暮らし総合窓口への相談件数（4年累計）	―	100件 （2017～2020年度）	144件 （2017～2020年度）	S
山村地域等における住宅取得支援数（4年累計、市支援分）	―	50件 （2017～2020年度）	286件 （2017～2020年度）	S

柱③山村地域等の暮らしを支える地域核の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
支所の整備・更新数（4年累計）	―	1施設 （2017～2020年度）	1施設 （2017～2018年度）	S

Ⅶ-1-（5）憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
都市公園利用に係る届出件数	711件 （2015年度）	↑	607件 （2020年度）	×
「公園や緑地が身近にあるまち」として満足している市民の割合 【出典：市民意識調査】	55.3% （2016年度）	↑	56.4% （2021年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①市民の憩いの空間の確保

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
都市公園の整備数（4年累計）	―	3か所 （2017～2020年度）	7か所 （2017～2020年度）	S

柱②緑あふれる快適な住環境の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
私有地における緑地の整備面積（都心を除く）（4年累計、市支援分）	―	6,000㎡ （2017～2020年度）	2,623.9㎡ （2017～2020年度）	C

Ⅶ-2-（1）生活・産業を支える道路ネットワークの形成

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
主要産業拠点のうち、インターチェンジへ10分以内に到達が可能な割合（年度末時点）	60.0% （2015年度）	↑	73% （2019年度）	○
インターチェンジへ10分以内に到達可能な市民の割合（年度末時点）	54.8% （2015年度）	↑	65% （2019年度）	○
市民１人当たりの渋滞損失時間	67.4時間 （2014年度）	↓	65.6時間 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①物流ネットワークの強化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
関連市道を含む主要な物流路線の整備延長（年度末時点）	1.0㎞ （2015年度）	7.8㎞ （2020年度）	6.6㎞ （2020年度）	A

柱②高規格幹線道路へのアクセス性の向上

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
スマートインターチェンジの整備数（4年累計）	―	1か所 （2017～2020年度）	1か所 （2020年度）	S

柱③渋滞対策の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
渋滞箇所の対策箇所数（4年累計）	―	1か所 （2017～2020年度）	1か所 （2020年度）	S

柱④鉄道駅へのアクセス性の向上

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
鉄道駅アクセス道路の整備延長（年度末時点）	0㎞ （2015年度）	0.74㎞ （2020年度）	0.74㎞ （2020年度）	S
鉄道駅アクセス道路の用地取得の進捗率（年度末時点）	0% （2015年度）	55% （2020年度）	64% （2020年度）	S

Ⅶ-2-（2）利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
1日当たりのおいでんバスと地域バスの利用者数	6,850人/日 （2015年度）	↑	5,753人/日 （2020年度）	×
1日当たりの鉄道利用者数	61,704人/日 （2014年度）	↑	74,053人/日 （2019年度）	○
代表交通手段における公共交通（鉄道、バス）の分担率【出典：総合都市交通体系調査（豊田市パーソントリップ調査）報告】	5.6% （2011年度）	↑	―	―

●施策の柱の成果指標

柱①鉄道による名古屋市とのアクセス機能強化

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
複線化事業に関連する既存インフラの再整備に向けた設計の進捗（年度末時点）	―	設計を完了 （2020年度）	―	未完了
名鉄三河線若林駅付近の高架化事業に係る鉄道用地の取得の進捗（年度末時点）	0% （2015年度）	100% （2020年度）	100% （2020年度）	S

柱②バス交通の質の向上

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
公共交通乗降環境の改善箇所数（4年累計）	―	5か所 （2017～2020年度）	7か所 （2017～2020年度）	S
バス運行の改善件数（4年累計）	―	40件 （2017～2020年度）	54件 （2017～2020年度）	S

Ⅶ-2-（3）人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
交通事故死傷者数 【出典：県警本部の公表数値】	2,392人 （2015年）	↓	1,266人 （2020年）	○
運輸部門（自動車）におけるCO_2排出量	414,700 t （2013年度）	↓	396,400t （2017年度）	○
代表交通手段における自動車の分担率 【出典：総合都市交通体系調査（豊田市パーソントリップ調査）報告】	73.3% （2011年度）	↓	―	―

●施策の柱の成果指標

柱①先進技術を活用した安全で快適な交通まちづくり

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
先進技術を生かした実証数	4事業 （2016年度）	毎年度2事業以上 （2017～2020年度）	8事業 （2020年度）	S

柱②人と環境にやさしい交通社会の形成

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
エコ交通に関する出前教室への参加者数（4年累計）	―	1,800人 （2017～2020年度）	1,180人 （2017～2020年度）	B

Ⅶ-3-（1）安全・安心な水道水の安定供給の実現

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
市民１人当たりの水道使用量	107㎥ （2015年度）	↑	108㎥ （2020年度）	○
水道施設における機器故障件数	148件 （2015年度）	↓	125件 （2020年度）	○
水道管路の漏水・破損件数	125件 （2015年度）	↓	101件 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①給水区域内での効率的な水運用の実現

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
再編区域における浄水施設の利用率（年度末時点）	64.5% （2015年度）	74% （2020年度）	76% （2020年度）	S
再編区域における浄水施設の数（年度末時点）	8か所 （2015年度）	6か所 （2020年度）	4か所 （2020年度）	S

Ⅶ-3-（2）汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
汚水処理人口普及率（年度末時点）	87.2% （2015年度）	↑	90.5% （2020年度）	○
不適切な汚水処理に係る苦情件数	31件 （2015年度）	↓	18件 （2020年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①集合処理区域における適切な汚水処理の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
下水道の整備面積（4年累計）	—	395ha （2017～2020年度）	342ha （2017～2020年度）	A

柱②個別処理区域における適正な汚水処理の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
合併処理浄化槽の設置等に係る補助制度の利用件数	289件 （2015年度）	毎年度360件以上 （2017～2020年度）	205件 （2020年度）	A
法定検査受検率	29.5% （2015年度）	37% （2020年度）	36.1% （2020年度）	A

基本施策Ⅷ 地域経営

Ⅷ-1-（1）市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
とよた市民活動センターの登録団体数（年度末時点）	277団体 （2015年度）	↑	288団体 （2018年度）	○
地域の活動に参加している市民の割合 【出典：市民意識調査】	50.0% （2016年度）	↑	56.7% （2019年度）	○
ボランティア活動やＮＰＯ活動に参加している市民の割合 【出典：市民意識調査】	15.0% （2016年度）	↑	19.7% （2019年度）	○

●施策の柱の成果指標

柱①都市内分権の推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
わくわく事業の新規事業申請数	48件 （2015年度）	毎年度50件以上 （2017～2020年度）	43件 （2020年度）	S

柱②市民活動の促進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
市民活動を促す取組への延べ参加者数（市実施分）	109人 （2015年度）	毎年度100人以上 （2017～2020年度）	941人 （2020年度）	S
市民活動促進補助金の利用団体数	15団体 （2016年度）	毎年度20団体以上 （2017～2020年度）	8団体 （2020年度）	B

柱③活動を促進する環境の整備

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
3年以内に交流館を利用した市民の割合 【出典：豊田市の教育に関するアンケート調査】 ※図書掲載情報から基準値を変更	31.5% （2016年度）	35% （2020年度）	49.3% （2020年度）	S
交流館の延べ利用者数	272万人 （2015年度）	300万人 （2020年度）	129万人 （2020年度）	C

Ⅷ-2-（1）世界に開かれた国際まちづくりの推進

●まちの状態指標

指標名	基準値 （基準年度）	めざす方向	最新値 （把握年度）	達成状況
外国人向け交流プログラムへの参加者数	―	↑	303人 （2018年度）	○
1年以内に国際交流に関する活動や事業に参加したことのある市民の割合 【出典：市民意識調査】	2.4% （2016年度）	↑	2.9% （2019年度）	○
地域の活動（自治区活動や地域の行事など）に参加したことがない外国人住民の割合 【出典：外国人住民意識調査】	33.9% （2011年度）	↓	35.4% （2017年度）	○
日常会話以上の日本語が話せる外国人住民の割合 【出典：外国人住民意識調査】	74.3% （2011年度）	↑	68.0% （2017年度）	×

●施策の柱の成果指標

柱①来訪外国人の滞在環境の向上

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
外国人向け交流プログラムの数（4年累計）	―	400件 （2017～2020年度）	315件 （2017～2020年度）	A

柱②国際化に対応した人づくりの推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
国際交流の取組への延べ参加者数（4年累計、市実施分）	―	12,200人 （2017～2020年度）	34,257人 （2017～2020年度）	S

柱③多文化共生のまちづくりの推進

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
日常生活で困らないための日本語教室等における延べ学習者数（市実施分）	8,663人 （2015年度）	毎年度8,700人以上 （2017～2020年度）	5,362人 （2020年度）	A

Ⅷ-3-（3）将来を先取るミライ・チャレンジ都市の推進

●施策の柱の成果指標

柱①多様な主体の新たな取組への支援

指標名	基準値 （基準年度）	目標値 （目標年度）	最新値 （把握年度）	達成状況
ミライ・チャレンジ都市パートナーシップ事業の数（4年累計）	―	2事業 （2017～2020年度）	1事業 （2017～2020年度）	B

2　各施策における事業数・事業費のまとめ

●重点施策

（１）超高齢社会への適応

施策の柱		事業数	期間内事業費（百万円）
①次代を創る健康で活力ある生涯学習の仕組みの構築	まちぐるみの健康づくりの推進	3	1,586
	子どもから高齢者まで多世代がまちづくりに参画する機会や場の充実	5	1,934
②安心な暮らしを支える地域包括支援の仕組みの構築	総合的な相談・支援体制の構築	6	1,538
	医療・介護環境の充実	5	12,659
③多世代共生のまちを実現するための都市機能・住環境の形成	都市機能・住環境の形成	2	9
	交通環境の充実	4	4,162
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		25	21,888

（２）産業の強靭化

施策の柱		事業数	期間内事業費（百万円）
①次代の産業拠点としての機能の高度化	将来の企業活動を見据えた都市基盤・環境の整備	4	11,308
	産業用地の創出と投資の誘導・促進	3	7,329
	先進的な取組と新たなビジネスの創出	4	414
②多様な地域資源を生かした産業の振興	地元資本による地域資源を生かした多様なビジネスの創出	6	1,365
③働く機会の多様化と産業を支える人材の確保	企業における多様な働き方導入の促進	1	40
	女性や若者などの就労支援	2	262
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		20	20,718

（3）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出

施策の柱		事業数	期間内事業費（百万円）
①豊田ならではの暮らしの豊かさを生かした定住の促進	都市部における住まいの供給	5	31,563
	山村部における移住・定住の促進	2	110
	豊田市らしい暮らしの価値創造・発信	2	163
②世界に発信するまちぐるみの観光･交流の取組の推進	ホスピタリティ向上によるまちの国際化の推進	2	97
	マーケティングに基づいた観光・交流の推進	1	475
	まちの玄関口の機能向上	7	9,182
③まちの魅力の共有と発信	多様な地域資源を生かした学びの推進	3	383
	市民が自ら暮らしを楽しむ活動の推進	3	117
	まちの魅力・価値の共有と発信	2	608
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		27	42,696

●基本施策

Ⅰ　子ども・子育て

小分類	施策名	事業数	期間内事業費（百万円）
1　子育て	（1）安心して子どもを産み育てられる環境の充実	4	164
	（2）必要な幼児教育・保育を受けられる環境の整備	8	4,909
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		12	5,073

Ⅱ　生涯学習

小分類	施策名	事業数	期間内事業費（百万円）
1　学び・育ち	（1）生き抜く力を育む学校教育の推進	7	8,925
	（2）安全・安心で快適に学べる教育環境の充実	5	17,064
	（3）地域による次世代人材の育成の促進	4	4,411
	（4）まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進	5	93
	（5）高齢者が活躍できる環境の充実	2	313
	（6）女性が活躍できる環境の充実	3	45
2　スポーツ	（1）スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進	5	3,582
3　歴史・文化	（1）歴史や文化財の継承と魅力の発信	3	744
	（2）文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進	1	48
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		35	35,225

Ⅲ　健康・福祉

小分類	施策名	事業数	期間内事業費（百万円）
1　健康	（1）誰もが健康づくりを継続できる環境の充実	4	47
	（2）健康危機への対応力の強化	0	0
2　医療	（1）必要なときに受診できる医療提供体制の確保	4	12,955
3　福祉	（1）高齢者が安心して生活できる支援体制の充実	8	6,426
	（2）障がい者が地域社会で共生できる環境の整備	3	768
	（3）生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保	1	33
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		20	20,228

Ⅳ　安全・安心

小分類	施策名	事業数	期間内事業費（百万円）
1　防災・減災	（1）自助・共助・公助による災害対策の充実	10	1,064
	（2）防災・減災につながる都市機能の強化	11	14,640
2　消防	（1）自助・共助・公助による消防対応力の強化	10	2,115
3　防犯	（1）地域ぐるみの防犯体制の強化	2	72
4　交通安全	（1）交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現	8	1,022
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		41	18,913

Ⅴ　産業・観光・交流

小分類	施策名	事業数	期間内事業費 （百万円）
1　農業	（1）地域特性に応じた産業型農業の推進	3	243
	（2）地域が支える“食と農”の推進	2	101
2　森林・林業	（1）100 年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進	4	752
	（2）地域材の利用促進による林業の振興	3	766
3　ものづくり産業	（1）将来に向けた産業集積の促進	3	7,329
	（2）ものづくり中小企業の新たな事業展開の促進	5	578
4　商業・サービス業	（1）中心市街地のにぎわいの創出	2	315
	（2）地域特性に応じた商業環境の整備	1	47
5　観光・交流	（1）多様な地域資源を生かした観光産業の振興	4	603
	（2）地域資源を生かしたまちづくりの推進	8	1,561
	（3）都市と山村が強みを生かし支え合う交流の促進	2	146
6　労働	（1）多様な働き方と働く場の創出	3	302
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		40	12,743

Ⅵ　環境

小分類	施策名	事業数	期間内事業費（百万円）
1　低炭素社会	（１）低炭素社会を実現する環境モデル都市の推進	8	1,613
2　循環型社会	（１）廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進	6	173
3　自然共生社会	（１）暮らしを豊かにする生物多様性の保全	3	62
4　環境配慮行動	（１）持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進	3	631
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		20	2,479

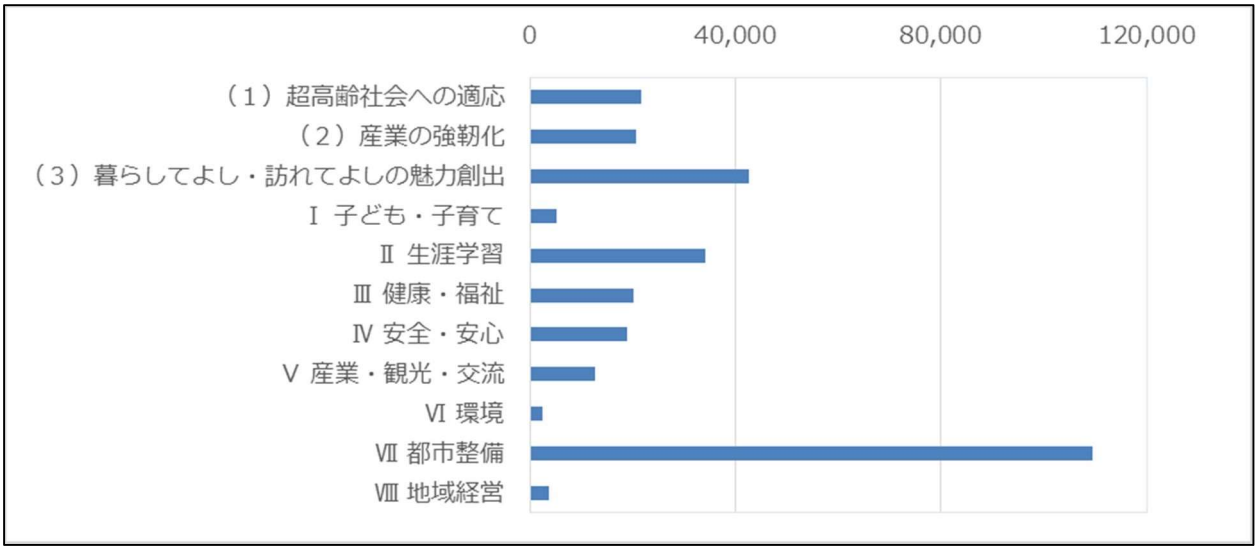
Ⅶ　都市整備

小分類	施策名	事業数	期間内事業費（百万円）
1　市街地整備	（１）にぎわいのある魅力的な都心の形成	13	7,569
	（２）利便性の高い市街地の形成	3	31,769
	（３）多様なニーズに応える市街地定住の促進	7	32,952
	（４）山村地域等における生活環境の維持・確保	6	1,885
	（５）憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出	4	861
2　交通	（１）生活・産業を支える道路ネットワークの形成	15	16,224
	（２）利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成	4	6,991
	（３）人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進	2	140
3　上下水道	（１）安全・安心な水道水の安定供給の実現	1	33
	（２）汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現	3	10,997
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		58	109,422

Ⅷ　地域経営

小分類	施策名	事業数	期間内事業費（百万円）
1　共働	（1）市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進	5	2,678
2　国際化	（1）世界に開かれた国際まちづくりの推進	7	1,094
3　行政経営	（1）未来を見据えた持続可能な行財政運営	0	0
	（2）公共施設等の適切な管理の推進	0	0
	（3）将来を先取るミライ・チャレンジ都市の推進	0	0
	（4）共働による地域情報化の推進	0	0
	（5）戦略的な広域連携の推進	0	0
■合計（再掲を含む） ※四捨五入により、各施策の合計値と一致しない場合があります。		12	3,772

●施策別期間内事業費グラフ（再掲含む）



●総事業数及び期間内総事業費（再掲除く）

総事業数	期間内総事業費（百万円）
230	172,494

3　事業一覧

●重点施策

（１）超高齢社会への適応

柱①次代を創る健康で活力ある生涯活躍の仕組みの構築

・まちぐるみの健康づくりの推進

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
きらきらウエルネス地域推進事業 ［地域保健課］	地域の健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進	・高岡、猿投支所内に地区担当保健師を配置 ・14 地区において地域健康づくり計画を作成 （2017～2020 年度）	6,408
健康ウオーキング事業 ［生涯スポーツ推進課］	健康意識を醸成し、健康づくりの輪を広げるため、健康づくりを実践する市民が集い交流する、ウオーキングを始めとするまちぐるみの健康イベントを開催	・ウオーキングイベントを開催：延べ参加人数約 15,077 人 （2017～2020 年度）	10,117
（仮称）松平地域体育館等整備事業 ［生涯スポーツ推進課］	スポーツの振興や健康の増進に向け、多くの市民が気軽に利用できる運動広場を整備	・実施設計（造成工事） （2017 年度） ・用地取得（2018 年度） ・造成工事 （2018～2019 年度） ・建築設計（体育館等） （2018～2019 年度） ・屋根付き広場工事 （2019～2020 年度） ・体育館工事 （2019 年度～）	1,569,251

・子どもから高齢者まで多世代がまちづくりに参画する機会や場の充実

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
コミュニティ・スクール推進事業 ［学校教育課］	中学校区の単位で小・中学校の連携及び地域ぐるみの教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールの導入を推進	・推進委員会の開催 ・市内 28 中学校区、全中学校区設置完了	448
地域学校共働本部設置拡大事業 ［学校教育課］	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織を設置・拡大	・市内 103 校、全校設置完了	122,993
高齢者の活躍支援事業 ［市民活躍支援課］	高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び、相談、情報提供等の支援を実施	・シニアアカデミー（旧高年大学）開催：通年コース卒業生 379 人 ・講座（専門コース・はじめの一歩講座等）の開催：495 人 ・特技登録制度の運用 ・セカンドライフ・ガイドブックの作成と配付	31,854
シルバー人材センター就業創出事業 ［市民活躍支援課］	社会環境の変化や多様化する高齢者の就労ニーズに対応するため、労働者派遣や生活支援サービスなどの就業機会を創出	・労働者派遣事業の拡大 ・「会員紹介キャンペーン」の実施 ・女性部会の立ち上げ ・女性を対象としたセミナーの実施	281,638
藤岡地区地域核整備事業 ［藤岡支所］	支所・交流館の合築による建替えやバスターミナルの整備等による行政サービスの充実と公共交通の安全性・利便性の向上を通じて、地域のにぎわいを創出	・藤岡田中二反田線道路改良工事詳細設計（2017 年） ・藤岡支所・藤岡交流館改築工事（2017～2018 年） ・藤岡支所旧庁舎解体工事（2019 年） ・藤岡支所・藤岡交流館外構整備工事（2019 年） ・藤岡田中二反田線道路改良工事（2020 年～）	1,497,142

柱②安心な暮らしを支える地域包括支援の仕組みの構築

・総合的な相談・支援体制の構築

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
総合相談窓口運営事業 ［福祉総合相談課］	介護、障がい等の課題を複合的に抱える世帯等の個別支援の実施と支え合いの地域づくりを推進する福祉の相談窓口を身近な地域に設置	・組織改編により福祉総合相談課を新設（2017 年度） ・高岡支所に「健康と福祉の相談窓口」を開設（2017 年度） ・猿投支所に「健康と福祉の相談窓口」を開設（2018 年度） ・相談窓口を再編し、上郷・猿投・高岡・高橋・松平支所に「福祉の相談窓口」を開設（2020 年度）	552,149
成年後見支援センター運営事業 ［福祉総合相談課］	成年後見制度等の利用を促進するため、成年後見支援センターを開設・運営	・成年後見支援センターの開設と運営（2017 年度～） ・市民後見人の育成、活用に向けた方向性の検討（2017 年度） ・市民後見人養成プログラム策定（2018 年度） ・市民後見人養成講座を実施（2019 年度～）	219,535
とよた急病・子育てコール24運営事業 ［子ども家庭課］	24 時間 365 日いつでも救急医療相談と子育て相談ができるコールセンターを運用	・24 時間 365 日の電話相談件数 相談件数：54,913 件 救急医療：40,941 件 育児：12,232 件	122,180
共生型サービス創出事業 ［障がい福祉課］	高齢者を対象としたデイサービス、ショートステイにおいて、障がい者・児等も一体的にサービスを受けられる環境を整備	・事業者に向けた研修や説明会を実施 ・指定事業所数:7 事業所	289

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
食の自立支援事業 ［高齢福祉課］	安否確認を伴った配食サービス事業の対象を、高齢者単独世帯等だけではなく、障がい者等に拡大して実施	配食利用者数（各年度末月）： 1,367 人（2017 年度） 1,437 人（2018 年度） 1,426 人（2019 年度） 1,556 人（2020 年度）	558,790
認知症高齢者等支援事業 ［高齢福祉課］	認知症の人等を対象とし、複数の専門職が集中的に関わる支援チームの設置や、徘徊に関する支援体制を構築	・認知症初期集中支援チームの設置：１チーム３名体制 ・徘徊者捜索機器の補助件数： 3 件（2017 年度） 16 件（2018 年度） 19 件（2019 年度） 11 件（2020 年度）	84,919

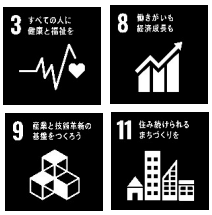
・医療・介護環境の充実

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
在宅医療･福祉連携推進事業 ［地域包括ケア企画課］	高齢者等が住み慣れた地域で生活を継続できるように、在宅医療・介護関係者の連携体制強化や情報共有等の円滑化を推進	・電子@連絡帳による多職種連携 （2017～2020 年度） ・在宅医療・福祉連携推進計画の策定（2017 年度） ・在宅医療・福祉連携推進計画の中間見直し （2020 年度） ・在宅医療・福祉連携推進計画に位置づけた事業の実施（2018～2020 年度） ・オンライン診療のモデル実証（2018～2019 年度） ・豊田訪問看護師育成センター事業 （2019～2020 年度） ・在宅医療サポートセンター事業 （2018～2020 年度）	103,119

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
豊田地域医療センター再整備事業 ［地域包括ケア企画課］	進展する高齢化に対応可能な体制を整え、高齢者医療、在宅医療など充実した医療を提供するため、老朽化の進む豊田地域医療センターの建替え・改修を実施	・実施設計（2017 年度） ・造成工事、インフラ整備工事等（2017 年度） ・情報システム更新（2017 年度） ・新棟建設工事（2018～2020 年度） ・既設棟部分改修（2020 年度）	11,579,450
介護施設整備支援事業 ［介護保険課］	需要に応じた特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなど介護施設の整備を支援	・北地区再開発高齢者棟開設に対する補助：1 件（2017 年度） ・グループホーム整備に対する補助件数 1 件（2017 年度） 1 件（2018 年度） 1 件（2019 年度） 1 件（2020 年度） ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業整備に対する補助：2 件（2019 年度） ・地域密着型特別養護老人ホーム（地域包括支援センター含む）整備に対する補助：1 件（2019 年度） ・広域型特別養護老人ホーム整備に対する補助：1 件（2019 年度） ・小規模介護医療院（改築）整備に対する補助：1 件（2020 年度）	943,492

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
介護人材確保事業 ［介護保険課］	介護人材の確保のため、海外人材の受入支援、高齢者や若者の活躍促進、離職有資格者の復帰促進、離職防止による定着支援を実施	・EPA 介護福祉士候補者等日本語講座：週 1 回、全 6 コース開催 （2017 年度～） ・介護福祉士国試対策講座：月 1 回程度 （2019 年度～） ・バンドン市介護人材受け入れ：10 名（2020 年） ・就職フェア：4 回 （2017 年度～） ・学内説明会：11 校 （2017 年度～） ・イメージアッププロジェクト：31 名 （2017 年度～） ・介護人材創出研修：かいごの教室：19 回 （2018 年度～） ・福祉新人研修：1 回 （2017 年度） ・離職有資格者復帰促進(ヘルパーフォローアップ)講座：2 回 （2017 年度） ・現任介護職員研修：29 回（2018 年度～）	33,383

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
介護ロボット等導入支援事業 ［介護保険課］	介護施設が介護ロボット等を導入する際の費用に対し、補助金を交付するとともに、介護現場と開発事業者を橋渡しし、介護ロボット開発を支援	・市内介護事業所の協力により 3 件の実証を実施調整 ①遠隔在宅ケアサポートシステム （2017～2020 年度） ②ケアマネジメント標準化システム （2018～2019 年度） ③歩行トレーニングロボット（2017～2019 年度） ・県介護ロボット導入支援事業費補助金の周知、市内事業所補助件数 3 件（2017 年度） 8 件（2018 年度） 7 件（2019 年度） 12 件（2020 年度）	0



柱③多世代共生のまちを実現するための都市機能・住環境の形成

・都市機能・住環境の形成

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
都市機能・居住誘導区域の形成 ［都市計画課］	立地適正化計画を策定し、都市機能や居住を誘導する区域を定め、既成市街地の生活利便性を確保しつつ、良好で利便性の高いコンパクトなまちを形成	・居住、都市機能及び生活機能の集積を図るため、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を示した立地適正化計画を 2018 年度末に策定した。 ・また、2019 年度から都市再生特別措置法に基づく届制度の運用を開始している。	9,124
多世代同居・近居促進事業 ［定住促進課］	定住や子育て、高齢者の見守りなど家族形成期及び高齢世代が抱えるニーズに応えるため、世代間で支え合う同居・近居を促進	・関連情報の発信 （2018～2020 年度）	0

・交通環境の充実

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
先進移動技術等実証支援事業 ［未来都市推進課］	自動運転技術、ＩＴＳ、パーソナルモビリティ等の先進技術の活用などにより、安全で利便性の高い新たな移動手段や社会システムの実装化に向けた取組を展開	・パーソナルモビリティ実証実験の実施 ・超小型電気自動車シェアリングサービスの PR（2017～2020 年度） ・超小型電気自動車シェアリングサービスの活用（2017～2020 年度） ・超小型電気自動車を活用したオンデマンド配達実証実験（2020 年度）	83,263
バス停待合機能等整備事業 ［交通政策課］	おいでんバス路線のバス待合環境や交通結節点の整備により、快適なバスの利用環境を形成	・豊田市駅東口バスのりばに「レストえきまえ」を整備	2,500
基幹バス運行事業 ［交通政策課］	市中心部や各地区を結ぶおいでんバスを効率的に運行し、鉄道がない地域での広域的な移動手段を確保	・おいでんバスの運行（12 路線）	2,550,739
地域内移動手段確保事業（旧：地域バス運行事業） ［交通政策課］	地域住民と市の共働により地域内を走るバスを運行し、地域特性や需要に応じた交通サービスを提供	・地域バスの運行 ・地域タクシーの運行開始（2018 年度～） ・次世代デマンドシステムの導入：1 地区（2018 年度～）	1,525,256

（２）産業の強靭化

柱①次代の産業拠点としての機能の高度化

・将来の企業活動を見据えた都市基盤・環境の整備

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
高橋細谷線整備事業 ［街路課］	主要産業施設等へのアクセス機能の拡充を図るとともに、市民が安全で快適に移動できる道路環境を確保	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事 （2017～2020 年度）	8,539,149
豊田刈谷線整備事業 ［街路課］	都市間交流を支える幹線道路として事業を推進し、交通の円滑化や物流の効率化を確保	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事（2020 年度）	825,144
豊田南バイパス関連市道整備事業 ［幹線道路推進課］	豊田南バイパスの整備に合わせて地区内の市道を整備することにより、地域住民の利便性と安全性を向上	・調査設計 （2017～2019 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事 （2017～2020 年度）	478,041
豊田北バイパス関連市道整備事業 ［幹線道路推進課］	豊田北バイパスの整備に合わせて地区内の市道を整備することにより、地域住民の利便性と安全性を向上	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事 （2017～2020 年度）	1,465,965

・産業用地の創出と投資の誘導・促進

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
花本産業団地拡張事業 ［産業労働課］	花本産業団地の隣接地約 5.3ha を産業用地として整備	・埋蔵文化財調査（2017 年度） ・用地取得（2017 年度） ・造成工事（2018～2020 年度） ・埋蔵文化財発掘調査報告書の作成（2018 年度） ・事業損失補償調査（2018～2020 年度） ・現地説明会（2020 年度） ・応募受付開始（2020 年度）	3,372,658
南部地域産業用地整備事業 ［産業労働課］	企業の立地ニーズの高い市の南部地域において産業用地を開発	・交通処理計画検討（2017 年） ・関係機関協議（2018～2020 年度）	18,345
企業立地奨励事業 ［産業労働課］	市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付	・旧条例に基づく奨励制度の運用（対象事業者の決定、交付決定、支払い） ・新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用（対象事業者の決定、交付決定、支払い） ・企業訪問や展示会出展等による制度ＰＲ	3,938,099

・先進的な取組と新たなビジネスの創出

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
環境先進技術実証支援事業 ［未来都市推進課］	環境・エネルギー分野を始めとした地域課題の解決に向けて、先進技術を活用した実証・実装事業を企業や大学等と連携して推進	・新規実証事業：36 件 ・新規実装事業：10 件 ・未来都市研究会にて、50 年後のビジョンの策定（2018 年度）	20,922
ものづくり創造拠点整備・運営事業 ［次世代産業課］	ものづくりに関する機能を集約した中小企業の新たな事業展開などを支援する拠点を整備・運営	・本体工事（2017 年度） ・サイン・外溝工事（2017 年度）	289,199

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
オープンイノベーション推進事業 ［次世代産業課］	開放特許と中小企業とのマッチングや異業種連携などにより、新たな事業展開の仕組みを提供	・開放特許マッチングプログラムの実施 ・自社製品開発講座の実施 ・経営研究会、IoT 研究会の月例開催（2017 年度は IoT 研究会発足プレセミナーとして開催） ・環境ビジネス研究会の月例開催（2017 年度）	24,178
ものづくりスタートアップ支援事業 ［次世代産業課］	新たな事業を生み出そうとする人が集まり、起業や新たな事業に取り組める場や機会を提供	・スタートアップ企業と中小企業とのマッチングプログラムの実施 ・ものづくり創造補助金の運用	79,572

柱②多様な地域資源を生かした産業の振興

・地元資本による地域資源を生かした多様なビジネスの創出

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
観光マーケティング推進事業 ［商業観光課］	一般社団法人ツーリズムとよたの運営を支援し、観光の産業化を推進	・短期経営計画 2018-2020 年の最終年度である 2020 年度は事業の総仕上げとその評価、次期経営計画の策定について確認した。 ・ツーリズムとよたと連携してマーケティング調査を継続実施。2020 年度の宿泊動向調査では、コロナの影響を吸い上げるため 1 期毎にトピックスを変え市内ホテルから回答を回収した。 ・愛知県の広域連携事業「愛知･名古屋観光誘客協議会」においては役割分担をおこない同法人と共同で取組み、WEB を活用したプロモーションやクーポン割引による誘客及び消費の促進をおこなった。	474,634

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
農商工連携・６次産業化推進事業 ［農政企画課］	農商工連携や６次産業化に関するセミナーや研修会、異業種交流会などを実施	・ビジネススクール：11事業者参加 ・アドバイザー派遣：15件 ・商談会、研修会：７件開催	5,630
中核製材工場誘致事業 ［森林課］	製材工場の事業用地の造成及び原木の安定供給に向けた仕組みを構築	・造成、下水道工事（2017 年度） ・舗装、附帯工事（2017、2018 年度） ・下水道工事（2018 年度） ・環境モニタリング調査（2020 年度）	491,479
ものづくり創造拠点整備・運営事業 ［次世代産業課］ （再掲）	ものづくりに関する機能を集約した中小企業の新たな事業展開などを支援する拠点を整備・運営	・本体工事（2017 年度） ・サイン・外溝工事（2017 年度）	289,199
オープンイノベーション推進事業 ［次世代産業課］ （再掲）	開放特許と中小企業とのマッチングや異業種連携などにより、新たな事業展開の仕組みを提供	・開放特許マッチングプログラムの実施 ・自社製品開発講座の実施 ・経営研究会、IoT 研究会の月例開催（2017 年度は IoT 研究会発足プレセミナーとして開催） ・環境ビジネス研究会の月例開催（2017 年度）	24,178
ものづくりスタートアップ支援事業 ［次世代産業課］ （再掲）	新たな事業を生み出そうとする人が集まり、起業や新たな事業に取り組める場や機会を提供	・スタートアップ企業と中小企業とのマッチングプログラムの実施 ・ものづくり創造補助金の運用	79,572

柱③働く機会の多様化と産業を支える人材の確保

・企業における多様な働き方導入の促進

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
働き方改革推進事業 ［産業労働課］	企業経営者への働きやすい職場の環境改善に関する意識啓発や改善に取り組む企業へのアドバイザー派遣、市民への意識啓発を実施	・経営層向けセミナー参加延べ人数：1,559 人 ・アドバイザーの養成、派遣延べ件数：146 件（2017～2018 年度） ・優良事業所表彰延べ応募件数：74 件 ・組織改善のための階層別研修（2018～2019 年度） ・テレワーク導入支援補助金の創設（2020 年度）	39,790

・女性や若者などの就労支援

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
就労支援事業 ［産業労働課］	若者や外国人、中高年齢者など多様な人材が活躍できるよう未就労者等に対するスキルアップ支援やマッチングを実施	・(若年者) 就活セミナー、キャリアカウンセリング参加延べ人数：913 人 ・企業研究イベント参加延べ人数：249 人（2019 年度はコロナ禍で開催中止） ・市内就職啓発 PR 冊子作成（2018 年度～） ・高校生対象ハイブリッド型中小企業魅力発信事業 （2020 年度）	49,527
女性の「働く」推進事業 ［産業労働課］	出産・子育てをきっかけに離職した女性等を対象に、就労意識の向上を図るとともに、就労支援や起業支援などを実施	・女性しごとテラスの開設（2017 年度） 延べ就職決定件数 299 件 延べ相談件数 2,563 件 ・再就労支援プログラムの実施（2017～2019 年度） ・女性起業支援事業参加人数：45 人	212,855

（３）暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出

柱①豊田ならではの暮らしの豊かさを生かした定住の促進

・都市部における住まいの供給

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
土地区画整理事業 （花園、寺部、土橋、平戸橋、浄水特定、四郷駅周辺） ［市街地整備課、区画整理支援課］	宅地や公共施設の計画的な配置と整備により、住みよい良好な住環境を創出	道路築造工事、宅地造成工事 （2017～2020 年度）	31,559,091
市街化調整区域内地区計画の活用 ［定住促進課］	鉄道駅周辺や市街化区域に隣接する地域等において、民間事業者による開発を誘導	・2 案件、178 宅地の都市計画決定 ・継続協議案件のフォロー ・制度活用に向けた運用指針の随時見直し	0
住まい相談総合支援事業 ［定住促進課］	多様な定住・居住ニーズに寄り添った支援体制を構築し、市民の住生活に係るワンストップサービスの展開を推進	・住まいの相談対応件数：105 件 ・セミナー開催数：8 回	957
スマートタウン整備支援事業 ［未来都市推進課］	住宅地に適した売却市有地等を活用し、スマートタウン整備を促進	・売却市有地を活用したスマートタウン（柿本町）へのガイドツアーの実施（2017 年度） ・開発適地の情報収集（2018 年度）	0
駅周辺における住宅供給促進事業 ［都市整備課］	駅周辺における宅地の共同化・高度利用化を目的とした優良な建築物の整備に対して、各種費用の一部を補助し、定住を促進	・三河豊田駅前地区の地盤調査を支援（2020 年度）	2,600

・山村部における移住・定住の促進

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
いなか暮らしコーディネート事業 ［企画課］	おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進	・移住総合窓口の運営 ・いなか暮らし博覧会 ・移住ＰＲ冊子「脈々と」（2017 年度） ・人材育成事業（ミライの職業訓練校、大学インターン）（2018 年度） ・空き家片づけ大作戦（2019 年度） ・「家主さんの悩みを解決！空き家活用のススメ」と題し動画の制作と配信（2020 年度） ・とよたでつながるローカルメディア縁側の運営（2020 年度）	38,340
空き家情報バンク事業 ［地域支援課］	空き家情報バンクに登録された山村地域等の空き家と移住希望者のマッチングを行い、移住の促進を通じて持続可能な地域社会を構築	・空き家情報バンク、空き家関連補助金の運用 ・空き家所有者へ物件登録の啓発 ・移住希望者への情報提供 ・補助支援パンフレットの作成・更新 ・移住・定住イベントの開催 ・空き家を使った起業の支援	71,455

・豊田市らしい暮らしの価値創造・発信

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
交流コーディネート事業 ［企画課］	おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部の交流をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信	・交流のコーディネート及び活動の支援 ・SNS 等による情報発信	108,062

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
定住促進プロモーション事業 ［定住促進課］	定住促進プロモーション「ファースト暮らすとよた」を通じて、市内外の家族形成期世代へ豊田市の魅力や住みやすさのＰＲを実施	・PR 冊子の作成・配布：80,000 冊 （2017～2020 年度） ・ウェブサイト閲覧数：134,471 件 （2017～2020 年度） ・PR 動画の作成・放映 （2017～2020 年度） ・市内外のイベント等でのプロモーション活動 （2017～2020 年度） ・複数のマスメディアを活用したプロモーション活動（2018～2020 年度） ・主要駅でのポスター広告（2018 年度） ・市販誌「豊田市デイズ」の創刊・記事掲載 （2018～2020 年度） ・WEB 広告による情報拡散（2018～2020 年度） ・ウェブサイトの改修 （2020 年度）	54,920

柱②世界に発信するまちぐるみの観光・交流の取組の推進
・ホスピタリティ向上によるまちの国際化の推進

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
外国人のおもてなし推進事業 ［国際まちづくり推進課］	「外国人おもてなし市民会議」を中心に、来訪外国人に対し、豊田市のイメージや来訪満足度を高める取組を展開	・多言語ガイドボランティア登録数：238 人 （2017～2020 年累計） ・外国人向け交流プログラム数：315 件 （2017～2020 年累計） ・外国人向け交流プログラム参加者数：922 人 （2017～2020 年累計）	43,078

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
インバウンド推進事業 ［商業観光課］	多言語化や情報通信環境の整備と、外国人を対象とした戦略的なプロモーションを展開	・豊田市観光実践計画2018-2020を策定し、取組の柱として「おもてなし環境の整備」掲げ、3年間で進める事業を明確化 （2017 年度） ・ツーリズムとよたによる海外誘客プロモーションの実施 （2017、2018年度） ・各種観光情報ツールの多言語化 （2017、2018年度） ・観光案内看板の多言語化、宿泊施設のトイレ洋式化支援、観光地の公共施設のトイレ洋式化等のハード整備（2018、2019年） ・ツーリズムとよた公式HPにおいて多言語対応の観光スポットページ 107件を追加。ラグビーワールドカップ特設ページ及び「OH!MOTENASHI」特設ページを新設。 （2019年度） ・豊田市観光実践計画2021-2024を策定し、取組の柱として「受入環境整備と人材育成」を掲げ、3年間で進める事業を明確化（2020年度）	53,466

・マーケティングに基づいた観光・交流の推進

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
観光マーケティング推進事業 ［商業観光課］ （再掲）	一般社団法人ツーリズムとよたの運営を支援し、観光の産業化を推進	・短期経営計画 2018-2020 年の最終年度である 2020 年度は事業の総仕上げとその評価、次期経営計画の策定について確認した。 ・ツーリズムとよたと連携してマーケティング調査を継続実施。2020 年度の宿泊動向調査では、コロナの影響を吸い上げるため 1 期毎にトピックスを変え市内ホテルから回答を回収した。 ・愛知県の広域連携事業「愛知･名古屋観光誘客協議会」においては役割分担をおこない同法人と共同で取組み、WEB を活用したプロモーションやクーポン割引による誘客及び消費の促進をおこなった。	474,634

・まちの玄関口の機能向上

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業 ［都市整備課］	豊田市駅前に整備するシネマコンプレックスや商業施設等により、新たなにぎわいを創出	・豊田市駅前通り北地区市街地再開発の整備 （2017～2018 年度） ・豊田市駅東口ペデストリアンデッキ延伸整備 （2017～2019 年度）	5,209,909
豊田市停車場線歩行者専用化試行取組事業 ［都市整備課］	豊田市駅前の道路で歩行者空間としての利活用を実験的に行い、にぎわいの創出を検証	・歩行者空間としての実証実験の企画・検討 （2017～2019 年度） ・交通影響調査等 （2017～2020 年度）	104,939
都心地区サイン施設再整備事業 ［都市整備課］	既存サイン施設の情報更新や新規サイン施設の設置を行い、来街者の回遊性や利便性を向上	・サイン設置：29 基 （2017～19 年度）	75,231

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
まちなか総合案内機能整備事業 ［商業観光課］	豊田市駅周辺に情報拠点を設置して、まちなか情報や観光情報などのインフォメーション機能を充実	・「エヌロク」を継続運営	0
若林駅付近連続立体交差事業 ［街路課］	若林駅付近の鉄道の高架化と側道整備により、周辺住民の快適な移動環境を確保	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事 （2019～2020 年度）	2,912,809
道の駅どんぐりの里いなぶ整備事業 ［稲武支所］	交通結節点の整備やどんぐり横丁のリニューアルなど、どんぐりの里いなぶの再整備を実施し、観光客や周辺住民の利便性を向上	【どんぐり横丁】 増改築設計（2019 年度） キャノピー等設計、仮設店舗営業準備、イベント広場用地取得（2020 年度） 【交通結節点】 整備工事、駐輪場等設計（2017 年度） カーポート設置工事、駐輪場等工事（2018 年度） 【多目的広場】 整備工事、歩道設置設計（2018 年度） 歩道用地取得、歩道設置工事（2019 年度）	219,416
公共施設等バリアフリー化推進事業 ［企画課、他］	公共施設等におけるトイレの洋式化やエレベーターの設置等によるバリアフリー化を推進	・改修設計：11 施設 ・改修工事：51 施設	659,859

柱③まちの魅力の共有と発信

・多様な地域資源を生かした学びの推進

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
ものづくり教育プログラム事業 ［ものづくりサポートセンター］	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施	・プログラム実施：200 回 ・プログラム参加児童数：10,246 人 ・サポーター派遣人数：1,839 人	17,973
トップアスリート・スポーツチーム応援事業 ［生涯スポーツ推進課、スポーツ戦略課］	本市にゆかりのあるトップアスリートやスポーツチームを応援し、一体感を持ってスポーツを楽しむ機運を醸成	・「夢の教室」の開催：延べ実施クラス数　519 クラス（2017～2020 年度） ※2020 年度はコロナのためオンライン開催 ・名古屋グランパス指導者による巡回指導：延べ実施こども園数 298 園、延べ実施小学校数 140 校（2017～2019 年度） ※2020 年度はコロナのため中止 ・ホームタウンコーナーの運営 ・わがまちアスリートの認定：25 名（2020 年度末時点）	98,924
博物館整備事業 ［文化財課］	歴史・文化財や関連する自然についての展示、学習支援・交流、調査・研究、収蔵を推進する博物館を整備	・基本計画の検討・策定 ・市民周知のためのイベント開催	265,709

・市民が自ら暮らしを楽しむ活動の推進

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
とよたまちさとミライ塾事業 ［商業観光課］	地域資源を活用した体験プログラムを集めた「とよたまちさとミライ塾」を通じて、観光商品の開発及び人材を育成	（2019 年度） ・48 個の体験プログラムを開催し、583 名が参加 ・45 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数が昨年より 1,214 人増加 （2018 年度） ・81 個の体験プログラムを開催し、1,324 名が参加 ・75 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数が昨年より 149 人増加 （2017 年度） ・86 個の体験プログラムを開催し、1,755 名が参加 ・73 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数ガ昨年より 682 人増加 （2016 年度） ・106 個の体験プログラムを開催し 3,245 名が参加 ・94 団体のパートナーがプログラムを作成	20,939
まちなか広場空間活用促進事業 ［商業観光課］	公共的空間の活用により、まちなかのにぎわいを推進	・ペデストリアンデッキ広場にて長期飲食事業を実施 ・あそべるとよた DAYS をまちなか広場 7 か所で実施 実施件数： 405 件（2019 年度） 381 件（2020 年度）	48,561

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
市民によるアートプロジェクト推進事業 ［文化振興課］	市民が運営する文化芸術に関するプロジェクトを推進し、文化事業に関わりながら地域に貢献できる体制や活動の場を構築	・推進協議会の設立 ・サポーター登録：201 人 ・アートイベント開催：12 事業 ・デカス採択：43 事業	47,593

・まちの魅力・価値の共有と発信

事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
環境先進都市プロモーション事業 ［未来都市推進課］	市民や企業に低炭素な暮らしを浸透させ、市外にも本市の取組をＰＲするため、とよたエコフルタウンを活用して環境先進技術を発信	・超小型電気自動車を活用した実証事業の実施（2017 年度） ・ガイドツアー、PR イベント等の開催（2017～2020 年度） ・RWC 事前イベントを活用した実証事業の PR を実施（2018 年度） ・エコフルタウンのリニューアルを実施（2018 年度）	591,798
自動走行実証実験事業 ［未来都市推進課］	エコフルタウン等において、自動走行に必要な社会インフラ整備や安全対策等を行い、企業・大学と連携して自動走行実証実験を実施	・ゆっくり自動運転（2018 年度） ・ヒューマノイドロボットによる自律走行（2018 年度） ・低速無人回送（2018 年度） ・道の駅等を拠点とした自動運転サービス（2018、2020 年度）	15,866

●基本施策

Ⅰ　子ども・子育て

Ⅰ－１－（１）安心して子どもを生み育てられる環境の充実

柱①相談体制・支援サービスの充実

柱②若年層に対する妊娠・出産と向き合う機会の充実

柱③児童虐待防止対策の推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	とよた急病・子育てコール 24 運営事業 ［子ども家庭課］ （再掲）	24 時間 365 日いつでも救急医療相談と子育て相談ができるコールセンターを運用	・24 時間 365 日の電話相談件数 相談件数：54,913 件 救急医療：40,941 件 育児：12,232 件	122,180
①	おめでとう訪問事業 ［子ども家庭課］	母子保健推進員が、生後１～３か月の乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する相談や各種教室・相談機関等の情報を提供	訪問件数： 3,686 件（2017 年度） 3,482 件（2018 年度） 2,979 件（2019 年度） 520 件（2020 年度） ※訪問に変わる電話支援 2,565 件（2020 年度） 2021 年 1 月より第 1 子のみ家庭訪問し、第 2 子以降は電話支援を実施	17,255
②	思春期教室事業 ［子ども家庭課］	中学生を対象に、性や命の尊さ、妊娠・出産等に関する教育、赤ちゃんと母親とのふれあいによる子育ての疑似体験を実施	・性教育の実施： 24 校（2017 年度） 27 校（2018 年度） 24 校（2019 年度） 16 校（2020 年度） ・あかちゃんとのふれあい体験の実施： 14 校（2017 年度） 14 校（2018 年度） 12 校（2019 年度） 未実施(2020 年度)	9,006
③	児童虐待防止教育推進事業 ［子ども家庭課］	幼児、児童、生徒及びその保護者、教職員等を対象に、ＣＡＰ（子どもへの暴力防止）プログラムによる児童虐待防止の教育を実施	・虐待防止教育ワークショップの実施： 45 か所（2017 年度） 37 か所（2018 年度） 36 か所（2019 年度） 32 か所（2020 年度）	15,247

Ⅰ－１－（２）必要な幼児教育・保育を受けられる環境の整備
柱①保育需要への対応
柱②良好な幼児教育・保育環境の確保

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	公立こども園の民間移管事業 ［保育課］	３歳児の幼児教育の受入枠を拡大するため、公立こども園の民間移管を実施	4 園の民間移管を実施、1 園の移管法人を選考した。	309,458
①	中山こども園増築事業 ［保育課］	宅地開発により、人口の増加が想定されるため、０～２歳児の受入枠の拡大を実施	０～２歳児の受入れ枠を拡大するために、既存園舎に乳児室を増築した。	61,448
①	幼保連携型認定こども園施設整備費補助事業 ［保育課］	私立幼保連携型認定こども園の設置者が実施する施設整備費を補助	2 園の施設整備に対する補助を実施した。	421,636
①	幼稚園認可こども園の保育所認可化事業 ［保育課］	幼稚園認可こども園（挙母、住吉、若林）を保育所認可に切り替え、０～２歳児の受入枠の拡大を実施	挙母、住吉、若林の３園について、0 から 2 歳児の受入れに必要な改修工事等を実施し、0～2 歳児の受入れ枠を拡大した。	590,744
①	私立保育所施設整備費補助事業 ［保育課］	待機児童対策として、０～２歳児の受入枠を拡大するため、施設整備を実施する法人に対し施設整備費を補助	分園施設整備に対する補助を２件実施	207,214
① ②	高嶺こども園改築事業 ［保育課］	定員の拡大による待機児童の削減と保育環境の向上のため、老朽化した園舎の改築を実施	受入れ枠の拡大及び園舎の老朽化対策のために、園舎の改築工事を実施した。2020 年度から新園舎での受入れを開始した。	1,615,723

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	こども園トイレ再整備事業 ［保育課］	快適な保育環境を実現するため、洋式トイレの設置割合が低いこども園を対象に、トイレの洋式化を実施	以下のとおりトイレ再整備事業を実施した。 ・工事 伊保・永新（2017 年度） 石畳（2018 年度） 本地（2019 年度） 上鷹見・藤藪・道慈・大草・竹村（2020 年度） ・設計 稲武・東部・広沢・大沼・トヨタ・御作・ひかり（2020 年度）	87,331

Ⅱ　生涯学習

Ⅱ－１－（１）生き抜く力を育む学校教育の推進

柱①学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進

柱②確かな学力を育む教育の推進

柱③豊かな人間性を育む教育の推進

柱④たくましく生きるための健康・体力を育む教育の推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	コミュニティ・スクール推進事業 ［学校教育課］ （再掲）	中学校区の単位で小・中学校の連携及び地域ぐるみの教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールの導入を推進	・推進委員会の開催 ・市内 28 中学校区、全中学校区設置完了	448
①	地域学校共働本部設置拡大事業 ［学校教育課］ （再掲）	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織を設置・拡大	・市内 103 校、全校設置完了	122,993
②	きめ細かな教育推進事業 ［学校教育課］	豊田市独自の少人数学級と非常勤講師・補助員等の配置により、きめ細かな教育を推進	・対象校に対し、全校配置	1,617,305

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	ICT 活用・整備推進事業 ［教育センター］	ＩＣＴ機器を活用した「分かる・深まる授業づくり」を推進するための授業スタイルの改善及びＩＣＴ機器の整備を推進	・教職員対象のＩＣＴ研修：60 回 ・タブレット一体型パソコンを市全体で 3,634 台整備。活用促進のための研修を実施（2018 年度） ・学習用タブレット（Ipad)39,922 台導入（2020 年度） ・ＩＣＴカート 288 台更新＋552 台導入（2020 年度） ・小学校教員用デジタル教科書購入（2020 年度）	5,900,929
③	いじめ・不登校対策事業 ［青少年相談センター］	いじめの防止や対応、不登校児童生徒の自立支援などに関する各種の対策事業を実施	・面接相談：19,912 件 ・適応教室通室児童生徒の支援：358 人	826,801
③	特別支援教育の推進事業 ［青少年相談センター］	身近な地域での特別支援教育に関する相談支援を推進するため、ブロックサポート体制を確立	・教職員対象の研修会：参加者 1,548 人 ・各種相談対応：1,134 件	456,507
④	子どもの体力向上推進事業 ［学校教育課］	子どもの体力向上プログラムの充実と活用や子どもの運動に対する意識の高揚の取組を推進	・「1 校 1 実践」の全校実施 ・体力アップトレーニングメニューの周知 ・学校ＨＰを活用した家庭への啓発（2017 年度） ・学校体育担当者会での体力向上に関する講義の実施（2018 年度） ・体力テスト測定マニュアル作成（2019 年） ・体育科授業におけるタブレット PC の活用方法の周知（2020 年）	217

Ⅱ－１－（２）安全・安心で快適に学べる教育環境の充実

柱①学校施設整備の推進

柱②学校施設環境の充実

柱③給食調理環境の整備

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	校舎増築事業（猿投中学校、朝日丘中学校） ［学校づくり推進課］	既設校舎を増改築し、生徒数増加に伴う教室不足に対応	【猿投中学校】 ・増築工事、改修工事（2017 年度） 【朝日丘中学校】 ・基本設計（2017 年度） ・実施設計（2018 年度） ・増築工事（2019～2020 年度） ・既設校舎解体工事着手（2020 年度）	2,981,625
②	学校施設保全改修事業 ［学校づくり推進課］	老朽化が進む学校施設を保全改修し、安全・安心で快適な教育環境を確保	・設計：16 校 ・工事：20 校	3,439,908
②	学校トイレ再整備事業 ［学校づくり推進課］	トイレの洋式化を推進し、快適な学校生活環境を確保	・設計：25 校 ・工事：29 校	818,281
②	小中学校の空調設備設置事業 ［学校づくり推進課］	日常的に学習で使用する教室等に空調設備を整備	・整備基礎調査（2017 年度） ・設計：103 校（2018 年度） ・工事：103 校（2018～2019 年度）	7,166,877
③	北部給食センター改築整備事業 ［保健給食課］	老朽化した北部及び藤岡給食センターを統合し、北部給食センターの移転新築整備を実施	・基本設計（2017 年度） ・実施設計（2018 年度） ・建設工事（2018～2019 年度） を実施し、整備完了	2,657,029

Ⅱ－１－（３）地域による次世代人材の育成の促進
柱①地域における子どもの居場所確保の推進
柱②小・中学生が主体的に活動できる機会の充実
柱③高校生・大学生の社会参加活動の促進
柱④自立に困難を抱える若者の支援

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	放課後児童クラブ事業 ［次世代育成課］	放課後等において、原則小学校１年生～４年生を対象に適切な「遊び」や「生活」の場を提供し、児童の健全な育成を支援	・放課後児童クラブの運営：70 校（2020 年度） ・参加登録児童数：14,824 人（5 月 1 日時点） （2017～2020 年度）	4,192,927
①	地域子どもの居場所づくり事業 ［次世代育成課］	子どもたちが自主的に活動する場、地域の子ども同士や大人が交流する機会を提供し、地域全体で子どもの育成を支援	・活動の場の提供：36 か所（2020 年度）	140,022
①	子ども食堂支援事業 ［福祉総合相談課］	子ども食堂への食の安全確保のための補助金交付や、立上げに関する相談対応、運営支援、寄附等の確保などの取組を実施	・子ども食堂立ち上げや運営に関する相談対応、運営支援の実施（社会福祉協議会へ委託） ・子ども食堂の実施：18 か所（2019 年度） ・子ども食堂の実施：23 か所（2020 年度）	12,610
④	若者サポートステーション事業 ［次世代育成課］	自立に困難を抱える若者が就労や社会参加などを行うため、関係機関による包括的な体制で自立に向けた支援を実施	・延べ登録者数 733 人 ・適切な機関への紹介や就職等につながった延べ人数 261 人	65,253

Ⅱ－１－（４）まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進
柱①ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実
柱②高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	ものづくり教育プログラム事業 ［ものづくりサポートセンター］ （再掲）	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施	・プログラム実施：200 回 ・プログラム参加児童数：10,246 人 ・サポーター派遣人数：1,839 人	17,973
①	とよたものづくりフェスタ事業 ［ものづくりサポートセンター］	子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催	・TES フェスティバル（トヨタ技術会主催）と合同開催 ・体験者数：37,475 人	37,637
②	科学技術教育推進事業 ［ものづくりサポートセンター］	主に中学生・高校生を対象とし、企業、大学、関係団体等と連携したハイレベルのものづくり・科学講座等の開催や生徒の活躍を支援	・講座、イベントの開催：36 回	5,003
②	クルマづくり究めるプロジェクト事業 ［ものづくりサポートセンター］	子どもたちが、プロからクルマづくりを学び、挑戦する活動を自動車関連企業と連携して実施	活動の実施 ※2019 年よりコース名変更 ・基礎コース（入門コース）:99 回 ・究めるコース（研究コース）：102 回 ・きんとうんコース（挑戦コース）：102 回	31,474
②	匠の技に学ぶものづくりプロジェクト事業 ［ものづくりサポートセンター］	和紙、鍛冶屋、竹細工といった豊田市らしいものづくりを職人から学ぶ講座を実施	・講座の開催：9 講座	451

Ⅱ－１－（５）高齢者が活躍できる環境の充実

柱①高齢者の社会や地域での活躍支援

柱②高齢者への多様な就業機会の提供

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	高齢者の活躍支援事業 ［市民活躍支援課］ （再掲）	高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び、相談、情報提供等の支援を実施	・シニアアカデミー（旧高年大学）開催：通年コース卒業生 379 人 ・講座（専門コース・はじめの一歩講座等）の開催：495 人 ・特技登録制度の運用 ・セカンドライフ・ガイドブックの作成と配付	31,854
②	シルバー人材センター就業創出事業 ［市民活躍支援課］ （再掲）	社会環境の変化や多様化する高齢者の就労ニーズに対応するため、労働者派遣や生活支援サービスなどの就業機会を創出	・労働者派遣事業の拡大 ・「会員紹介キャンペーン」の実施 ・女性部会の立ち上げ ・女性を対象としたセミナーの実施	281,638

Ⅱ－１－（６）女性が活躍できる環境の充実

柱①ワーク・ライフ・バランスの推進

柱②女性の就労・市民活動意識確立の支援強化

柱③若者の男女共同参画への理解促進に向けた取組の強化

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	働き方改革推進事業 ［産業労働課］ （再掲）	企業経営者への働きやすい職場の環境改善に関する意識啓発や改善に取り組む企業へのアドバイザー派遣、市民への意識啓発を実施	・経営層向けセミナー参加延べ人数：1,559 人 ・アドバイザーの養成、派遣延べ件数：146 件（2017～2018 年度） ・優良事業所表彰延べ応募件数：74 件 ・組織改善のための階層別研修（2018～2019 年度） ・テレワーク導入支援補助金の創設（2020 年度）	39,790

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	女性のライフプラン・キャリア形成支援事業 ［とよた男女共同参画センター］	結婚や出産を機に活動していない女性の就労意欲や市民活動への参画意識を醸成するための相談や講座・セミナーを開催	・交流会を混合した講座、セミナーの開催：111 回 ・シンポジウム開催：1 回 （2017 年度）	4,476
③	高校・大学等と連携した男女共同参画推進事業 ［とよた男女共同参画センター］	進路や職業の選択を行う前の若者に対し、性別役割によらないキャリアプラン形成の理解を広げるための男女共同参画の講座等を開催	・大学生対象講座ワーキング：1 回 ・パパママティーチャー：1 回 ・高校生対象理工系魅力発信キャラバン：1 回 ・小中学生対象職業選択冊子作成:1 回 ・高校生対象藤島塾：2 回 ・高校魅力発見フェスタ啓発出展：2 回 ・小中学校司書研修：3 回 ・お仕事体験ラボ：1 回 ・コラボ事業大人への地図：1 回 ・高校生による PR 動画講座：3 回 ・出前講座 SDGｓ探求型プログラム：1 回	990

Ⅱ－２－（１）スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進

柱①スポーツを「する」機会の充実

柱②スポーツを楽しむ風土の醸成

柱③スポーツを「支える」指導者の育成

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	（仮称）松平地域体育館等整備事業 ［生涯スポーツ推進課］ （再掲）	スポーツの振興や健康の増進に向け、多くの市民が気軽に利用できる体育館等を整備	・実施設計（造成工事）（2017 年度） ・用地取得（2018 年度） ・造成工事（2018～2019 年度） ・建築設計（体育館等）（2018～2019 年度） ・屋根付き広場工事（2019～2020 年度） ・体育館工事（2019 年度～）	1,569,251
①	梅坪浄水運動広場新設事業 ［生涯スポーツ推進課］	スポーツの振興や健康の増進に向け、多くの市民が気軽に利用できる運動広場を整備	・運動広場造成工事（2017～2019 年度） ・事務所棟等建築設計（2017 年度） ・事務所棟等建築工事（2018～2019 年度）	1,890,016
①	スポーツクラブ連合会を中心としたスポーツ教室事業 ［生涯スポーツ推進課］	地域スポーツクラブの活動推進及びコーディネーショントレーニング教室や子ども・中高齢者向けスポーツ教室を開催	・ＣＯＴ教室の開催：延べ参加人数 33,868 人（2017～2020 年度） ・地域スポーツ連携事業にて、子どもスポーツフェスタ、中学校部活動派遣、合同練習会等の実施（2017～2019 年度） ※2020 年度はコロナのため中止	21,972

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	トップアスリート・スポーツチーム応援事業 ［生涯スポーツ推進課、スポーツ戦略課］ （再掲）	本市にゆかりのあるトップアスリートやスポーツチームを応援し、一体感を持ってスポーツを楽しむ機運を醸成	・「夢の教室」の開催：延べ実施クラス数　519 クラス（2017～2020 年度） ※2020 年度はコロナのためオンライン開催 ・名古屋グランパス指導者による巡回指導:延べ実施こども園数 298 園、延べ実施小学校数 140 校 （2017～2019 年度） ※2020 年度はコロナのため中止 ・ホームタウンコーナーの運営 ・わがまちアスリートの認定：25 名 （2020 年度末時点）	98,924
③	スポーツ指導者育成事業 ［生涯スポーツ推進課］	企業・大学等と連携し、専門的なスポーツ指導者を育成するための講座を開催	・養成講座等の開催:延べ実施講座数 32 講座 （2017～2019 年度） ※2020 年度はコロナのため中止	1,838

Ⅱ－３－（１）歴史や文化財の継承と魅力の発信

柱①歴史を継承・発信する基盤・機会の充実

柱②市民力を生かした博学連携・歴史継承の促進

柱③歴史的な町並みを生かしたまちづくり

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	博物館整備事業 ［文化財課］ （再掲）	歴史・文化財や関連する自然についての展示、学習支援・交流、調査・研究、収蔵を推進する博物館を整備	・基本計画の検討・策定 ・市民周知のためのイベント 開催	265,709
②	郷土学習推進事業 ［文化財課］	郷土の歴史や文化財を子どもたちに伝えるために、市民や学校との連携を強化。市民が自ら学び、市民や来訪者に伝える活動を促進	・とよた歴史マイスターの認定・活動の支援（認定者数延べ 83 人・活動延べ 1,267 人） ・郷土学習スクールサポートの実施（29,889 人）	2,339
③	足助歴史的町並み保存整備事業 ［文化財課］	重要伝統的建造物群保存地区の中心的な建物である旧鈴木家住宅の修理・復原を行い、歴史的町並みを活用する中核拠点を整備	・保存修理工事 ・防災対策工事実施設計 ・活用整備工事実施設計 ・活用整備工事	476,231

Ⅱ－３－（２）文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進

柱①文化芸術に触れる機会の充実

柱②文化芸術活動を担う人材の育成

柱③文化施設の機能・価値の向上

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	市民によるアートプロジェクト推進事業 ［文化振興課］ （再掲）	市民が運営する文化芸術に関するプロジェクトを推進し、文化事業に関わりながら地域に貢献できる体制や活動の場を構築	・推進協議会の設立 ・サポーター登録：201 人 ・アートイベント開催：12 事業 ・デカス採択：43 事業	47,593

Ⅲ　健康・福祉

Ⅲ－１－（１）誰もが健康づくりを継続できる環境の充実

柱①健康に関心を持つ機会の充実

柱②健康づくりを継続できる環境の充実

柱③若いときからの望ましい食習慣の定着推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	健康ウオーキング事業 ［生涯スポーツ推進課］ （再掲）	健康意識を醸成し、健康づくりの輪を広げるため、健康づくりを実践する市民が集い交流する、ウオーキングを始めとするまちぐるみの健康イベントを開催	・ウオーキングイベントを開催：延べ参加人数約15,077 人 （2017～2020 年度）	10,117
②	きらきらウエルネス地域推進事業 ［地域保健課］ （再掲）	地域の健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進	・高岡、猿投支所内に地区担当保健師を配置 ・14 地区において地域健康づくり計画を作成 （2017～2020 年度）	6,408
②	元気アップ事業 ［地域保健課］	高齢者が要支援・要介護認定者にならないように、介護予防教室を実施し、自主的に継続できるように支援	・元気アップ教室の開催箇所数： 48 か所（2017 年度） 35 か所（2018 年度） 40 か所（2019 年度） 0 か所（2020 年度） ・自主グループ数： 146 ｸﾞﾙｰﾌﾟ（2017 年度） 177 ｸﾞﾙｰﾌﾟ（2018 年度） 206 ｸﾞﾙｰﾌﾟ（2019 年度） 193 ｸﾞﾙｰﾌﾟ（2020 年度）	26,866

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	若者向け食育推進事業 ［(保）総務課］	望ましい食習慣を身に付けられるように、高校生や大学生を始めとする若者を対象に、食事の摂り方や栄養指導を実施	・親子食育講座の実施:94回（2017～2019 年度） ・大学祭での啓発:各 3 校（2017～2019 年度） ・高校生向け食育講座の実施：9 回 ・青年向け食育講座の実施：2 回 （2018～2019 年度） ※2020 年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、各種事業を中止	3,920

Ⅲ－１－（２）健康危機への対応力の強化

柱①健康危機の発生予防対策の推進

柱②健康危機の拡大防止対策の推進

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
－	－	－	－	－

Ⅲ－２－（１）必要なときに受診できる医療提供体制の確保

柱①救急医療体制の維持

柱②適切な受診行動がとれる市民意識の醸成

柱③在宅医療を支援する機能の充実

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	救急医療施設運営支援事業 ［地域包括ケア企画課］	市民が安心して、24 時間 365 日、症状に応じた適切な診療が受けられるように、救急医療提供施設に対して補助金を交付	補助金交付実績 ・豊田厚生病院： 120,632 千円（2017 年度） 120,606 千円（2018 年度） 120,672 千円（2019 年度） 120,724 千円（2020 年度） ・トヨタ記念病院： 15,891 千円（2017 年度） 15,890 千円（2018 年度） 16,422 千円（2019 年度） 15,717 千円（2020 年度） ・足助病院： 3,899 千円（2017 年度） 3,979 千円（2018 年度） 3,914 千円（2019 年度） 3,990 千円（2020 年度） ・豊田地域医療センター： 7,509 千円（2017 年度） 7,669 千円（2018 年度） 7,538 千円（2019 年度） 7,546 千円（2020 年度） ・みよし市民病院： 3,193 千円（2017 年度） 3,133 千円（2018 年度） 3,134 千円（2019 年度） 3,165 千円（2020 年度） ・休日救急診療所： 8,374 千円（2017 年度） 8,491 千円（2018 年度） 8,959 千円（2019 年度） 8,307 千円（2020 年度）	639,354

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	新１次救急診療所等整備事業 ［地域包括ケア企画課］	軽症患者の受診先の充実を図るため、新たな１次救急診療所を整備	・新築工事設計 （2016～2017 年度） ・新築工事 （2018～2020 年度） ・電気設備工事 （2018～2020 年度） ・給排水衛生ガス空調工事 （2018～2020 年度） ・植栽工事 （2019～2020 年度）	613,796
②	とよた急病・子育てコール 24 運営事業 ［子ども家庭課］ （再掲）	24 時間 365 日いつでも救急医療相談と子育て相談ができるコールセンターを運用	・24 時間 365 日の電話相談件数 相談件数：54,913 件 救急医療：40,941 件 育児：12,232 件	122,180
③	豊田地域医療センター再整備事業 ［地域包括ケア企画課］ （再掲）	進展する高齢化に対応可能な体制を整え、高齢者医療、在宅医療など充実した医療を提供するため、老朽化の進む豊田地域医療センターの建替え・改修を実施	・実施設計（2017 年度） ・造成工事、インフラ整備工事等（2017 年度） ・情報システム更新 （2017 年度） ・新棟建設工事 （2018～2020 年度） ・既設棟部分改修 （2020 年度）	11,579,450

Ⅲ－３－（１）高齢者が安心して生活できる支援体制の充実

柱①住み慣れた地域で暮らすための支援体制の強化

柱②高齢者を支える多様な担い手の確保

柱③介護環境の充実

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	高齢者地域包括支援事業 ［高齢福祉課］	高齢者を対象とした相談窓口の運営や地域の福祉課題の解決に向けた協議の場の設置を支援	・地域包括支援センターの運営：28 か所 ・基幹包括支援センターの運営：１か所	3,002,889

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	認知症高齢者等支援事業 ［高齢福祉課］ （再掲）	認知症の人等を対象とし、複数の専門職が集中的に関わる支援チームの設置や、徘徊に関する支援体制を構築	・認知症初期集中支援チームの設置: 1 チーム 3 名体制 ・徘徊者捜索機器の補助件数： 3 件（2017 年度） 16 件（2018 年度） 19 件（2019 年度） 11 件（2020 年度）	84,919
①	認知症サポーターステップアップ事業 ［高齢福祉課］	認知症の人を支える意欲のある市民に、認知症に関する知識や支援方法に関する講義を実施	・講座の開催：80 回 （市、包括支援センター実施分）	221
①	在宅医療・福祉連携推進事業 ［地域包括ケア企画課］ （再掲）	高齢者等が住み慣れた地域で生活を継続できるように、在宅医療・介護関係者の連携体制強化や情報共有等の円滑化を推進	・電子@連絡帳による多職種連携 （2017～2020 年度） ・在宅医療・福祉連携推進計画の策定（2017 年度） ・在宅医療・福祉連携推進計画の中間見直し （2020 年度） ・在宅医療・福祉連携推進計画に位置づけた事業の実施（2018～2020 年度） ・オンライン診療のモデル実証（2018～2019 年度） ・豊田訪問看護師育成センター事業 （2019～2020 年度） ・在宅医療サポートセンター事業 （2018～2020 年度）	103,119

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	介護予防・生活支援サービス事業 ［介護保険課］	要支援者等のサービス・支援の充実を図るため、現行相当の基準に、市独自の緩和した基準を加え、訪問型・通所型サービスを運用	・市内事業所数及びのべ利用者数： 175 件、14,929 人 （2017 年度） 182 件、31,260 人 （2018 年度） 186 件、32,541 人 （2019 年度） 197 件、31,191 人 （2020 年度） ※市内事業所数は各年度当初 ※2017 年度から事業を開始	2,257,623
②	介護人材確保事業 ［介護保険課］ （再掲）	介護人材の確保のため、海外人材の受入支援、高齢者や若者の活躍促進、離職有資格者の復帰促進、離職防止による定着支援を実施	・EPA 介護福祉士候補者等日本語講座：週 1 回、全 6 コース開催 （2017 年度～） ・介護福祉士国試対策講座：月 1 回程度 （2019 年度～） ・バンドン市介護人材受け入れ：10 名（2020 年） ・就職フェア：4 回 （2017 年度～） ・学内説明会：11 校 （2017 年度～） ・イメージアッププロジェクト：31 名 （2017 年度～） ・介護人材創出研修：かいごの教室：19 回 （2018 年度～） ・福祉新人研修：1 回 （2017 年度） ・離職有資格者復帰促進(ヘルパーフォローアップ)講座：2 回 （2017 年度） ・現任介護職員研修：29 回（2018 年度～）	33,383

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	介護ロボット等導入支援事業 ［介護保険課］ （再掲）	介護施設が介護ロボット等を導入する際の費用に対し、補助金を交付するとともに、介護現場と開発事業者を橋渡しし、介護ロボット開発を支援	・市内介護事業所の協力により 3 件の実証を実施調整 ①遠隔在宅ケアサポートシステム （2017～2020 年度） ②ケアマネジメント標準化システム （2018～2020 年度） ③歩行トレーニングロボット（2017～2019 年度） ・県介護ロボット導入支援事業費補助金の周知、市内事業所補助件数 3 件（2017 年度） 8 件（2018 年度） 7 件（2019 年度） 12 件（2020 年度）	0
③	介護施設整備支援事業 ［介護保険課］ （再掲）	需要に応じた特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなど介護施設の整備を支援	・北地区再開発高齢者棟開設に対する補助：1 件 （2017 年度） ・グループホーム整備に対する補助件数 1 件（2017 年度） 1 件（2018 年度） 1 件（2019 年度） 1 件（2020 年度） ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業整備に対する補助：2 件 （2019 年度） ・地域密着型特別養護老人ホーム（地域包括支援センター含む）整備に対する補助：1 件（2019 年度） ・広域型特別養護老人ホーム整備に対する補助：1 件 （2019 年度） ・小規模介護医療院（改築）整備に対する補助：1 件 （2020 年度）	943,492

Ⅲ－３－（２）障がい者が地域社会で共生できる環境の整備

柱①理解・啓発活動の推進

柱②日中活動場所の充実

柱③地域での居住の場の充実

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	障がい者日中活動場所確保事業 ［障がい福祉課］	障がい者が日中に活動する場を確保するため、日中活動場所の整備及び運営に対する補助金を交付	施設整備補助:4 件 賃借補助：3 件	538,591
②	障がい者グループホーム整備支援事業 ［障がい福祉課］	障がい者の居住の場を充実するため、グループホームの整備及び運営に対する補助金を交付	施設整備補助:3 件 運営費補助：135 件 家賃補助 127 件 賃借補助：4 件 開設準備：6 件	187,025
③	重症心身障がい者等生活支援事業 ［障がい福祉課］	重症心身障がい者等の在宅生活を包括的に支援するため、グループホーム運営事業所や医療機関等へ補助金を交付するほか、送迎支援を実施する	受入医療機関：5 医療機関 受入日数：722 日 （2020 年度）	42,241

Ⅲ－３－（３）生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保

柱①生活困窮者への相談支援の充実

柱②子どもへの学習機会の提供

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	子どもの学習・生活支援事業 ［福祉総合相談課］	経済的理由等により学習環境が整っていない子どもに対し、集合型学習支援及び生活習慣の形成・改善など世帯全体の生活支援を実施	・子どもの学習・生活支援事業の実施会場を新設（2か所→6か所） （2018年度） ・直営2か所＋委託4か所から直営 1 か所＋委託5か所へと体制整備 （2020年度） ・子どもの学習・生活支援事業の定期実施： 133回（2017年度） 212回（2018年度） 280回（2019年度） 256回（2020年度） ・利用者数の増加： 35人（2017年度） 74人（2018年度） 103人（2019年度） 105人（2020年度）	32,550

Ⅳ　安全・安心

Ⅳ－１－（１）自助・共助・公助による災害対策の充実

柱①市民による災害対策の促進

柱②地域による災害対策の促進

柱③事業者による災害対策の促進

柱④市の災害対策本部体制の強化

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	住宅耐震化促進事業 ［建築相談課］	診断・改修に対する補助金の交付や耐震診断員の派遣を行い、旧基準で建設された住宅と耐震診断義務化建築物の耐震化を促進	・木造住宅の無料耐震診断：518件 ・木造住宅の改修等に対する補助：248件 ・ブロック塀撤去に対する補助：197件	148,954

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	自主防災活動支援事業 ［防災対策課］	防災リーダーの育成や自主防災訓練のサポートなど、自主防災組織の活動を支援	・自主防災リーダー養成講座の開催：4 回 ・自主防災訓練の実施：666 回 ・フォローアップ講座の開催：1 回（2017 年度） ・防災啓発ミニ動画の作成 （2019 年度） ・キャンプ・アウトドアを切り口とした防災啓発イベントの開催 （2020 年度）	77,117
③	事業者災害時行動マニュアル等作成促進事業 ［防災対策課］	大学等と連携した研修会の実施など、災害時に事業者が迅速に復旧・復興するための行動マニュアル（ＢＣＰ含む）の作成を支援	・豊田市地震対策事業者連絡会（講演会等）の実施(2017 年度) ・あいち・なごや強靭化共創センターなどの防災関連機関や有識者を活用した情報の提供 ・連絡会への加入促進 （2017 年度） ・あいぼう会（愛知工業大学）によるＢＣＰ塾の開催 （2018 年度） ・あいぼう会（愛知工業大学）によるＢＣＰセミナー（入門編・中級編）の開催 （2019～2020 年度）	538

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
④	豊田市駅・新豊田駅周辺帰宅困難者対策事業 ［防災対策課］	豊田市駅・新豊田駅周辺の事業者等と連携して帰宅困難者の受入体制を構築し、駅前で発生する帰宅困難者の安全を確保	・豊田市駅・新豊田駅周辺の帰宅困難者対策推進協議会の開催：4 回 （2017 年度） ・緊急退避場所の確保 （2017 年度） ・行動ルールの作成 （2017 年度） ・鉄道会社との災害対応時(台風など)の計画運休、帰宅困難者防止対策の検討（2018 年度） ・商業施設との帰宅困難者発生時の誘導方法の検討 （2018 年度） ・帰宅困難者用備蓄食料・物資の購入 ・ＲＷＣ2019TM 開催事、会場付近危機管理対応訓練（2019 年度） ・ＲＷＣ2019TM 開催時における会場付近危機管理対策、体制の構築 （2019 年度）	17,645
④	受援体制構築事業 ［防災対策課］	事業者と連携した訓練の実施や計画の策定により、災害時における支援物資やボランティア等の迅速な受入体制を構築	・事業者との物資輸送訓練の実施 ・災害協定の締結 ・豊田市災害時受援計画の策定（2017 年度） ・市内物資拠点の現地確認の実施	10,016

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
④	防災情報通信設備整備事業 ［防災対策課］	戸別型の情報伝達手段を整備し、緊急時の避難情報を始めとする防災情報の伝達機能を強化	・自治区放送接続：13 か所 ・280MHz デジタル同報無線システム整備（2018 年度） ・防災ラジオ販売：16,474 台 一般世帯：16,280 台 要配慮者利用施設:194 台	573,529
④	災害用便槽整備事業 ［防災対策課］	災害により水道が寸断した状態でも使用できる便槽を避難所等に整備し、衛生環境を確保	・設置工事：21 か所 ・設計：19 か所	132,856
④	避難所停電対策事業 ［防災対策課］	可搬型発電機やプラグインハイブリッド車からの外部給電を行えるよう、避難所の施設改修を実施し、停電時の電源を確保	・改修工事：20 か所	65,669
④	避難所設備整備事業 ［防災対策課］	避難所における防災倉庫の整備や老朽化した避難誘導灯看板柱の撤去を実施し、安全で安定的な避難所運営を確保	・避難所防災倉庫整備：1 か所（2017 年度） ・避難誘導等撤去：81 か所（2018 年度）	14,616

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
④	水防倉庫整備事業 ［（消）総務課］	洪水や崖崩れなどからの被害を軽減するため、水防活動用資機材を備蓄する倉庫を整備	・足助水防倉庫資機材整備 （2017 年度） ・水防倉庫個別計画策定業務委託（2018 年度） ・小原水防倉庫建設工事繰越（2019 年度） ・小原水防倉庫建設完了 （2020 年度） ・小原水防倉庫資機材整備 （2020 年度） ・日之出水防倉庫長寿命化修繕（2020 年度）	23,535

Ⅳ－１－（２）防災・減災つながる都市機能の強化

柱①災害に強い道路環境の確保

柱②災害の軽減に向けた治水安全度の向上

柱③災害に備えた水道水の供給体制の整備

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	橋りょう耐震対策事業 ［道路予防保全課］	重要路線に架かる橋りょうの橋桁が災害時に落下しないよう落橋防止装置を設置するとともに、橋脚が倒壊しないよう橋脚補強を実施	・設計：22 橋 ・工事：21 橋	2,722,768
①	道路のり面防災対策事業 ［道路維持課、地域建設課］	大雨等により落石・崩壊等のおそれがある道路のり面の変状について点検を行い、発見された要対策箇所に対して防災対策工事を実施	・防災対策工事：76 か所	1,055,523

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	無電柱化事業 ［都市整備課］	電線類を地中化することで、災害時における電柱の倒壊による被害を軽減し、避難路の確保及び電力・通信サービス等の安定供給を確保	・無電柱化整備:17.2ｋｍ	208,406
②	一級河川安永川都市基盤河川改修事業 ［河川課］	中心市街地の浸水被害の防止・軽減のため、一級河川である安永川を拡幅	・拡幅工事（高橋細谷線関連）（2017、2018 年度） ・拡幅工事（長興寺工区、下林工区） （2017～2020 年度）	5,729,348
②	境川・猿渡川流域総合雨水対策事業 ［河川課］	境川・猿渡川流域における浸水被害を防止・軽減するため、調整池等を整備	・整備工事（頭本池） （2017～2018 年度） ・実施設計（白沢池） （2017 年度） ・整備工事（白沢池） （2018～2020 年度） ・実施設計（米田池） （2020 年度）	312,655
②	準用河川大見川河川改修事業 ［河川課］	矢作川からの逆流による洪水被害を防止・軽減するため、大見川を改修	・河川改修工事 （2017～2020 年度） ・実施設計 （2017～2020 年度）	262,204
②	準用河川長田川河川改修事業 ［河川課］	中心市街地の浸水被害の防止・軽減のため、長田川を生態系に配慮した工法で改修	・実施設計（第 1 期） （2017 年度） ・用地取得（第 1 期） （2017～2020 年度） ・概略設計（第 2 期） （2018 年度） ・河川改修工事（第 1 期） （2020 年度）	296,799

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	公共下水道雨水施設の耐震化事業 ［下水道建設課］	公共下水道雨水管路の耐震化を実施し、地震・豪雨時等の災害に強い都市基盤の整備を推進	雨水幹線耐震補強工事 （2017～2020 年度） 1.9km（梅坪 1 号雨水幹線ほか） 実施設計 （2018、2019 年度）	1,998,082
③	水道基幹管路耐震化事業 ［水道整備課］	災害時に優先的に生活用水を供給するため、重要給水施設である医療機関や主要な配水場等を結ぶ基幹管路の耐震化を推進	・耐震化工事 中切幹線：1,699m 豊田高岡幹線：72m 豊田川田幹線：1,094m	1,128,335
③	主要配水場耐震化事業 ［上水運用センター］	災害時の生活用水を確保するため、緊急時の給水施設としての役割を担う主要な配水場等の耐震化を推進	・基本設計（東山配水場） ・実施設計（篠原配水場、東山配水場、西中山送配水場） ・配水池耐震化工事（川田水源送水場受水池、竜宮水源送水場・排水池・浄水池、西中山送配水場配水池） ・場内管路耐震化工事（豊田配水場、猿投配水場、川田水源送水場、篠原配水場）	842,095
③	応急給水支援設備設置事業 ［水道維持課］	水道施設が災害等により破損して水道水が供給できない場合に備え、県営水道の送水管から直接給水する設備を増設	・応急給水支援設備設置工事：４か所 上郷コミュニティ、駒場小学校、竜神中学校 （2018 年度） 加納小学校（2020 年度）	83,712

Ⅳ－２－（１）自助・共助・公助による消防対応力の強化

柱①火災予防の推進

柱②消防団の充実強化

柱③消防体制の充実

柱④救急体制の充実

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	高校生防火防災リーダー養成事業 ［予防課］	市内の各高校の生徒の中から火災予防啓発の中心となるリーダーを養成し、活動を支援することで、高校生世代の火災予防に対する意識を効果的に向上	・カリキュラムの実施 ・啓発活動	1,306
①	高齢者の住宅防火促進事業 ［予防課］	福祉関係者に火災予防の知識を伝え、高齢者宅への訪問時に火災予防を啓発してもらうことで高齢者の火災による被害を軽減	・福祉関係者に対する防火講習会の開催	93
②	機能別消防団員加入促進事業 ［（消）総務課］	消防団の経験者と新たな担い手である大学生などの加入を促進し、慢性化する消防団員不足に対応	・災害支援機能別団員の導入 第７方面隊（2018 年度） 第６方面隊（2019 年度） ・学生機能別団員の導入 日赤看護大学、愛知工業大学（2017 年度） 愛知学泉大学 （2018 年度）	7,026

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	消防団装備の充実事業 ［（消）総務課］	国の装備基準に基づき、優先度等を踏まえて効率的に消防団装備を配備	・防火衣 （2017～2020 年度） ・救命胴衣 （2017、2018 年度） ・反射ベスト、誘導棒 （2018 年度） ・携帯無線機バッテリー （2019、2020 年度）	157,382
③	消防水利施設整備事業 ［警防救急課］	災害時に不足が懸念される消火用水を確保するため、地域の実情に応じて耐震性貯水槽等を整備	・耐震性貯水槽の整備　：23 基 ・消火栓の整備：156 基 ・防火水槽の地震対策・長寿命化修繕：8 基	320,585
③	消防車両整備事業 ［警防救急課］	災害時に不足が懸念される消火用水を確保するため、地域の実情に応じて水槽付消防車両等を配備	・水槽付消防ポンプ自動車：9 台 ・消防ポンプ自動車：2 台 （うち 1 台は当初予算で水槽付消防ポンプ自動車として計上したもの） ・化学消防ポンプ自動車：1 台 ・救助工作車：1 台 ・はしご自動車：1 台 ・指揮隊車：3 台 ・大型水槽車：3 台 ・高規格救急自動車：9 台 ほか 10 台	1,560,136
③	新たな１１９番通報手段の構築事業 ［指令課］	多様な緊急通報手段の需要の高まりに対応するため、音声以外の緊急通報手段を構築	・メール 119（2017 年度） Net119（2018 年度）の運用開始 ・新たな緊急通報手段の利用登録者数：339 人 ・登録説明会等の普及啓発：96 回	10,932

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	多言語コールセンターの普及啓発事業 ［指令課］	関係団体等と連携して多言語コールセンターの周知を図ることで、日本語に不安を抱える外国人の緊急通報手段を確保	・イベント、SNS 等を活用した広報：139 回 ・対応言語数を 5 言語から 19 言語に拡大（2020 年度） ・2020 年度の認知度 31.8%（2016 年度比：＋13.1 ポイント）	724
④	小・中学生に対する応急手当普及促進事業 ［(中) 管理課］	次代を担う小・中学生に応急手当の受講機会を拡大し、少年期から応急手当に慣れ親しむ環境づくりを推進	小･中学校での応急手当講習会の開催：累計 104 校	1,287
④	救急救命士養成事業 ［警防救急課］	救急車に救急救命士を複数配備できる体制を構築するため、救急救命士を新たに養成	救急救命士の養成：24 人	55,406

Ⅳ－３－（１）地域ぐるみの防犯体制の強化

柱①地域の防犯力の向上

柱②犯罪多発地区への防犯対策の促進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	自主防犯活動支援事業 ［交通安全防犯課］	自主防犯活動の担い手の育成や研修会の開催等、自主防犯活動団体の活動を支援	・リーダー養成講座３回（2017，2018 年度） ・ステップアップ講座４回（2019 年度） ・活動団体への物品支給（毎年度）	9,603
②	防犯カメラ設置促進事業 ［交通安全防犯課］	自治区等への防犯カメラの設置費用の補助により、犯罪多発地区を始めとした地域の防犯力を向上	・補助件数：43 件、設置台数:134 台（2017 年度） ・補助件数：24 件、設置台数：54 台（2018 年度） ・補助件数：25 件、設置台数：65 台（2019 年度） ・補助件数：33 件、設置台数：68 台（2020 年度）	62,543

Ⅳ－４－（１）交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現

柱①交通安全啓発の充実

柱②交通安全環境の整備

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	高齢者交通安全防犯世帯訪問事業 ［交通安全防犯課］	高齢者のいる世帯を訪問し、反射材の配布や交通安全に関する知識を啓発	訪問世帯数： 10,253 世帯（2017 年度） 9,196 世帯（2018 年度） 9,291 世帯（2019 年度） 10,041 世帯（2020 年度）	43,322
①	高齢者の先進安全自動車購入促進事業 ［交通安全防犯課］	衝突被害軽減ブレーキ等を搭載した先進安全自動車の購入費補助を高齢者に対して行い、高齢ドライバーが当事者となる重大事故を防止	補助台数： 1,456 台（2017 年度）	43,680

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	後付け安全運転支援装置設置費補助事業 ［交通安全防犯課］	後付け安全運転支援装置の設置費補助を高齢者に対して行い、高齢ドライバーが当事者となる重大事故を防止	補助台数： 659 台（2019 年度） 746 台（2020 年度）	69,080
②	通学路交通安全対策事業 ［交通安全防犯課］	小学生の通学路における横断歩道をカラー舗装化することでドライバーに注意喚起をし、交通事故を削減	・整備完了：全 72 か所	13,109
②	交通事故多発地点対策事業 ［建設企画課］	交通事故データやビッグデータ等の活用により交通事故多発地点や危険箇所を特定し、多発する事故類型に応じた交通事故対策を実施	・対策実施 （2017～2019 年度） ・モニタリング調査、効果評価（2017～2020 年度） ・追加対策（2020 年度）	30,632
②	自転車通行空間整備事業 ［建設企画課］	歩行者の安全確保、自転車の交通事故削減を図るため、車道に路面標示等で自転車の通行位置を明示する整備を実施	・整備工事 （2017～2018 年度） ・事後調査 （2017～2018 年度） ・効果評価 （2019～2020 年度） ・追加対策（2019 年度）	184,605

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	ゾーン 30 整備事業 ［交通安全防犯課］	県公安委員会による面的速度規制とともに、狭さく、カラー舗装などの車の速度抑制対策を実施することで生活道路における安全性を確保	ゾーン30の導入に向けた整備： 青木台･平戸橋一区自治区内（2018 年度） 青木台・平戸橋一区・平戸橋二区・中越戸・下越戸・荒井自治区内 （2019 年度） 下林・長興寺・下市場自治区内（2020 年度）	17,764
②	交通安全施設整備事業 ［交通安全防犯課］	交通事故の防止と交通の安全・円滑化を図るため、カーブミラー、ガードレール、道路照明灯、区画線などを整備	主な交通安全施設整備実績 防護柵：4,031m カーブミラー：305 基 区画線：281,586m カラー舗装：2,904 ㎡ 押しボタン式横断者明示標識：5 基	619,395

Ⅴ　産業・観光・交流

Ⅴ－１－（１）地域特性に応じた産業型農業の推進

柱①大規模で高効率な平坦部農業の推進

柱②高付加価値を生む都市近郊型農業の推進

柱③観光産業の一翼を担う山村部農業の推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
② ③	農商工連携・６次産業化推進事業 ［農政企画課］ （再掲）	農商工連携や６次産業化に関するセミナーや研修会、異業種交流会などを実施	・ビジネススクール：11 事業者参加 ・アドバイザー派遣：15 件 ・商談会、研修会：７件開催	5,630

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	鳥獣害対策事業 ［農業振興課］	鳥獣害対策を行う農家や集落などに対する支援及び有害鳥獣駆除を実施。また、効果的な被害防止対策を研究	・集落ぐるみで行う柵の設置などへの補助 ・有害鳥獣駆除の支援・通年による駆除の実施 ・駆除・防除方法に関する調査研究 ・ＩＣＴを活用した効果的な捕獲の実証 ・集落獣害対策ベストマッチ事業による支援	231,474

Ｖ－１－（２）地域が支える“食と農”の推進

柱①地産地食の推進

柱②「農ある暮らし」の推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	地産地食の理解・環境づくり推進事業 ［農政企画課］	イベント等を通じた豊田産農産物の理解促進、農家と飲食店・小売店との交流会、地産地食応援店の拡大など	・農産物品評会の開催 ・スイーツフェアの開催 ・直売所スタンプラリーの開催 ・地産地食応援店連携イベントの開催 ・産業フェスタ農林マーケットの開催 ・ジビエ振興イベントの開催 ・生産地見学会の開催	27,031
②	農とのふれあい推進事業 ［農政企画課、農業振興課］	市民農園等の運営・開設支援のほか、農ライフ創生センターにおける初級農作物栽培技術研修や産地維持のための専門コースを開設	・市民農園開設者・運営者への支援 ・初級農作物栽培技術研修：３か所開講 ・桃梨専門コース開講 ・初級コース修了者 146 人、桃梨専門コース修了者１人	74,428

Ｖ－２－（１）100 年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進

柱①健全な人工林づくりの推進

柱②森の応援団の養成と共働の森づくりの推進

柱③森林整備に従事する担い手の確保

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	健全な人工林づくり事業 ［森林課］	手入れが遅れた人工林における強度間伐などの間伐促進及び効果的かつ効率的な人工林の整備手法を検討するためのモニタリング調査を実施	・人工林の間伐：1,498.35ha ・モニタリング調査の実施 間伐：25 か所 水源かん養機能：2 か所	532,980
①	地域森づくり会議推進事業 ［森林課］	地域森づくり会議設置及び森づくり団地計画策定の支援と団地化に対して奨励金を交付	・森づくり団地計画樹立：4,177.08ha	83,541
②	とよた森林学校事業 ［森林課］	山に入り間伐ができる人材と森林・林業を理解・支援する森の応援団を育成する講座を実施	・本講座の実施：48 講座 ・企画講座の実施：4 講座	64,921
③	森づくり担い手育成支援事業 ［森林課］	森づくり団地化推進員として森林組合が雇用する臨時職員の人件費の一部を補助	・森づくり団地化推進員 32 人分	71,033

Ｖ－２－（２）地域材の利用促進による林業の振興

柱①地域材の加工流通体制の構築

柱②地域材の需要喚起

柱③林業技術者等の育成支援

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	中核製材工場誘致事業 ［森林課］ （再掲）	製材工場の事業用地の造成及び原木の安定供給に向けた仕組みを構築	・造成、下水道工事 （2017 年度） ・舗装、附帯工事 （2017、2018 年度） ・下水道工事 （2018 年度） ・環境モニタリング調査 （2020 年度）	491,479
①	木材生産の低コスト化事業 ［森林課］	林業事業体又は森林所有者が実施する間伐材搬出路の開設及び作業道の新設等の経費の一部を補助	・搬出路の開設：145,452m ・作業道の開設：13,630m	265,683
③	現場技能者育成推進対策事業 ［森林課］	緑の研修生の研修費を助成	・緑の研修生：13 人 ・新規採用職員の育成：3 人	8,711

Ｖ－３－（１）将来に向けた産業集積の促進

柱①投資の受皿となる産業用地の創出

柱②将来に向けた投資の促進と誘導

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	花本産業団地拡張事業 ［産業労働課］ （再掲）	花本産業団地の隣接地約 5.3ha を産業用地として整備	・埋蔵文化財調査 （2017 年度） ・用地取得（2017 年度） ・造成工事 （2018～2020 年度） ・埋蔵文化財発掘調査報告書の作成（2018 年度） ・事業損失補償調査 （2018～2020 年度） ・現地説明会（2020 年度） ・応募受付開始 （2020 年度）	3,372,658

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	南部地域産業用地整備事業 ［産業労働課］ （再掲）	企業の立地ニーズの高い市の南部地域において産業用地を開発	・交通処理計画検討（2017 年） ・関係機関協議（2018～2020 年度）	18,345
②	企業立地奨励事業 ［産業労働課］ （再掲）	市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付	・旧条例に基づく奨励制度の運用（対象事業者の決定、交付決定、支払い） ・新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用（対象事業者の決定、交付決定、支払い） ・企業訪問や展示会出展等による制度ＰＲ	3,938,099

Ｖ－３－（２）ものづくり中小企業の新たな事業展開の促進

柱①新たな事業展開の創出の支援

柱②支援機関や支援施策の利用促進

柱③産学官金の連携による支援体制の充実

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	オープンイノベーション推進事業 ［次世代産業課］ （再掲）	開放特許と中小企業とのマッチングや異業種連携などにより、新たな事業展開の仕組みを提供	・開放特許マッチングプログラムの実施 ・自社製品開発講座の実施 ・経営研究会、IoT 研究会の月例開催（2017 年度は IoT 研究会発足プレセミナーとして開催） ・環境ビジネス研究会の月例開催（2017 年度）	24,178
①	ものづくりスタートアップ支援事業 ［次世代産業課］ （再掲）	新たな事業を生み出そうとする人が集まり、起業や新たな事業に取り組める場や機会を提供	・スタートアップ企業と中小企業とのマッチングプログラムの実施 ・ものづくり創造補助金の運用	79,572

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	ものづくり創造拠点整備・運営事業 ［次世代産業課］ （再掲）	ものづくりに関する機能を集約した中小企業の新たな事業展開などを支援する拠点を整備・運営	・本体工事（2017 年度） ・サイン・外溝工事（2017 年度）	289,199
③	ものづくり中核人材育成事業 ［次世代産業課］	基礎的な製造技術者教育から新たな事業展開を創出するイノベーション人材まで幅広いものづくり人材育成を実施	・ものづくり人材育成講座の開催：33 回 ・ものづくりミライ塾の開催	103,797
③	中小企業支援機関連携強化事業 ［次世代産業課、産業労働課］	産学官連携の支援機関であるとよたイノベーションセンターと金融機関等との連携強化により、中小企業の支援体制を充実	・事業承継研究会の開催 ・金融機関向け目利き講座の開催：9 回 ・3 者連携事業の開催：3 回 ・公的支援活用研修会の開催：2 回	80,941

Ｖ－４－（１）中心市街地のにぎわいの創出

柱①行ってみたくなる商業空間の創出

柱②歩き回りたくなる魅力の創出

柱③公共的空間の活用促進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	駐車場サービス一体管理システム整備事業 ［商業観光課］	新たなフリーパーキングシステムを導入し、駐車場利用の平準化や一体管理による効率化を推進	・「フリーパーキング・プラス」の継続	266,626
③	まちなか広場空間活用促進事業 ［商業観光課］ （再掲）	公共的空間の活用により、まちなかのにぎわいを推進	・ペデストリアンデッキ広場にて長期飲食事業を実施 ・あそべるとよた DAYS をまちなか広場７か所で実施 実施件数： 405 件（2019 年度） 381 件（2020 年度）	48,561

Ｖ－４－（２）地域特性に応じた商業環境の整備
柱①地域コミュニティを担う商業機能の強化
柱②満足感ある生活ができる商業環境の整備

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	商店街等事業機会拡大事業 ［商業観光課］	商店街などが取り組む、繁盛店づくりや商店街のリーダー育成、創業支援などに対する補助	・補助事業 24 件（11 団体） （2017 年度） 30 件（10 団体） （2018 年度） 31 件（11 団体） （2019 年度） 24 件（10 団体） （2020 年度） ・人材育成セミナー 6 回開催（4 団体） （2017 年度） 10 回開催（4 団体） （2018 年度） 5 回開催（3 団体） （2019 年度） 1 回開催（1 団体） （2020 年度）	46,531

Ｖ－５－（１）多様な地域資源を生かした観光産業の振興
柱①戦略的観光マーケティングの導入・促進
柱②観光産業を支える人材の育成

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	観光マーケティング推進事業 ［商業観光課］ （再掲）	一般社団法人ツーリズムとよたの運営を支援し、観光の産業化を推進	・短期経営計画 2018-2020 年の最終年度である 2020 年度は事業の総仕上げとその評価、次期経営計画の策定について確認した。 ・ツーリズムとよたと連携してマーケティング調査を継続実施。2020 年度の宿泊動向調査では、コロナの影響を吸い上げるため１期毎にトピックスを変え市内ホテルから回答を回収した。 ・愛知県の広域連携事業「愛知･名古屋観光誘客協議会」においては役割分担をおこない同法人と共同で取組み、WEB を活用したプロモーションやクーポン割引による誘客及び消費の促進をおこなった。	474,634

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
① ②	インバウンド推進事業 ［商業観光課］ （再掲）	多言語化や情報通信環境の整備と、外国人を対象とした戦略的なプロモーションを展開	・豊田市観光実践計画2018-2020を策定し、取組の柱として「おもてなし環境の整備」掲げ、3年間で進める事業を明確化 （2017 年度） ・ツーリズムとよたによる海外誘客プロモーションの実施 （2017、2018年度） ・各種観光情報ツールの多言語化 （2017、2018年度） ・観光案内看板の多言語化、宿泊施設のトイレ洋式化支援、観光地の公共施設のトイレ洋式化等のハード整備（2018、2019年） ・ツーリズムとよた公式HPにおいて多言語対応の観光スポットページ 107件を追加。ラグビーワールドカップ特設ページ及び「OH!MOTENASHI」特設ページを新設 （2019年度） ・豊田市観光実践計画2021-2024を策定し、取組の柱として「受入環境整備と人材育成」を掲げ、3年間で進める事業を明確化（2020年度）	53,466

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	とよたまちさとミライ塾事業 ［商業観光課］ （再掲）	地域資源を活用した体験プログラムを集めた「とよたまちさとミライ塾」を通じて、観光商品の開発及び人材を育成	（2019 年度） ・48 個の体験プログラムを開催し、583 名が参加 ・45 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数が昨年より 1,214 人増加 （2018 年度） ・81 個の体験プログラムを開催し、1,324 名が参加 ・75 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数が昨年より 149 人増加 （2017 年度） ・86 個の体験プログラムを開催し、1,755 名が参加 ・73 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数ガ昨年より 682 人増加 （2016 年度） ・106 個の体験プログラムを開催し 3,245 名が参加 ・94 団体のパートナーがプログラムを作成	20,939

Ｖ－５－（２）地域資源を生かしたまちづくりの推進
柱①地域資源の発掘と磨き上げの促進
柱②地域資源を支える基盤の拡充

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	とよたまちさとミライ塾事業 ［商業観光課］ （再掲）	地域資源を活用した体験プログラムを集めた「とよたまちさとミライ塾」を通じて、観光商品の開発及び人材を育成	（2019 年度） ・48 個の体験プログラムを開催し、583 名が参加 ・45 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数が昨年より 1,214 人増加 （2018 年度） ・81 個の体験プログラムを開催し、1,324 名が参加 ・75 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数が昨年より 149 人増加 （2017 年度） ・86 個の体験プログラムを開催し、1,755 名が参加 ・73 団体のパートナーがプログラムを作成 ・ウェブサイト会員登録数ガ昨年より 682 人増加 （2016 年度） ・106 個の体験プログラムを開催し 3,245 名が参加 ・94 団体のパートナーがプログラムを作成	20,939

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	わくわく事業 ［地域支援課］	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助	・市内28地域で1,115事業を採択 ・高年大学受講者、地域コーディネーター（包括支援センター職員）に周知 ・わくわく事業活動事例集を作成 ・わくわく交流会を開催 ・関係各所にチラシ配布	336,254
①	足助地域核エリア再生事業 ［足助支所］	持続可能な地域への転換に向け、地域に根差した事業の創出を通じて、地域の担い手の確保と育成や必要な仕組みづくりを実施	・エリア内の活用可能な民間不動産の発掘調査（2018年度） ・住民等向け「足助まちづくり講演会」の開催：3回（2018年度） 参加延べ人数：252人 ・スクール等の開催：6回（2019～2020年度） 参加延べ人数:レクチャー視聴206人、ワーク145人 ・スクール等から動き出した民間事業への支援（2019～2020年度）	44,154
②	四季の回廊ミュージアム構想推進事業 ［小原支所］	川見四季桜の里さくら山遊歩道整備や鳥屋平工房跡地の保全整備を行うことによって、観光・交流を促進し、地域を活性化	・基本設計（さくら山遊歩道）（2017年度） ・測量設計（鳥屋平工房跡地）（2017年度） ・詳細設計（さくら山遊歩道）（2018年度） ・用地確定測量（さくら山遊歩道）（2019年度） ・進入路等整備工事（鳥屋平工房跡地）（2019～2020年度）整備完了 ・進入路境界杭復元測量（鳥屋平工房跡地）（2020年度）	52,228

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	道の駅どんぐりの里いなぶ整備事業 ［稲武支所］ （再掲）	交通結節点の整備やどんぐり横丁のリニューアルなど、どんぐりの里いなぶの再整備を実施し、観光客や周辺住民の利便性を向上	【どんぐり横丁】 増改築設計（2019 年度） キャノピー等設計、仮設店舗営業準備、イベント広場用地取得（2020 年度） 【交通結節点】 整備工事、駐輪場等設計（2017 年度） カーポート設置工事、駐輪場等工事（2018 年度） 【多目的広場】 整備工事、歩道設置設計（2018 年度） 歩道用地取得、歩道設置工事（2019 年度）	219,416
②	香嵐渓整備事業 ［足助支所］	植樹から 100 年を迎えようとするモミジの再整備や香嵐渓の景観を維持向上させるための仕組みづくり	・樹木診断調査 （2017～2018 年度） ・100 年プロジェクトワーキング実施 （2019～2020 年度） 実施回数：5 回 参加延べ人数：84 名 ・飯盛山山頂整備の実施 （2020 年度） ・香嵐渓産間伐材活用パートナーシップ事業開始 （2020 年度） ・愛知県による落石対策工事の実施（2020 年度）	54,912
②	旭高原元気村再生事業 ［旭支所］	野営場の駐車場及び公衆便所の整備により、利用客の受け入れ態勢を強化	駐車場整備 64 台（2017 年度） 34 台（2018 年度） 公衆便所の新築 （2019 年度）	172,758

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	公共施設等バリアフリー化推進事業 ［企画課、他］ （再掲）	公共施設等におけるトイレの洋式化やエレベーターの設置等によるバリアフリー化を推進	・改修設計：11 施設 ・改修工事：51 施設	659,859

Ｖ－５－（３）都市と山村が強みを生かし支え合う交流の促進

柱①都市と山村の資源とニーズのコーディネートの推進

柱②山村地域における生業創出の推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	交流コーディネート事業 ［企画課］ （再掲）	おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部の交流をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信	・交流のコーディネート及び活動の支援 ・SNS 等による情報発信	108,062
②	いなか暮らしコーディネート事業 ［企画課］ （再掲）	おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進	・移住総合窓口の運営 ・いなか暮らし博覧会 ・移住ＰＲ冊子「脈々と」（2017 年度） ・人材育成事業（ミライの職業訓練校、大学インターン）（2018 年度） ・空き家片づけ大作戦（2019 年度） ・「家主さんの悩みを解決！空き家活用のススメ」と題し動画の制作と配信（2020 年度） ・とよたでつながるローカルメディア縁側の運営（2020 年度）	38,340

Ｖ－６－（１）多様な働き方と働く場の創出
柱①企業の働き方改革の促進
柱②働きたい人の就労可能性の拡大

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	働き方改革推進事業 ［産業労働課］ （再掲）	企業経営者への働きやすい職場の環境改善に関する意識啓発や改善に取り組む企業へのアドバイザー派遣、市民への意識啓発を実施	・経営層向けセミナー参加延べ人数：1,559 人 ・アドバイザーの養成、派遣延べ件数：146 件（2017～2018 年度） ・優良事業所表彰延べ応募件数：74 件 ・組織改善のための階層別研修（2018～2019 年度） ・テレワーク導入支援補助金の創設（2020 年度）	39,790
②	就労支援事業 ［産業労働課］ （再掲）	若者や外国人、中高年齢者など多様な人材が活躍できるよう未就労者等に対するスキルアップ支援やマッチングを実施	・(若年者) 就活セミナー、キャリアカウンセリング参加延べ人数：913 人 ・企業研究イベント参加延べ人数：249 人（2019 年度はコロナ禍で開催中止） ・市内就職啓発 PR 冊子作成（2018 年度～） ・高校生対象ハイブリッド型中小企業魅力発信事業 （2020 年度）	49,527
②	女性の「働く」推進事業 ［産業労働課］ （再掲）	出産・子育てをきっかけに離職した女性等を対象に、就労意識の向上を図るとともに、就労支援や起業支援などを実施	・女性しごとテラスの開設（2017 年度） 延べ就職決定件数 299 件 延べ相談件数 2,563 件 ・再就労支援プログラムの実施（2017～2019 年度） ・女性起業支援事業参加人数：45 人	212,855

Ⅵ　環境

Ⅵ－１－（１）低炭素社会を実現する環境モデル都市の推進

柱①暮らしの低炭素化の推進

柱②再生可能エネルギーの普及促進

柱③広域連携と民産学官連携による取組の加速化

柱④環境先進のまちの情報発信の充実

柱⑤森林吸収源対策の推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	スマートハウス普及促進事業 ［環境政策課］	太陽光発電システム、ＨＥＭＳ、蓄電池、次世代自動車等の導入に対する支援を行い、豊田市版スマートハウスの普及を促進	補助支援件数 ・太陽光発電システム（単体）：169 件 ・HEMS：784 件 ・蓄電池：1,307 件 ・燃料電池：569 件 ・次世代自動車：845 件 ・スマートハウス（一体的導入）：273 件 ・エコ窓：30 件	436,907
①	スマートタウン整備支援事業 ［未来都市推進課］ （再掲）	住宅地に適した売却市有地等を活用し、スマートタウン整備を促進	・売却市有地を活用したスマートタウン（柿本町）へのガイドツアーの実施（2017 年度） ・開発適地の情報収集（2018 年度）	0
②	地域エネルギー活用モデルの構築事業 ［未来都市推進課］	環境負荷の少ない再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、エネルギーの地産地消モデルを構築	・地域電気事業を活用した民間主導の地域サービス事業の実証開始（2019 年） ・豊田市所有施設で発電した再生可能エネルギーの有効活用（2020 年）	3,521
③	環境先進技術実証支援事業 ［未来都市推進課］ （再掲）	環境・エネルギー分野を始めとした地域課題の解決に向けて、先進技術を活用した実証・実装事業を企業や大学等と連携して推進	・新規実証事業：36 件 ・新規実装事業：10 件 ・未来都市研究会にて、50 年後のビジョンの策定（2018 年度）	20,922

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	首長誓約による環境取組推進事業 ［環境政策課］	首長誓約に基づく広域連携により、エネルギーの地産地消、温室効果ガスの大幅削減、気候変動への適応に関する取組を推進	・クールシェアなど民間連携事業（4 回） ・省エネ相談事業（4 回） ・スマートハウス普及促進事業（4 回） ・次世代自動車普及事業（4 回）	3,606
④	環境先進都市プロモーション事業 ［未来都市推進課］ （再掲）	市民や企業に低炭素な暮らしを浸透させ、市外にも本市の取組をＰＲするため、とよたエコフルタウンを活用して環境先進技術を発信	・超小型電気自動車を活用した実証事業の実施（2017 年度） ・ガイドツアー、PR イベント等の開催（2017～2020 年度） ・RWC 事前イベントを活用した実証事業の PR を実施（2018 年度） ・エコフルタウンのリニューアルを実施（2018 年度）	591,798

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
④	環境分野における国際連携推進事業 ［未来都市推進課］	環境分野の先進性を生かし、国連等の国際機関や他都市と連携しながら環境・エネルギー分野における取組を推進	・UNCRD と SDGs をテーマにしたシンポジウムを開催（2017 年度） ・国際会議に参加：2 件（2017 年度） （中国：国連 HABITAT 主催、マレーシア：スマートシティ会議）（2017 年度） ・「SDG s 推進研修」受入れ、「とよたビジネスフェア」において UNCRD との連携（2018 年度） ・EU 都市間連携プロジェクト（グルノーブル・アルプ都市圏）始動（2018 年度） ・インドネシアバンドン市と「スマートシティの計画に向けた連携に関する覚書」（MoU）を締結（2019 年度） ・UNCRD と共催で SDG s 国際会議「”Think SDGs2021” International Conference in Toyota」を開催（2020 年度）	23,202
⑤	健全な人工林づくり事業 ［森林課］ （再掲）	手入れが遅れた人工林における強度間伐などの間伐促進及び効果的かつ効率的な人工林の整備手法を検討するためのモニタリング調査を実施	・人工林の間伐：1,498.35ha ・モニタリング調査の実施 間伐：25 か所 水源かん養機能：2 か所	532,980

Ⅵ－２－（１）廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進

柱①将来を見据えたごみ処理体制の確保

柱②減量化・資源化の促進

柱③廃棄物の適正処理の推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	グリーン・クリーンふじの丘第２期整備事業 ［ごみ減量推進課］	良好な公衆衛生を維持するため、最終処分場を整備し、ごみ埋立容量を確保	・第 2 期整備に係る基礎調査実施 ・第 1 期埋立区域の変更手続き実施	3,240
②	粗大ごみの再生施設「リユース工房」事業 ［ごみ減量推進課］	再使用可能な粗大ごみの修復・清掃、展示販売により、物を長く使う、繰り返し使う意識を啓発	・リユース家具の入札：毎月 ・出張リユース工房の実施：10 回	17,583
②	リサイクルステーション整備事業 ［ごみ減量推進課］	市民のリサイクル活動を促進するため、リサイクルステーションの整備により利便性を向上	・リサイクルステーション新設工事、開設（貝津町） ・リサイクルステーション移転設計、工事（四郷町） ・リサイクルステーション閉鎖・解体（東梅坪町）	100,622
③	航空写真を解析した不法投棄等調査・指導事業 ［廃棄物対策課］	市内全域の不法投棄等を航空写真の解析により早期発見し、現地調査・是正指導を実施	・不適正処理が疑われる箇所の現地調査:4,653 地点 ・不適正処理の発見：53 地点	11,924
③	排出事業者への戸別訪問指導事業 ［廃棄物対策課］	事業者の適正な廃棄物処理の理解を促進するため、市内全事業所を対象に戸別訪問指導を実施	・戸別訪問指導：1,814 件実施	18,883

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	市民との共働による不法投棄監視活動事業 ［清掃業務課］	市民・企業ボランティアである不法投棄パトロール隊との共働により不法投棄を早期発見・回収し、新たな不法投棄を監視及び抑止	・不法投棄パトロール隊登録団体数：201 団体 ・不法投棄パトロールの実績：12,475 回	20,955

Ⅵ－３－（１）暮らしを豊かにする生物多様性の保全

柱①豊かな自然の把握と市民理解の促進

柱②自然との触れ合いを通じた地域づくりの推進

柱③貴重な湿地と多様な水辺の保全

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	河畔環境整備支援事業 ［矢作川研究所］	河畔環境保全活動を行う水辺愛護会などの市民団体が、持続的かつ自発的な活動が展開できるよう支援	・作業用道路修繕 ・ホームページの構築 ・探訪マップの作成 ・川辺づくりガイドブック（草地編）の作成 ・管理・活動計画図の作成（4 団体）	10,216
②	ふるさとの川づくり事業 ［矢作川研究所］	地域住民の手による身近な小川の自然再生を通して地域の自然への愛着を醸成し、市民と共働で守り続ける自然豊かな川づくりを実施	・浚渫工事（岩本川） ・地域住民による川づくりへの支援（岩本川、広沢川）	21,474

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	ラムサール湿地保全活用事業 ［環境政策課］	中心市街地近郊で希少種が生息・生育する貴重なラムサール条約湿地を地元保全団体と共働で保全し、環境学習の場としても活用	・保全活動： 71 回実施／4 年 ・定期観察会： 9 回実施／年 ・学校を対象とした体験プログラム 3 プログラム／年	30,353

Ⅵ－４－（１）持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進

柱①環境学習の充実

柱②市民と事業者による環境配慮行動の促進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	エコットを拠点とした暮らしの環境学習事業 ［環境政策課］	環境学習施設「エコット」を拠点に、小学生を中心に省エネやごみのリサイクルなど身近な生活環境に関する学習を実施	・学校対象プログラム:47 プログラム実施／4 年 ・エコライフ講座:167 講座実施／4 年 ・インタープリター育成講座：15 講座実施／4 年	198,648
①	自然観察の森を拠点とした自然環境学習事業 ［環境政策課］	環境学習施設「自然観察の森」を拠点に、小学生を中心に里山や湿地をフィールドとした自然体験など自然環境に関する学習を実施	・学校を対象としたプログラム数：27 プログラム実施／年 ・定期観察会:148 講座実施／4 年 ・ボランティア養成講座：25 講座実施／4 年	423,858

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	協定協議会による環境取組の推進事業 ［環境保全課］	企業との連携により、事業者用環境教育教材の作成、市民・事業者の環境取組の相互理解を深める地域懇談会などを促進	・事業者向けセミナー３回の開催 参加延べ人数 261 人 （2017～2019 年度） ・事業者向け環境教育用教材 「水質・地下水・土壌」、「化学物質等」の作成 （2017 年度） 「大気汚染･悪臭」､「騒音･振動」の改訂 （2020 年度） ・市民向けエコツアー２回の開催 参加延べ人数 102 人 （2017～2018 年度） ・市民向けエコ企業見学・環境学習会２回の開催 参加延べ人数 95 人 （2019～2020 年度） ・市民向けエコ企業ガイドブック作成（2017 年度）、改訂（2018 年度） ・ホームページ改修 （2018 年度） ・とよた産業フェスタ出展３回 ブース入場延べ人数約 2,650 人 （2017～2019 年度）	8,486

Ⅶ　都市整備

Ⅶ－１－（１）にぎわいのある魅力的な都心の形成

柱①新たな交流拠点の形成

柱②情報提供機能の充実

柱③水と緑につつまれた都心の形成

柱④快適な回遊空間の形成

柱⑤快適で利便性の高い公共交通基盤の形成

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業 ［都市整備課］ （再掲）	豊田市駅前に整備するシネマコンプレックスや商業施設等により、新たなにぎわいを創出	・豊田市駅前通り北地区市街地再開発の整備 （2017～2018 年度） ・豊田市駅東口ペデストリアンデッキ延伸整備 （2017～2019 年度）	5,209,909
①	豊田市駅東口駅前・まちなか広場整備事業 ［都市整備課］	一般車等の交通動線を整理するとともに、人が滞留できる空間を整備することにより、回遊性を高め、にぎわいを創出	・豊田市駅東口まちなか広場の整備	487,225
②	都心地区サイン施設再整備事業 ［都市整備課］ （再掲）	既存サイン施設の情報更新や新規サイン施設の設置を行い、来街者の回遊性や利便性を向上	・サイン設置：29 基 （2017～2019 年度）	75,231
②	まちなか総合案内機能整備事業 ［商業観光課］ （再掲）	豊田市駅周辺に情報拠点を設置して、まちなか情報や観光情報などのインフォメーション機能を充実	・「エヌロク」を継続運営	0

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	緑と花につつまれた都心創出事業 ［公園緑地つくる課］	スタジアムアベニューを中心に緑や花を充実させ、うるおいを創出するとともに、環境モデル都市にふさわしい景観を形成	・緑化施設設置検討 （2017 年度） ・スタジアムアベニュー植栽工事（2018 年度） ・都心緑化モデル施設製作、実証設置（2019 年度） ・都心緑化モデル設置 （2020 年度）	55,818
③	民有地緑化促進事業 ［公園緑地つかう課］	市民や事業者との共働により民有地の緑化を促進し、うるおいをもたらす緑あふれる空間を創出	・みどりのまちづくり推進事業補助金：14 件 (2,783.9 ㎡)	28,550
③	矢作川水辺プロジェクト事業 ［公園緑地つかう課］	矢作川の水辺空間の活用を推進するとともに、水辺とまちが一体となった魅力ある空間づくりを実施	・水辺空間の活用計画検討 （2017 年度） ・基本設計（2017 年度） ・矢作川コアエリア（白浜・千石公園）の詳細設計 （2018 年度） ・白浜公園再整備完了 （2019 年度） ・千石公園再整備完了 （2020 年度）	660,985
④	新豊田駅東口駅前広場整備事業 ［都市整備課］	駅前広場の再整備により、駅周辺の円滑な交通を確保するとともに、広場活用の推進により、にぎわいを創出	・新豊田駅東口駅前広場（交通広場・新とよパーク）の整備 （2017～2020 年度）	160,171
④	豊田市停車場線歩行者専用化試行取組事業 ［都市整備課］ （再掲）	豊田市駅前の道路で歩行者空間としての利活用を実験的に行い、にぎわいの創出を検証	・歩行者空間としての実証実験の企画・検討 （2017～2019 年度） ・交通影響調査等 （2017～2020 年度）	104,939

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
④	市道西町若宮線整備事業 ［都市整備課］	道路の一部拡幅整備等により、歩行者が安全で快適に移動できる環境を計画	・測量・予備設計 （2018 年度） ・電線共同溝設計・用地調査（2019～2020 年度） ・物件調査（2020 年度）	32,915
④	公共施設等バリアフリー化推進事業 ［企画課、他］ （再掲）	公共施設等におけるトイレの洋式化やエレベーターの設置等によるバリアフリー化を推進	・改修設計：11 施設 ・改修工事：51 施設	659,859
⑤	豊田市駅西口バスターミナル整備事業 ［都市整備課］	バス乗降場所を豊田市駅西口に集約することにより、公共交通利用者の利便性の向上を図るとともに、快適な待合環境等の確保を計画	・予備設計（2017 年度） ・詳細設計 （2018～2020 年度）	41,611
⑤	豊田市駅整備事業 ［都市整備課］	豊田市駅の利便性や快適性の向上により、都心のにぎわいを創出するため、駅舎の改修を計画	・構造検討 （2018～2019 年度）	51,674

Ⅶ－１－（２）利便性の高い市街地の形成

柱①主要な鉄道駅周辺地区等での良好な市街地の形成

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	土地区画整理事業（花園、寺部、土橋、平戸橋、浄水特定、四郷駅周辺） ［市街地整備課、区画整理支援課］ （再掲）	宅地や公共施設の計画的な配置と整備により、住みよい良好な住環境を創出	道路築造工事、宅地造成工事 （2017～2020 年度）	31,559,091
①	無電柱化事業 ［都市整備課］ （再掲）	電線類を地中化することで、災害時における電柱の倒壊による被害を軽減し、避難路の確保及び電力・通信サービス等の安定供給を確保	・無電柱化整備:17.2ｋｍ	208,406
①	老朽空き家解体費補助事業 ［定住促進課］	個人所有で１年以上使用のない老朽化した空き家の解体費を一部補助し、良好な住環境の形成を支援	・老朽空き家の除却費補助：６件	1,200

Ⅶ－１－（３）多様なニーズに応える市街地定住の促進

柱①市街地における住宅・宅地の供給と取得支援の推進

柱②主要な鉄道駅周辺地区等での新たな宅地の供給

柱③定住意欲を高める情報発信の充実

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	多世代同居・近居促進事業 ［定住促進課］ （再掲）	定住や子育て、高齢者の見守りなど家族形成期及び高齢世代が抱えるニーズに応えるため、世代間で支え合う同居・近居を促進	・関連情報の発信 （2018～2020 年度）	0
①	住宅団地整備支援事業 ［定住促進課］	市街化区域内における宅地開発に際し、適切な規模の公園、道路等の整備費の一部を補助することにより、良好な住宅地の整備を促進	・開発事業者に対する整備費補助：43 宅地分	21,500
①	市営樹木住宅建替事業 ［定住促進課］	住宅確保要配慮者に低廉な家賃の住宅を供給しつつ、家族形成期世代の市内における居住を支援するモデル的な取組を実施	・建築工事（2017 年度）を実施し、完了	624,539
①	市営松平志賀・岩倉住宅再編建替事業 ［定住促進課］	住宅確保要配慮者に低廉な家賃の住宅を供給しつつ、民間事業者による余剰地を活用した住宅、宅地供給を促進	・建替えのモデルプラン作成（2018 年度） ・移転調整（2019 年度） ・建築工事（2020 年度）を実施し、完了	689,456

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	駅周辺における住宅供給促進事業 ［都市整備課］ （再掲）	駅周辺における宅地の共同化・高度利用化を目的とした優良な建築物の整備に対して、各種費用の一部を補助し、定住を促進	・三河豊田駅前地区の地盤調査を支援（2020 年度）	2,600
②	土地区画整理事業（花園、寺部、土橋、平戸橋、浄水特定、四郷駅周辺） ［市街地整備課、区画整理支援課］ （再掲）	宅地や公共施設の計画的な配置と整備により、住みよい良好な住環境を創出	道路築造工事、宅地造成工事 （2017～2020 年度）	31,559,091
③	定住促進プロモーション事業 ［定住促進課］ （再掲）	定住促進プロモーション「ファースト暮らすとよた」を通じて、市内外の家族形成期世代へ豊田市の魅力や住みやすさのＰＲを実施	・PR 冊子の作成・配布：80,000 冊 （2017～2020 年度） ・ウェブサイト閲覧数：134,471 件 （2017～2020 年度） ・PR 動画の作成・放映 （2017～2020 年度） ・市内外のイベント等でのプロモーション活動 （2017～2020 年度） ・複数のマスメディアを活用したプロモーション活動（2018～2020 年度） ・主要駅でのポスター広告（2018 年度） ・市販誌「豊田市デイズ」の創刊・記事掲載 （2018～2020 年度） ・WEB 広告による情報拡散（2018～2020 年度） ・ウェブサイトの改修 （2020 年度）	54,920

Ⅶ－１－（４）山村地域等における生活環境の維持・確保

柱①山村地域等における住宅・宅地の供給

柱②山村地域等への移住促進支援

柱③山村地域等の暮らしを支える地域核の形成

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	２戸２戸作戦推進事業 ［地域支援課］	山村地域で小規模宅地分譲を行い、地域住民と移住希望者のマッチングを行いつつ定住を進めることで、住みよいいなか暮らしを実現	・下山地区において、２区画の整備を実施し宅地分譲を行った。	2,838
①	空き家情報バンク事業 ［地域支援課］ （再掲）	空き家情報バンクに登録された山村地域等の空き家と移住希望者のマッチングを行い、移住の促進を通じて持続可能な地域社会を構築	・空き家情報バンク、空き家関連補助金の運用 ・空き家所有者へ物件登録の啓発 ・移住希望者への情報提供 ・補助支援パンフレットの作成・更新 ・移住・定住イベントの開催 ・空き家を使った起業の支援	71,455
②	いなか暮らしコーディネート事業 ［企画課］ （再掲）	おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進	・移住総合窓口の運営 ・いなか暮らし博覧会 ・移住ＰＲ冊子「脈々と」（2017 年度） ・人材育成事業（ミライの職業訓練校、大学インターン）（2018 年度） ・空き家片づけ大作戦（2019 年度） ・「家主さんの悩みを解決！空き家活用のススメ」と題し動画の制作と配信（2020 年度） ・とよたでつながるローカルメディア縁側の運営（2020 年度）	38,340

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	定住者の住宅・宅地取得支援事業 ［定住促進課］	山村地域等への定住者に住宅・宅地の取得費用の一部を補助し、地域コミュニティの維持と地域づくりを支援	・住宅・宅地の取得に対する補助：286 件	231,505
③	藤岡地区地域核整備事業 ［藤岡支所］ （再掲）	支所・交流館の合築による建替えやバスターミナルの整備等による行政サービスの充実と公共交通の安全性・利便性の向上を通じて、地域のにぎわいを創出	・藤岡田中二反田線道路改良工事詳細設計（2017 年） ・藤岡支所・藤岡交流館改築工事（2017～2018 年） ・藤岡支所旧庁舎解体工事（2019 年） ・藤岡支所・藤岡交流館外構整備工事（2019 年） ・藤岡田中二反田線道路改良工事（2020 年～）	1,497,142
③	足助地域核エリア再生事業 ［足助支所］ （再掲）	持続可能な地域への転換に向け、地域に根差した事業の創出を通じて、地域の担い手の確保と育成や必要な仕組みづくりを実施	・エリア内の活用可能な民間不動産の発掘調査（2018 年度） ・住民等向け「足助まちづくり講演会」の開催：3 回（2018 年度） 参加延べ人数：252 人 ・スクール等の開催：6 回（2019～2020 年度） 参加延べ人数:レクチャー視聴 206 人、ワーク 145 人 ・スクール等から動き出した民間事業への支援（2019～2020 年度）	44,154

Ⅶ－１－（５）憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出

柱①市民の憩いの空間の確保

柱②緑あふれる快適な住環境の形成

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	身近な公園整備事業 ［公園緑地つくる課］	歩いて行くことのできる身近な公園の整備を進め、市民のコミュニケーションやレクリエーション、憩いの場を確保	・南平公園、平芝坂の上公園整備完了（2017 年度） ・宮上南公園、竹元公園整備完了（2018 年度） ・中根公園整備完了（2019 年度） ・柿本公園、井上 10 丁目公園整備完了（2020 年度）	681,621
①	中央公園第二期整備事業 ［公園緑地つくる課］	誰もが憩うことのできる快適な空間を創出するとともに、中心市街地や豊田スタジアムとも連携して多世代が交流できる空間を創出	・基本計画の検討（2017 年度） ・市民ワークショップを踏まえた基本計画案の作成（2018 年度） ・基本設計（2019 年度） ・都市計画決定、農振除外（2020 年度）	124,321
①	鞍ケ池公園民間活力導入事業 ［公園緑地つかう課］	人と自然がふれあう公園で、美しい自然景観、既存施設を有効活用しつつ、民間活力で新しい魅力あるミライ空間づかいを実現	キャンプフィールド提案を始めとする民間活力導入事業を公募、事業者決定、提案事業の整備。このうちサービスセンター整備を完了。	27,000
②	民有地緑化促進事業 ［公園緑地つかう課］ （再掲）	市民や事業者との共働により民有地の緑化を促進し、うるおいをもたらす緑あふれる空間を創出	・みどりのまちづくり推進事業補助金：14 件（2,783.9 ㎡）	28,550

Ⅶ－２－（１）生活・産業を支える道路ネットワークの形成

柱①物流ネットワークの強化

柱②高規格幹線道路へのアクセス性の向上

柱③渋滞対策の推進

柱④鉄道駅へのアクセス性の向上

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	高橋細谷線整備事業 ［街路課］ （再掲）	主要産業施設等へのアクセス機能の拡充を図るとともに、市民が安全で快適に移動できる道路環境を確保	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事 （2017～2020 年度）	8,539,149
①	平戸橋土橋線整備事業 ［街路課］	豊田北バイパスの整備に合わせて事業を推進し、交通の円滑化やバイパスへのアクセス性向上を確保	・調査設計（2017 年度） ・用地取得 （2017～2018 年度） ・工事 （2017～2019 年度） 整備完了	316,016
①	豊田刈谷線整備事業 ［街路課］ （再掲）	都市間交流を支える幹線道路として事業を推進し、交通の円滑化や物流の効率化を確保	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事（2020 年度）	825,144
①	浄水駅北通り線ほか１路線整備事業 ［街路課］	豊田北バイパスの整備に合わせて事業を推進し、交通の円滑化やバイパスへのアクセス性向上を確保	・調査設計 （2017～2018 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事（2019 年度）	197,174
①	豊田南バイパス関連市道整備事業 ［幹線道路推進課］ （再掲）	豊田南バイパスの整備に合わせて地区内の市道を整備することにより、地域住民の利便性と安全性を向上	・調査設計 （2017～2019 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事 （2017～2020 年度）	478,041

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	豊田北バイパス関連市道整備事業 ［幹線道路推進課］ （再掲）	豊田北バイパスの整備に合わせて地区内の市道を整備することにより、地域住民の利便性と安全性を向上	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事 （2017～2020 年度）	1,465,965
①	県道宮上知立線関連市道整備事業 ［幹線道路推進課］	県道宮上知立線（豊田刈谷線）のバイパス整備に合わせて地区内の市道を整備することにより、地域住民の利便性と安全性を向上	・工事 （2017、2019 年度） ・調査設計 （2018～2019 年度）	213,351
①	国道３０１号関連市道整備事業 ［土木課］	国道 301 号松平バイパスの事業進捗に合わせて市道整備を行い、地域住民の利便性と安全性を向上	・用地取得 （2017、2018 年度） ・工事（2018 年度） ・工事負担金（愛知県施工分）（2018 年度） ・工事（2019 年度） ・用地取得（2020 年度） ・工事（2020 年度）	245,288
②	豊田上郷スマートインターチェンジ整備事業 ［幹線道路推進課］	快適な移動環境の確保と効率的な産業活動の支援のため、豊田上郷サービスエリアにスマートインターチェンジを整備	・用地取得 （2017～2020 年度） ・調査設計 （2018～2020 年度） ・工事 （2018～2020 年度） 整備完了	2,587,877

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	国道４１９号迫八反田交差点関連市道整備事業 ［土木課］	渋滞対策を目的とした国道 419 号の交差点改良事業に合わせ、地域住民の利便性と安全性の向上のため周辺市道の付替え整備を実施	・詳細設計（2017 年度） ・用地取得 （2017、2018 年度） ・工事 （2018～2019 年度） ・工事負担金（愛知県施工分）（2019～2020 年度）	145,529
④	花園八橋線整備事業 ［街路課］	三河八橋駅へのアクセス性の向上を図るとともに、地域交通の円滑化と歩行者・自転車が安全で快適に移動できる道路環境を確保	・調査設計 （2017～2018 年度） ・用地取得（2017 年度） ・工事 （2017～2018 年度） 整備完了	567,587
④	若林駅前線整備事業 ［街路課］	若林駅周辺の交通の円滑化や若林駅へのアクセス性向上のため、若林駅付近連続立体交差事業に合わせ用地取得を実施	・用地取得 （2017～2020 年度）	112,872
④	若林東西線整備事業 ［街路課］	若林駅周辺の交通の円滑化や若林駅へのアクセス性向上のため、若林駅付近連続立体交差事業に合わせ用地取得を実施	・用地取得 （2017～2020 年度）	948

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
④	西岡吉原線整備事業 ［街路課］	若林駅へのアクセス性の向上を図るとともに、地域間交通の円滑化と歩行者・自転車が安全で快適に移動できる道路環境を確保	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事（2020 年度）	516,984
④	越戸駅前広場整備事業 ［街路課］	（都）越戸停車場線事業に合わせて駅前広場整備を行い、越戸駅へのアクセス性や利便性を向上	・調査設計（2017 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度）	11,967

Ⅶ－２－（２）利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成
柱①鉄道による名古屋市とのアクセス機能強化
柱②バス交通の質の向上

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	若林駅付近連続立体交差事業 ［街路課］ （再掲）	若林駅付近の鉄道の高架化と側道整備により、周辺住民の快適な移動環境を確保	・調査設計 （2017～2020 年度） ・用地取得 （2017～2020 年度） ・工事 （2019～2020 年度）	2,912,809
②	バス停待合機能等整備事業 ［交通政策課］ （再掲）	おいでんバス路線のバス待合環境や交通結節点の整備により、快適なバスの利用環境を形成	・豊田市駅東口バスのりばに「レストえきまえ」を整備	2,500
②	基幹バス運行事業 ［交通政策課］ （再掲）	市中心部や各地区を結ぶおいでんバスを効率的に運行し、鉄道がない地域での広域的な移動手段を確保	・おいでんバスの運行 （12 路線）	2,550,739

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	地域内移動手段確保事業（旧：地域バス運行事業） ［交通政策課］ （再掲）	地域住民と市の共働により地域内を走るバスを運行し、地域特性や需要に応じた交通サービスを提供	・地域バスの運行 ・地域タクシーの運行開始 （2018 年度～） ・次世代デマンドシステムの導入：1 地区 （2018 年度～）	1,525,256

Ⅶ－２－（３）人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進

柱①先進技術を活用した安全で快適な交通まちづくり

柱②人と環境にやさしい交通社会の形成

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	中心市街地駐車場情報提供機能整備事業 ［交通政策課］	ＩＴＳ技術を活用した都心駐車場の誘導板を更新し、混雑状況等を分かりやすく提供することで、円滑で快適に移動できる環境を整備	中心市街地に駐車場案内板 6 基を整備 （2017 年度） 中心市街地に駐車場補助看板 5 基を整備 （2018 年度）	124,000
①	自動走行実証実験事業 ［未来都市推進課］ （再掲）	エコフルタウン等において、自動走行に必要な社会インフラ整備や安全対策等を行い、企業・大学と連携して自動走行実証実験を実施	・ゆっくり自動運転 （2018 年度） ・ヒューマノイドロボットによる自律走行 （2018 年度） ・低速無人回送 （2018 年度） ・道の駅等を拠点とした自動運転サービス （2018、2020 年度）	15,866

Ⅶ－３－（１）安全・安心な水道水の安定供給の実現
柱①給水区域内での効率的な水運用の実現

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	藤岡地区給水区域再編事業 ［（上下水）企画課］	安全な水道水を安定して供給するため、藤岡地区において、県営水道等への配水系統の切替え・再編を実施	・導水施設撤去工事（2017 年度） ・配水区域再編基本計画（再計画）（2019 年度） ・藤岡系南部地区基本設計委託（2020 年度）	32,715

Ⅶ－３－（２）汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現
柱①集合処理区域における適切な汚水処理の推進
柱②個別処理区域における適切な汚水処理の促進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	下水道整備事業 ［下水道建設課］	下水道による整備の費用対効果が高いと見込まれる地域や土地区画整理事業等の開発区域において、計画に基づき下水道整備を推進	管路工事（面整備）（2017～2020 年度） 若林東地区ほか 31 地区（361ha）	10,517,014
②	合併処理浄化槽設置促進事業 ［下水道施設課］	合併処理浄化槽の設置・転換を促進することで、衛生的な環境を維持し、快適な住生活を実現	・新設・転換・撤去に対する補助： 325 件（2017 年度） 284 件（2018 年度） 231 件（2019 年度） 205 件（2020 年度）	465,237
②	浄化槽適正維持管理促進事業 ［下水道施設課］	自治区等を単位とする相互見守り型による浄化槽の維持管理に対し、報償費を支給	・団体への報償費の支払い： 40 団体（2017 年度） 40 団体（2018 年度） 43 団体（2019 年度） 43 団体（2020 年度）	15,109

Ⅷ－１－（１）市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進

柱①都市内分権の推進

柱②市民活動の促進

柱③活動を促進する環境の整備

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	わくわく事業 ［地域支援課］ （再掲）	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助	・市内 28 地域で 1,115 事業を採択 ・高年大学受講者、地域コーディネーター（包括支援センター職員）に周知 ・わくわく事業活動事例集を作成 ・わくわく交流会を開催 ・関係各所にチラシ配布	336,254
①	地域予算提案事業 ［地域支援課］	地域の意見を市の予算に反映し、地域と行政の共働で課題に対応	・地域予算提案事業（269 事業）を市内 28 の地域で実施	602,207
②	市民活動促進事業 ［市民活躍支援課］	多様な主体による公益的な活動を支援し、市民活動を促進	・市民活動促進補助金の交付:49 団体 ・市民、団体を対象とした講座開催：24 回 ・第 3 期市民活動促進計画の策定・推進	28,440
③	藤岡地区地域核整備事業 ［藤岡支所］ （再掲）	支所・交流館の合築による建替えやバスターミナルの整備等による行政サービスの充実と公共交通の安全性・利便性の向上を通じて、地域のにぎわいを創出	・藤岡田中二反田線道路改良工事詳細設計（2017 年） ・藤岡支所・藤岡交流館改築工事（2017～2018 年） ・藤岡支所旧庁舎解体工事（2019 年） ・藤岡支所・藤岡交流館外構整備工事（2019 年） ・藤岡田中二反田線道路改良工事（2020 年～）	1,497,142

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	若園交流館・中学校改築事業 ［市民活躍支援課、学校づくり推進課］	隣接する交流館と中学校施設の一部を合築することで、交流館機能の充実と地域ぐるみの学び合いを推進	・整備検討ワークショップの開催（2018 年度、4 回） ・改築設計ワークショップの開催（2019 年度、3 回） ・改築工事基本設計、実施設計（2019～2020 年度） ・改築工事着手 （2020 年度）	213,687

Ⅷ－２－（１）世界に開かれた国際まちづくりの推進

柱①来訪外国人の滞在環境の向上

柱②国際化に対応した人づくりの推進

柱③多文化共生のまちづくりの推進

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
①	外国人のおもてなし推進事業 ［国際まちづくり推進課］ （再掲）	「外国人おもてなし市民会議」を中心に、来訪外国人に対し、豊田市のイメージや来訪満足度を高める取組を展開	・多言語ガイドボランティア登録数：238 人 （2017～2020 年累計） ・外国人向け交流プログラム数：315 件 （2017～2020 年累計） ・外国人向け交流プログラム参加者数：922 人 （2017～2020 年累計）	43,078

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	姉妹都市交流事業 ［国際まちづくり推進課］	市民や学生の姉妹都市への相互派遣により、友好親善及び異文化理解を促進	・デトロイト交換学生の派遣事業派遣人数：10 人（2018 年度） ・デトロイト交換学生の受入事業受入人数：18 人（2017、2019 年度） ・ダービーシャーへの職員派遣：2 人（2019 年度まで） ・ダービーシャーへの高校生派遣参加人数：52 人（2019 年度派遣予定数含む） ・デトロイト美術館日本文化紹介イベントに豊田棒の手保存会市民ボランティアを派遣：14 人（2017 年度） ・ダービーシャー姉妹都市提携 20 周年事業（2018 年度） 英国フェスティバルを実施　参加者：4,600 人 サッカー少年団派遣：22 人 記念式典・交流会開催：170 人 豊田市公式派遣団：5 名 ダービーシャー公式訪問団受入：17 名 ・デトロイト姉妹都市提携 60 周年事業（2020 年度） 記念式典を実施　参加者:238 人	80,051

柱	事業名 ［所管課］	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
②	中学生海外派遣事業 ［学校教育課］	多文化共生、相互理解の大切さを学び、国際的な視野を広げるため、中学生の海外派遣を実施	・2017 年度：アメリカ・イギリス･アジアへ各中学校から１名ずつ合計 84 名を派遣 ・2018 年度：アメリカ・イギリス･アジアへ各中学校から１名ずつ合計 84 名を派遣 ・2019 年度：アメリカ・イギリス･アジアへ各中学校から１名ずつ合計 84 名を派遣 ・2020 年度：新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため中止	88,047
② ③	国際理解・啓発事業 ［国際まちづくり推進課］	国際化に関する理解・関心を高めるため、国際理解を深めるイベントや講座を開催	・国際交流イベントの開催：47 回 延べ参加者数：34,205 人 ・子どもを対象とした講座の開催：93 回 延べ参加者数：2,791 人 ・豊田市地球市民会議の開催：17 回 （2018 年度まで）	22,123
③	日本語教育促進事業 ［国際まちづくり推進課］	在住外国人に対し、地域社会で円滑な日常生活を送るために必要な日本語能力を身に付けるための講座や教室を開催	・「とよた日本語学習支援システム」教室 延べ利用者数：2,423 人 （2017～2020 年累計） 教室数： 8（2017、2018 年度） 7（2019 年度） 6（2020 年度）	56,865

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
③	外国人児童生徒教育事業 ［学校教育課］	外国人児童生徒等の小・中学校への適応を進めるため、日本語指導や学習相談、支援等を実施	・外国人児童生徒等サポートセンターでの翻訳支援、学習相談支援、通訳支援 ・学校日本語指導員等による学習支援、学校生活支援	781,994

Ⅷ－３－（１）未来を見据えた持続可能な行財政運営

柱①市民サービスの向上

柱②事業・事務の最適化の推進

柱③財政計画に基づいた財政運営

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
－	－	－	－	－

Ⅷ－３－（２）公共施設等の適切な管理の推進

柱①公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
－	－	－	－	－

Ⅷ－３－（３）将来を先取るミライ・チャレンジ都市の推進

柱①多様な主体の新たな取組への支援

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
－	－	－	－	－

Ⅷ－３－（４）共働による地域情報化の推進

柱①地域課題における ICT 活用の推進

柱②ICT の利用環境の充実

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
－	－	－	－	－

Ⅷ－３－（５）戦略的な広域連携の推進

柱①新たな都市間連携の推進

柱	事業名 [所管課]	事業概要	取組実績	期間内事業費 （千円）
－	－	－	－	－